

KLD-200

取扱説明書 保証書別添

総合ガイド

別冊の「入門ガイド」をお読みになった後、こちらをお読みください。

本製品を使用したディスク*への印刷は、ディスクにデータを記録する前に行われることをおすすめします。

すでにデータが記録されているディスクに印刷した場合、データ破損の保証はいたしません。また、当社はいかなる理由においてもディスクの記録データの保護ならびに破損についての責任は一切負えませんので、あらかじめご了承ください。

※ CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RWなどのメディア

ご使用前に本書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

はじめに

テープ編

ディスク&ケース編

入力・編集編

設定編

付録

ご 注 意

本書の著作権およびソフトウェアに関する権利はすべてカシオ計算機株式会社に帰属します。

Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。

その他本書に記載されている各会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

© Copyright 2005 CASIO COMPUTER CO., LTD. All rights reserved.

ソフトウェアの正常な使用またはバックアップコピーを作成する場合を除き、カシオ計算機株式会社の書面による同意なしには、本書やプログラムの一部または全部を問わず、複製することを禁じます。

ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。

あらかじめご承知いただきたいこと

- 本書はKLD-200について説明しています。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点やお気付きの点などがありましたらカシオテクノ・サービスステーションまでご連絡ください。
- 本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本書の一部または全部を無断で複製することは禁止されています。個人としてご利用になる他は、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
- 本書の内容は改良のため、将来予告なく変更することがあります。
- 本書は、紙メディアである性質上、この中に説明されているソフトウェアが完成するかなり前に印刷されます。このため、本書の印刷終了後に行われたソフトウェア上の細部の変更、また画面の変更などに、一部対応しない部分が出る可能性があります。また、本文中の印刷例、表示画面、製品イラストなどは、実物と多少異なる場合があります。ご了承ください。

安全上のご注意

このたびは本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用になる前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。本書は、お読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。



危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険がさし迫って生じることが想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



○ 記号は「してはいけないこと」を意味しています（左の例は分解禁止）。



● 記号は「しなければならないこと」を意味しています。

⚠ 危険

アルカリ電池について



アルカリ電池からもれた液が目に入ったときは、すぐに次の処置を行ってください。

1. 目をこすらずにすぐにきれいな水で洗い流す。
2. ただちに医師の治療を受ける。

そのままにしておくと失明の原因となります。

⚠ 警告

煙、臭い、発熱などの異常について



煙が出ている、へんな臭いがする、発熱しているなどの異常状態のまま使用しないでください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. 電源コードのプラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する。

電源コード／ACアダプター／USBケーブルについて

電源コード／ACアダプター／USBケーブルは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。



- 必ず専用品を使用する
- 電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用する



- 1つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしてはいけない

⚠ 警告**電池について**

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。

-  • 分解しない、ショートさせない
- 加熱しない、火の中に投入しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池を混ぜて使用しない
- 充電しない
-  • 極性(+と-の向き)に注意して正しく入れる

電源コード/ACアダプター/USBケーブルについて

-  • 濡れた手で電源コード/ACアダプター/USBケーブルやプラグに触れないでください。感電の原因となります。
- 電源コード/ACアダプター/USBケーブルは水のかからない状態で使用してください。水がかかると火災や感電の原因となります。
- 電源コード/ACアダプター/USBケーブルの上に花瓶など液体の入ったものを置かないでください。水がかかると火災や感電の原因となります。

⚠ 警告**電源コード/ACアダプター/USBケーブルについて**

電源コード/ACアダプター/USBケーブルは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。

次のことは必ずお守りください。

-  • 重いものを乗せたり、加熱しない
- 加工したり、無理に曲げない
- ねじったり、引っ張ったりしない
-  • 電源コード/ACアダプター/USBケーブルのプラグが傷んだらお買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する

落とさない、ぶつけない

-  • 本機を落としたときなど、破損したまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。
 1. 電源スイッチを切る。
 2. 電源コードのプラグをコンセントから抜く。
 3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する。

分解・改造しない

-  • 本機を分解・改造しないでください。感電・やけど・けがをする原因となります。内部の点検・調整・修理はお買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションにご依頼ください。

⚠ 警告

水、異物はさける



水、液体、異物(金属片など)が本機内部に入ると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. 電源コードのプラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する。

火中に投入しない



本機を火中に投入しないでください。破裂による火災・けがの原因となります。

袋をかぶらない、飲み込まない



本機が入っていた袋をかぶったり飲み込んだりしないでください。窒息の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

電子レンジでの加熱に使う容器にはラベルを貼らない



電子レンジでの加熱に使用する容器には、ラベルを貼らないでください。ラベルに使用している材質に金属が含まれているため、電子レンジで加熱すると発火や火傷の原因となります。また、ラベルを貼ったものが変形することがあります。

⚠ 注意

電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。



• 本機で指定されている電池以外は使用しない



• 長時間使用しないときは、本体から電池を取り出しておく

電源コード/ACアダプター/USBケーブルについて

電源コード/ACアダプター/USBケーブルは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。



• ストープ等の熱器具に近づけない

• 電源コード/USBケーブルのプラグを抜くときは、電源コード/USBケーブルを引っ張らない(必ず電源コード/USBケーブルのプラグを持って抜く)



• 電源コードのプラグはコンセントの奥まで確実に差し込む

• USBケーブルのプラグはコネクタの奥まで確実に差し込む

• 旅行などで長期間使用しないときは電源コード/USBケーブルのプラグをコンセントから抜く

• 電源コードのプラグは年1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように清掃する

⚠ 注意

乾電池のセットおよび乾電池交換時の注意

- ⊘ 本機電池収納部内の電池バネには、鋭利な部分があります。「乾電池をセットするとき」や「乾電池を交換するとき」には、電池バネには触らないでください。指を切るおそれがあります。

大切なデータは控えをとる

- ❗ 本機に記憶させた内容は、ノートに書くなどして本機とは別に必ず控えを残してください。本機の故障、修理や電池消耗などにより、記憶内容が消えることがあります。

重いものを置かない

- ⊘ 本機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

置き場所について

- ⊘ 本機を次のような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
 - 湿気やほこりの多い場所
 - 調理台のそばなど油煙が当たるような場所
 - 暖房器具の近く、ホットカーペットの上、直射日光が当たる場所、炎天下の車中など本機が高温になる場所

⚠ 注意

不安定な場所に置かない

- ⊘ ぐらついた台の上や高い棚の上など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

コネクタ部への接続

- ⊘ コネクタ部には、指定されたもの以外は接続しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

表示画面について

- ⊘
 - 液晶表示画面を強く押ししたり、強い衝撃を与えないでください。液晶表示画面のガラスが割れてけがの原因となることがあります。
 - 液晶表示画面が割れた場合、表示画面内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症の原因となることがあります。
 - 万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
 - 目に入った、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低15分以上洗浄したあと、医師に相談してください。

⚠ 注意

高温注意

- ❌ プリンターヘッドおよびまわりの金属部分には触らないでください。高温になるため、やけどするおそれがあります。

オートテープカッターに注意する

- ❌ 電源を入れたときや印刷中は、プリンターヘッドやテープ通路付近に触れないでください。オートテープカッターが動くことがあり、けがをする恐れがあります。

テレビ・ラジオのそばでのご使用について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

ご使用上の注意

本機を末ながくご愛用いただくために以下の点にご注意ください。

- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、極端な高低温下での使用は避けてください。
使用温度範囲は、10℃～35℃です。
- プリンター部分にクリップやピンなどを落とさないでください。
- テープを無理に引き出したり、押し込んだりしないでください。
- プリンターヘッドが汚れると、印字が不鮮明になります。この場合は、お手入れの方法(91ページ)をご覧ください。
- 本機を直射日光などの強い光が当たる場所で使用した場合、本機内部にある光センサーが誤動作を起こしエラーメッセージを表示することがあります。強い光が当たらない場所でお使いください。
- ディスク印刷とラベル印刷を同時に行うことはできません。

もくじ

テープ編 11

ラベル作成の流れ 11

操作の流れ 11

フォーマットを選んで作る(用途別ラベル) ... 12

フォーマットを選ぶ 12

ロゴ入りのラベルを作る(ロゴコレクション) ... 15

自由に入力して作る(フリーラベル) 16

フリーラベルを作る 16

2行以上のラベルを作る 17

文章をブロックに分ける 18

ラベルの書式を決める 19

ブロックごとに書式を決める 19

文章全体の書式を決める 20

ラベルの長さを自由に決める 23

ラベル全体の長さを自由に設定する 23

決めたラベルの長さを取り消す 25

ブロックの長さを設定する(ブロック長固定) 25

文章のバランスを整える(割付) 27

ブロック内で文字のバランスを整える 27

ラベル内のブロックのバランスを整える 28

文字の大きさを決める 29

文字単位で大きさを決める 29

行単位で大きさを決める(フォーマット選択) 31

フリーラベル フレームをつける 33

縦書きのラベルを作る 34

整理・収納ラベルを作る 34

文字入力画面に整理・収納の項目を呼び出す ... 36

ガーデニングラベルを作る 36

文字入力画面にガーデニングの項目を呼び出す ... 38

印刷とカットモード 39

カットモードについて 39

カットのしかたと余白について 41

作成したデータを登録する・呼び出す 42

データを登録する 42

登録したデータを呼び出す 42

登録したデータを削除する 43

ディスク&ケース編 45

ディスク印刷データと印刷エリアについて ... 45

ディスク印刷データとは? 45

印刷エリアとは? 45

ディスク印刷データ作成の流れ 45

「こだわりコース」の操作の流れ 46

新しくディスク印刷データを作る 46

ディスク印刷データの印刷エリアを選ぶ 47

レイアウト(フォーマット)を選ぶ 47

最適な大きさの文字で印刷する

(オートフォーマット) 49

入力文字数と印刷サイズ 49

フリーラベル

フリーラベル

オートフォーマットでデータを作る	50
文字の位置を調整する	50
文字のバランスを整える(文字割付)	50
英数字を美しく割り付ける(プロポーショナル)	51
フレーム付きのデータを印刷する	52
フレーム付きディスク印刷データの印刷例	52
ロゴ付きのデータを印刷する	53
ロゴ付きディスク印刷データの印刷例	53
ロゴ付きのディスク印刷データを作る	53
ディスクケースのラベルを作る	54
ディスクケースのラベルを作る	54
作成したデータを登録する・呼び出す	55
データを登録する	55
登録したデータを呼び出す	56
登録したデータを削除する	56
入力・編集編	57
カーソルのはたらきと動かしかた	57
ローマ字入力?それともかな入力?	58
ローマ字入力とかな入力を切り換える	58
入力する文字の切り替え方法	58
ひらがな・カタカナの入力	58
アルファベット(大文字・小文字)の入力	58
ひらがな・カタカナの入力	59
ひらがなの入力	59
カタカナの入力	59

いろいろな文字の入力方法	60
漢字の入力	60
文章を入力してから変換する	60
同音異義語を変換する	61
漢字1文字ずつ変換する(単漢字変換)	62
漢字辞書を使って文字を入れる(漢字辞書機能)	63
読みから呼び出す	63
総画数から呼び出す	64
部首から呼び出す	65
アルファベットや数字の入力	67
アルファベット(大文字)の入力	67
アルファベット(小文字)の入力	67
数字の入力	67
記号の入力	68
キーに印刷されている記号	68
その他の記号	68
絵文字の入力	69
文字を修正・削除するときは	69
間違った文字を消す	69
すべての文字を消す(文削除)	70
間違った文字をなおす	71
文字が抜けていたら	72
書体(フォント)を変える	73
入力済みの文字の書体を変える	73
電源を入れたときの書体を決める	74
文字を上付・下付にする	75

文字を目立たせる	76
文字に飾りをつける	78
文字修飾を指定する	78
文字修飾を取り消す	79
ファミリー機能を使う	79
ファミリー機能呼び出す	79
家族のデータを登録する	80
家族のデータを修正する	80
家族のデータを削除する	81
入力した文字をコピーする・貼りつける (コピー・ペースト)	81
文字をコピーする	81
コピーした文字を貼りつける(ペースト)	82
オリジナルの文字(外字)を作る	82
はじめから自分で作る(新規作成)	82
本機にある文字を利用して作る(参照作成)	83
すでに作ってある外字を修正する	84
外字を使う	84
登録した外字を削除する	84
設定編	85
設定を変える	85
設定できる項目	85
ブザー音を消したい	85
画面の明るさを変えたい	85
印刷の濃さを変えたい	86

サンプルデータを印刷する(デモ印刷)	86
--------------------	----

付録	89
電源について	89
ACアダプターで使う	89
お手入れの方法	91
綿棒できれいにする	91
クリーニングテープを使う	91
パソコンと接続する	92
KLD-200を取り付ける	92
KLD-200を取り外す	93
こんなときは(トラブルシューティング)	94
テープ編	95
ディスク&ケース編	96
エラーメッセージ一覧	97
ローマ字入力一覧	101
記号・絵文字一覧	103
フレーム一覧	106
ディスク印刷データフォーマット一覧	107
ディスクケースラベルフォーマット一覧	108
用途別ラベルフォーマット一覧	109
整理・収納項目一覧	112
ガーデニング項目一覧	114
テープ幅と行数・倍率一覧	115
各機能における使用可能テープ幅一覧	116
内蔵漢字一覧	117

仕様	122
別売品一覧	124
索引	126
保証・アフターサービスについて	128

テープ編

ラベル作成の流れ

ラベルに印刷するときは、以下の手順で行います。

乾電池のセット

またはACアダプター(別売)の接続

「入門ガイド」8ページ

89ページ

テープカートリッジの 取り付け

「入門ガイド」12ページ

自由に入力して作る

フリーラベル
「入門ガイド」20ページ
フリーラベルの編集機能
17ページ

用途に応じて作る

用途別ラベル
ロゴ入りラベルなど
12、15ページ

操作の流れ

「テープ」を選択する

1 ラベルの種類を選ぶ
フリーラベル 16ページ
用途別ラベル 12ページ
ロゴコレクション.. 15ページ

登録してある
データ呼び出
して使うときは
(42ページ)

前回作成した
データを使う
ときは
(「入門ガイド」
11ページ)

2 文字を入力する(58ページ)

3 文字を修飾する
書体(フォント)を変える(73ページ)、文字を目立たせる(文字体)
(76ページ)

ラベルを印刷(「入門ガイド」21ページ)・登録(42ページ)・終了する

重要 本書では操作説明のためにいくつかの例を使用しております。
それぞれの例では、適切なテープ幅のテープカートリッジを使い分けて説明させていただきます。

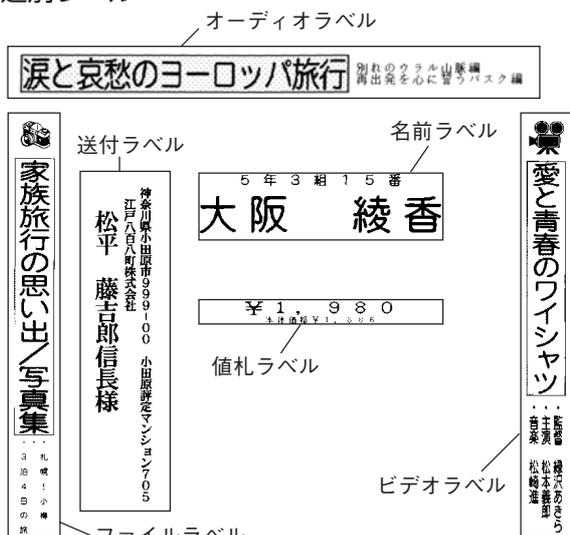
用途に応じて作る

フォーマットを選んで作る(用途別ラベル)

本機には、豊富なラベルのフォーマットが内蔵されており、用途に応じたラベルが簡単に作れます。

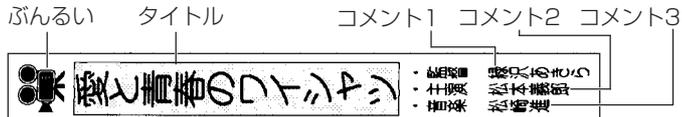
•ここで紹介するラベルは、本機で作成できるラベルの一例です。

用途別ラベル



•ビデオラベル・オーディオラベル・名前ラベル・送付ラベル・ファイルラベル・値札ラベルがあります。用途に応じて選択してください。

【印刷例】



(18mm幅テープ/ビデオ/VHS/3)

重要! 109ページをご覧になりフォーマットに適した幅のテープカートリッジをセットしてください。

フォーマットを選ぶ

1 **ON** を押して、電源を入れます。

- 前回のデータを使いたいときは、**↑** **↓** を押して「前回データ」を選び、**実行** を押して呼び出します。



2 **◀ ▶** を押して「テープ」を選び、**実行** を押します。

- 上記の操作の代わりに、**テープ** を押しても同じ画面に進めます。



3 **◀ ▶** を押して「新規」を選び、**実行** を押します。



4 (↑)(↓)(←)(→)を押して「用途別ラベル」を選び、**[実行]**を押します。



5 (↑)(↓)(←)(→)を押して作成するラベルの種類を選び、**[実行]**を押します。

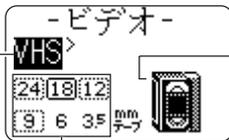
ここでは「ビデオ」を選びます。
フォーマット選択画面が表示されます。



フォーマット選択画面の見かた

ここでは、例として、「VHS」の画面を説明します。

ラベルの種類を示します。



ラベルを貼る位置を示します。

対応するテープ幅を示します。

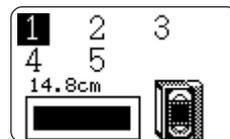
[9] **[18]** …使用できるテープ幅は、実線または点線で囲まれます。

[18] ……最も適したテープ幅は、実線で囲まれます。

6 ……使用できないテープ幅は、囲まれません。

6 (←)(→)を押して、「ビデオ」ラベルの種類を選び、**[実行]**を押します。

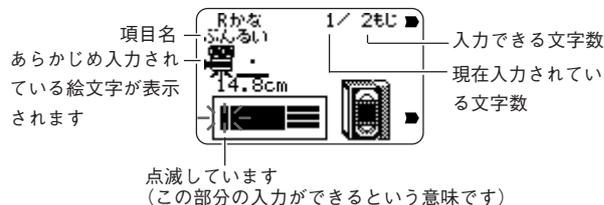
ここでは「VHS」を選びます。



7 (↑)(↓)(←)(→)を押してフォーマットを選び、**[実行]**を押します。

詳しくは「用途別ラベルフォーマット一覧」(109ページ)をご覧ください。

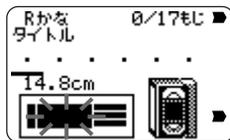
ここでは「3」を選びます。
文字入力画面が表示されます。



点減しています
(この部分の入力ができるという意味です)

8 画面の絵文字を必要に応じて変更し、**実行**を押します。

- 選んだフォーマットの種類や項目によって、絵文字が入力されていたり、入力されていないことがあります。
- ほかの絵文字に変えるときは、69ページをご覧ください。



点滅の場所が変わります

9 文字を入力し、**実行**を押します。

ここでは「タイトル」「コメント1」「コメント2」「コメント3」に入力します。

- 枠がつけられるフォーマットの場合は、**機能**を押し指を離してから^{装飾}**(6)**を押して「装飾」の「文字修飾」に入って、枠付き「あり／なし」のどちらかを選ぶことができます。

これでラベルデータが完成しました。



- ラベルデータを印刷するときは→「入門ガイド」21ページ
- ラベルデータを登録するときは→42ページ

印刷の書式を設定したい

文字の入力中に、お好みで印刷の書式を設定することができます。(19ページ)

- 印刷方向の「横書き／縦書き」を設定する
- 「裏書き」印刷の「する／しない」を設定する

上記の設定をするには、文字入力中に**機能**を押し、指を離してから^{書式}**(4)**を押して、書式設定画面を表示させ、設定をします。

ロゴ入りのラベルを作る(ロゴコレクション)

内蔵されているロゴを簡単に印刷することができます。

内蔵ロゴデータの種類



重要 ・18mm・24mm幅以外のテープカートリッジでは、この機能は使用できません。
 ・裏書き印刷をすることはできません。

- 1 を押して、電源を入れます。
- 2 を押して「テープ」を選び、 を押します。
 ・上記の操作の代わりに、 を押しても同じ画面に進めます。
- 3 を押して「新規」を選び、 を押します。

- 4 ◀▶▶▶を押して「ロゴコレクション」を選び、**実行**を押します。



- 5 ▶▶を押して印刷したいロゴを選び、**実行**を押します。

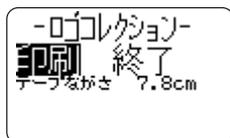
- 6 ◀▶で**印刷**を選び、**実行**を押します。



- 7 数字キー(または◀▶)を押して印刷する枚数を設定し、**実行**を押します。

印刷が開始されます。終了すると、右の画面が表示されます。
印刷枚数は1～100枚まで設定できます。

- **実行**を押す前に▶を押すと、テープカットする/しないを◀▶で設定できます。(40ページ)



フリーラベル

自由に入力して作る(フリーラベル)

ここでは自由に入力してラベルを作る(フリーラベル)方法について説明します。

フリーラベルを作る

フリーラベルの作り方については、「入門ガイド」20ページを参照してください。

操作を簡単に説明しますと、以下のようになります。

- 1 **ON**を押して、電源を入れます。
- 2 ◀▶を押して「テープ」を選び、**実行**を押します。
 - 上記の操作の代わりに、**テープ**を押しても同じ画面に進みます。
- 3 ◀▶を押して「新規」にし、**実行**を押します。
- 4 ▶▶▶▶を押して「フリーラベル」を選び、**実行**を押します。
- 5 自由に文字を入力します。

2行以上のラベルを作る

2行以上の文章を含むラベルを作ることができます。
作れる行数は、セットしてあるテープの幅によって違います。

重要 3.5mm幅テープでは、2行以上のラベルは作れません。



テープの幅	最大行数
3.5mm	1行
6mm	2行
9mm	3行

テープの幅	最大行数
12mm	5行
18mm	8行
24mm	8行

- テープの幅と行数に合わせて、自動的に文字の大きさは変わります。
(ジャストフィット印刷)
- 文字の大きさを自由に決めた場合(29ページ)も、文字の大きさは行数に合わせて自動的に変わります。

[印刷例]

町内連絡網
最新版

(12mm幅テープ)

1 1行目を入力します。
ここでは「町内連絡網」と入力します。

2 を押します。

3 2行目を入力します。
ここでは「最新版」と入力します。

文字の大きさが行数に合わせて自動的に変わります。



作っているラベルのレイアウト(イメージャー表示)線の数は行数を表わし、線の太さは文字の大きさをイメージであらわします。

改行マークが入ります(画面だけの印なので印刷されません)

- 文字を全部入力した後に、行を変えることもできます。行を変えたい位置で、 を押します。
- 改行を取り消すときは、 を押してマークを削除します。
※ を押しても マークを削除することはできません。
- イメージャー表示は、微小フォントでの印刷のときは「5/8」というような表示になります。これは、「行数は8行で、カーソルが合っているのは5行目」という意味です。
微小フォントについて→75ページ。
- セットされているテープ幅に合わない行数にすると、「行数オーバー印刷できません」と表示され、印刷することはできません。そのときは行数を減らしてください。
- ラベルデータを印刷するときは→「入門ガイド」21ページ
- ラベルデータを登録するときは→42ページ

こんなラベルを作るには？

ジャストフィット印刷(30ページ)

年賀状住所録 お父さん用

↑ (9mm幅テープ)

年賀状住所録最新版 お父さん用

↑ (18mm幅テープ)

年賀状住所録
最新版 ←
お父さん用

ブロックマークを入れます
(18ページ)

年賀状住所録最新版
お父さん用

文字の大きさを行ごとに決めます
(31ページ)

文章をブロックに分ける

下の印字例の「町内運動会」「班長分担表」「青年部作成」は、それぞれ独立したかたまりです。このかたまりを**ブロック**といいます。ブロックごとに書式や行数を設定することができますので、いろいろなラベルを自由に作ることができます。



【印刷例】 町内運動会 班長分担表 青年部作成 (を別々のブロックに分ける)

1 最初のブロックの文字を入力します。
ここでは「町内運動会」と入力します。

2 **機能**を押し、指を離してから^{ブロック}**↵**を押します。
「町内運動会」が1つのブロックになります。



ブロックマーク
(画面だけの印なので印刷されません)

3 次のブロックの文字を入力します。
ここでは「班長分担表」「青年部作成」と入力します。

カーソルの位置が何ブロック目にあるかをあらわします



- ブロックマークを消すときは、「**Ⓚ**」の位置にカーソルを合わせ、**文字削除**を押します。
※ **後退**を押しても**Ⓚ**マークを削除することはできません。
- ブロックに分けることができるのは、16個までです。
- ラベルデータを印刷するときは→「入門ガイド」21ページ
- ラベルデータを登録するときは→42ページ

文章を完成させたあとでブロックに分けるには
文字を入力したあとで、ブロックに分けることもできます。分けたい位置にカーソルを移動させ、**機能**を押し、指を離してから^{ブロック}**↵**を押します。

ラベルの書式を決める

ラベルの長さ・文字間隔・文字のバランスなど、ラベルをどのようなルール(書式)で作るのかを決めます。

ブロックごとの書式を決めることもラベル全体の書式を決めることもできます。

ブロックごとに書式を決める

ブロック(18ページ)ごとに、印刷方向や文字のバランスなどを設定します。

■設定できる内容

ブロック書式では、次のような設定ができます。

方向	文字の向きを横書きにするか、縦書きにするかを決めます。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">方向</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">縦書き</div> </div>
文字割付	ブロック中での文字のバランスを決めます。→27ページ参照
文字間隔	文字と文字のピッチ(間隔)を決めます。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">文字間隔</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">文字間隔</div> </div>
ブロック長	ブロックの長さを決めます。→25ページ参照

■設定する

- 1 文章を入力し、ブロックに分けます。
- 2 書式を決めるブロックにカーソルを合わせます。
そのブロック内であれば、カーソルの位置はどこでも構いません。

3 **機能** を押し、指を離してから **書式** を押します。
ブロックが1つだけの場合には手順6に進んでください。このときは、ブロック書式と全文書式が続けて設定できます。

4 **⌂** **✓** を押して **ブロック書式** を選び、 **実行** を押します。

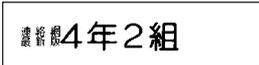
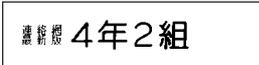
5 **⌂** **✓** を押して **このブロックのみ** を選び、 **実行** を押します。
 ・すべてのブロックを共通の書式にするときは **⌂** **✓** を押して **全ブロック** にします。

6 各項目を設定します。

- ・ **⌂** **✓** を押して設定項目を選びます。
- ・ **⏪** **⏩** を押して希望の項目を表示させます。

設定項目	内容
方向	文字を縦書きにするか横書きにするかを選ぶ
もじ割付	ブロックの中での文字のバランス(左寄せ/均等/中寄せ/右寄せ)を設定する→27ページ参照
もじ間隔	文字と文字の間隔(0.0~31.9mm)を指定する (⏪ ⏩ を押すと間隔が変わり、それに合わせてテープ長さの数値も変わる) ※「文字割付」を「均等」、「ブロック長」を「固定」とした場合は、文字間隔の指定はできません。



スムージング	<p>印字の不自然なギザギザを美しく滑らかにする(ON)かしない(OFF)かを選びます。</p> <p>ON  OFF </p>
BL間隔	<p>ブロックとブロックの間隔を選びます。</p> <p>密着 </p> <p>普通 </p> <p>広い </p>
余白	<p>ラベルの前後につくスペースの長さを選びます。 →22ページ参照</p>
テープ長	<p>ラベル全体の長さを自由に決めます。 →23ページ参照</p>
BL割付	<p>ラベル全体におけるブロックのバランスを決めます。 →28ページ参照</p>

■設定する

1 文字を入力します。

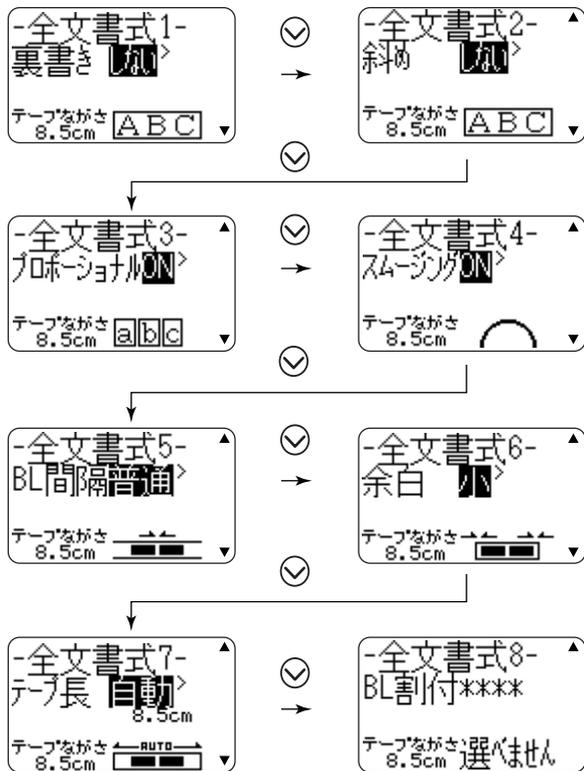
2  を押し、指を離してから  を押します。
ブロックが1つだけの場合には手順4に進んでください。ブロック書式と全文書式が続けて設定できます。

3   を押して **全文書式** を選び、  を押します。

4 各項目を設定します。

-   を押して設定項目を選びます。
-   を押して希望の項目を表示させます。

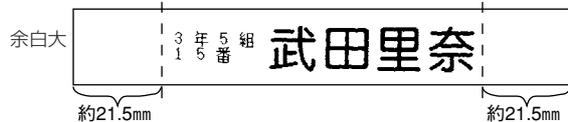
設定項目	内 容
裏書き	文字を裏書きで印刷するかしないかを選ぶ。裏書きにしないときは「しない」を選ぶ
斜め	文字を斜めに印刷するときは「する」を、斜めに印刷しないときは「しない」を選ぶ
プロポーショナル	ON : アルファベット・数字に適した文字ピッチに調整する OFF : アルファベット・数字の文字ピッチが、かな・漢字まじりの文章に適した文字ピッチになる
スムージング	文字のラインを滑らかにするか、しないかを選ぶ
BL間隔	ブロックとブロックの間隔を選ぶ
余白	ラベルの前後につくスペースの長さを選ぶ
テープ長	<ul style="list-style-type: none"> •自動：文字数に合わせて自動的にラベルの長さを調節する •ラベル全体の長さを任意に設定するときは、  を押して「固定」を選ぶ(24ページ)
BL割付	<p>ラベル全体に対するブロックの位置を選ぶ(28ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> •テープ長さを「固定」にしたときのみ有効



5 各項目を設定したら、**実行**を押します。

余白について

ラベルの前後につくスペースを余白といいます。
次の3種類の余白を選べます。



重要!
テープの長さが短い(余白小のとき:約24mm以下、余白中のとき:約31mm以下)場合には、余白カットをしないことがあります。印刷が終わった後で、ハサミなどで余白をカットしてください。



- 「送り無」と設定し、連続して印刷すると、ラベルとラベルを密着させて印刷することができます。
- 「送り無」と設定したときは、テープは自動的にカットされません。テープをカットするときは、**機能**を押して、指を離してから **送り**を押してください。先頭のラベル余白は、ハサミなどでカットしてください。

ラベルの長さを自由に決める

ラベルは文字の大きさや文字数に合わせて最適な長さで印刷されます。ここではラベルの長さを自由に設定する方法を説明します。

ラベルの長さを決める方法には、次の2つがあります。

- ラベル全体の長さを自由に設定する。
- ブロックごとの長さを決めて、ラベルの長さを設定する(ブロック長固定)。

ラベル全体の長さを自由に設定する

VHSビデオテープやフロッピーディスク、MD用のラベルなど、よく作成するラベルの長さを簡単に設定できます。また、同じ長さを簡単に設定できるので、長さの揃った複数のラベル作成も簡単です。

長さを設定
しないとき

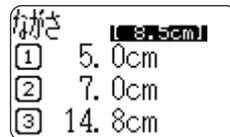


ラベル全体の長さを決めるには、**ながさ**を押して決める方法と、書式の機能を使って決める方法があります。

ながさを押してラベル全体の長さを設定する

1 文字を入力します。

2 **ながさ**を押します。



3 **⏪** **⏩**を押して、長さを設定します。



⏪を押すと短く、**⏩**を押すと長くなります。

この時、**①**～**③**キーを押すことでよく作成する3つのラベルの長さを簡単に設定できます。

- 各種オーディオテープやCD-Rなどにあった長さになると、該当する名称が表示されます。

4 長さを決めたら**実行**を押します。

設定できる長さ

テープの長さ	適しているもの
① 5.0cm	名前シール・インデックスなど
② 7.0cm	フロッピーディスク・MDケース・MOなど
③ 14.8cm	VHSビデオテープの背ラベル・ペーパーファイル・バインダーなど

イメージャー表示について

⏪ ⏩ を押して長さを選ぶとき、画面のイメージャー表示は次のようになります。

指定通りの長さで印刷できる [■■■■■]	指定通りの長さで印刷されるが、文字は横方向に縮まる [■■■■■]	指定の長さより長く印刷される* [■■■■■]
--------------------------	--------------------------------------	----------------------------

* 文字が印刷方向に50%縮小されて印刷されます。また、印刷されたテープは指定より長くなります。



- ブロックを使っているときは、ラベルの長さの設定は、書式の「テープ長」「ブロック長」で行ってください。
- **ながさ** で設定すると、設定した値よりも長くなることがあります。
- **ながさ** で設定した長さは、テープ長固定と連動します。また、**ながさ** で設定すると、「ブロック長：固定」「文字割付：均等」「BL割付：均等」に設定されます(ブロック長が固定されるのは、ブロックが1つのときだけです)。
- フリーラベル以外では、**ながさ** は無効となります。

■書式でラベル全体の長さを設定する

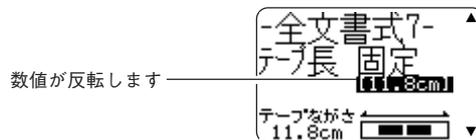
1 文字を入力します。

2 **機能** を押し、指を離してから **書式** (4) を押します。
ブロックが1つだけの場合には、手順3に進んでください。

3 **⏪** **⏩** を押して **全文書式** を選び、**実行** を押します。

4 **⏪** **⏩** を押して、「テープ長」を画面に表示させます。

5 **⏪** **⏩** を押して、「テープ長 **固定**」にし **⏩** を押します。



6 数値キーまたは **⏪** (減) ・ **⏩** (増) を押して、ラベルの長さを設定し、**実行** を押します。

[10.5cm]



指定通りに印刷

10.4cm]



指定したテープ長より長くなって印刷

決めたラベルの長さを取り消す

- 1 **機能** を押し、指を離してから **4** を押します。
- 2 **Ⓐ** **Ⓑ** を押しして **全文書式** を選び、**実行** を押しします。
- 3 **Ⓐ** **Ⓑ** を押しして「テープ長」を画面に表示させます。
- 4 **⏪** **⏩** を押しして、「テープ長 **自動**」にします。



ブロックの長さを設定する(ブロック長固定)

ブロック(18ページ)の長さを決めることにより、ラベル全体の長さを決めることができます。

- 1 文字を入力し、ブロックに分けます。
 - ・ブロックの分けかた(18ページ)
- 2 長さを決めるブロックにカーソルを移動します。
そのブロック内であればカーソルの位置はどこでも構いません。

- 3 **機能** を押し、指を離してから **4** を押します。
ブロックが1つだけの場合には、手順6に進んでください。
- 4 **Ⓐ** **Ⓑ** を押しして **ブロック書式** を選び、**実行** を押しします。
- 5 **Ⓐ** **Ⓑ** を押しして **このブロックのみ** を選び、**実行** を押しします。
 - ・すべてのブロックを共通の書式にするときは **Ⓐ** **Ⓑ** を押しして **全ブロック** にします。
- 6 **Ⓐ** **Ⓑ** を押しして、「ブロック長」を画面に表示させます。
- 7 **⏪** **⏩** を押しして、「ブロック長 **固定**」にします。



8 を押します。



9 数値キー、または (減)・ (増)を押して、ブロックの長さを設定します。

- ブロックの長さを入力されている文字により、次のようになります。



[4.5cm]



指定通りに印刷

年賀状用住所録



[3.0cm]



文字を横方向に縮めて指定通りに印刷

年賀状用住所録



[2.0cm]



指定した長さより長く印刷

年賀状用住所録

10 を押します。

文章のバランスを整える(割付)

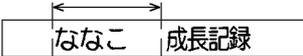
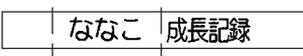
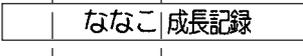
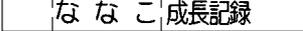
文字や文章のバランスを整えることができます。

ブロック内で文字のバランスを整える

ブロック内での文字のバランスを選ぶことができます。

[例] 「ななこ」のバランスを整えます。

ブロック長を固定します

左寄せ	
中寄せ	
右寄せ	
均等	

1 文字を入力し、ブロックに分けます。

- ・ブロックの分けかた(18ページ)

2 割付の対象になるブロックにカーソルを合わせ、**機能** を押し、指を離してから **(4)** を押します。

ここでは「ななこ」にカーソルを合わせます。
ブロックが1つだけの場合には、手順5に進んでください。

3 **(A)** **(V)** を押しして **ブロック書式** を選び、**実行** を押します。

4 **(A)** **(V)** を押しして **このブロックのみ** を選び、**実行** を押します。

5 **(A)** **(V)** を押しして「文字割付」の設定画面にします。



6 **(L)** **(R)** を押しして、割付の種類を表示させます。

(L) **(R)** を押すたびに、**左寄せ** **均等** **中寄せ** **右寄せ** と割付の種類が変わります。

7 **(A)** **(V)** を押しして、「ブロック長」を画面に表示させます。

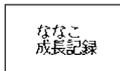
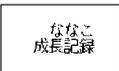
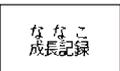
8 **(L)** **(R)** を押しして「ブロック長 **固定**」にし、**(V)** を押します。

数値が反転します



9 数値キー、または **(-)** (減) ・ **(+)** (増) を押しして、元のブロック長より長い数値にし、**実行** を押します。

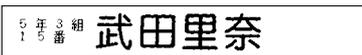
2行以上の文章のときは、「ブロック長 自動」を選んでも、割付することができます。そのときは次のように文字数の少ない方が割付の対象になります。

左寄せ	中寄せ	右寄せ	均等
			

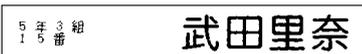
ラベル内のブロックのバランスを整える

ラベル全体に対しての、ブロックのバランスを選びます。

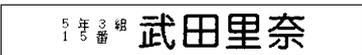
左寄せ



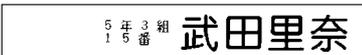
均等



中寄せ



右寄せ



重要 ブロックの割付は、「テープ長 固定」と設定されているときのみ有効です。

1 文字を入力し、ブロックに分けます。

- ブロックの分けかた(18ページ)

2 **機能** を押し、指を離してから **(4)** を押します。
ブロックが1つだけの場合には、手順4に進みます。

3 **(A)** **(V)** を押しして**全文書式**を選び、**実行**を押します。

4 **(A)** **(V)** を押しして、「テープ長」を画面に表示させます。

5 **(L)** **(R)** を押しして、「テープ長 **固定**」にし、**(V)** を押します。



数値が反転します

6 数値キー、または **(L)** (減)・**(R)** (増) を押しして、希望の数字(ラベルの長さ)にします。
元の長さより長い数値にします。

7 **(V)** を押しして、「BL割付」の設定画面にします。



8 **(L)** **(R)** を押しして、希望の割付の種類を表示させ、**実行**を押します。
(L) **(R)** を押すたびに、**左寄せ** **均等** **中寄せ** **右寄せ** と割付の種類が変わります。

文字の大きさを決める

ラベルを作ると、最適な文字サイズで印刷されます。これは、セットされているテープの幅と文章の行数に合わせて、最適な文字サイズを自動的に設定しているためです(ジャストフィット印刷)。

ここではジャストフィット印刷ではなく、自由に文字の大きさを決める方法を説明します。

●文字の大きさは、次の2つの方法で決めることができます。

- ・文字単位で大きさを決める
- ・行単位で大きさを決める

文字単位で大きさを決める

文字単位で「1×1」～「5×8」倍まで自由に文字サイズを選択できます。テープの幅によって、印刷できる文字サイズの最大値(縦方向)は異なります(テープ幅と行数・倍率一覧 115ページ)。

1×1

禁煙

4×4

禁煙

2×3

禁煙

5×6

禁煙

- ・縦書きと横書きとでは、印刷結果が異なる場合があります。たとえば、1×2と指定すると、横書きでは横長に、縦書きでは縦長に印刷されます(上の印刷例はすべて横書きで作成しています)。

1×2(横書き)

終日禁煙

1×2(縦書き)

終日禁煙

【例】 「終日禁煙」の「終日」を1×3にする

1 文字を入力します。

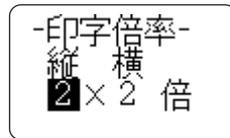
2  を押し、指を離してから  を押します。



3   を押して「印字倍率」を選び、 を押します。

4   を押して「文字単位」を選び、 を押します。

5 縦の倍率の数値が反転表示されていることを確認します。



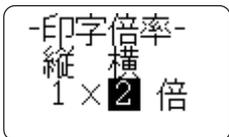
6   を押して、「縦」の倍率を設定します。

ここでは縦倍率を「1」にします。

- ・直接数字を入力することもできます。
- ・不適当な倍率を入力しようとすると、「ピッ」とブザーがなり、入力できません。

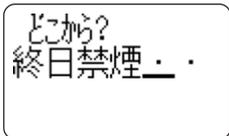
7 **⊙**を押して、「横」の倍率数値を反転させます。

- 数字を入力したときは、自動的に「横」の倍率数値が反転します。



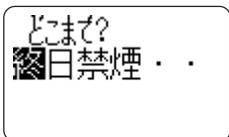
8 **⊙****⊙**を押して「横」の倍率を設定し、**実行**を押します。

ここでは横倍率を「3」にします。



9 **⊙****⊙**を押して大きさを定める最初の文字にカーソルを合わせ、**実行**を押します。

ここでは「終」を指定します。



10 **⊙****⊙**を押して大きさを定める最後の文字を選び、**実行**を押します。

ここでは**終日**にします。

文字倍率： カーソルが合っている文字の大きさをあらわします。

倍率マーク： 印刷される文字の大きさをあらわします。

ジャストフィットマーク：

自動的につきます。このマークよりうしろの文字はジャストフィット印刷に従った大きさで印刷されます。



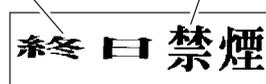
- 倍率マークやジャストフィットマークは画面だけの印ですので、印刷されません。
- 文字サイズの指定を取り消すときは、倍率マークを**文字削除**で削除します。

※倍率マークを削除した場合、文字サイズはテープ幅や入力文字の行数に合わせて自動設定されます。

ただし、削除した倍率マークよりも左側に倍率の指定があるときは、その倍率になります。

※倍率の範囲指定は、ブロックを超えて行うことはできません。

文字の大きさ1×3 ジャストフィット印刷



行単位で大きさを決める(フォーマット選択)

行単位で文字サイズを設定するときは、下のフォーマットから選びます。

- 文章の行数とセットされているテープカートリッジの幅によっては、異なるフォーマットを選んでも印刷結果が同じになることがあります。

行数	フォーマット	24/18mm幅	12mm幅	9mm幅
1行	A 	1×1倍	1×1倍	1×1倍
	B 	2×2倍	2×2倍	2×2倍*
	C 	3×3倍	3×3倍*	—
	D 	4×4倍	—	—
	E 	5×5倍*	—	—
2行	A  	1×1倍 1×1倍	—	—
	B  	1×1倍 2×2倍	—	—
	C  	2×2倍 1×1倍	—	—
	D  	2×2倍* 2×2倍*	—	—
	E  	1×1倍 3×3倍*	—	—
	F  	3×3倍* 1×1倍	—	—

行数	フォーマット	24/18mm幅	12mm幅	9mm幅
3行	A 	1×1倍 1×1倍 1×1倍	—	—
	B 	1×1倍 1×1倍 2×2倍*	—	—
	C 	1×1倍 2×2倍* 1×1倍	—	—
	D 	2×2倍* 1×1倍 1×1倍	—	—

※フレーム印刷時は、小さくなります。

- 重要**  • 6mm幅、3.5mm幅のテープは行単位で大きさを決めることはできません。
- 4行以上の場合は、行単位で大きさを決められません。
 - 文字単位で印字サイズを設定した後では、行単位で設定できません。

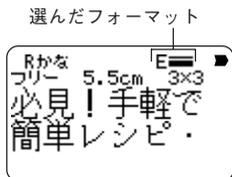
[印刷例]

必見!手軽で便利な

簡単レシピ

1行目: 1×1倍 (2行・フォーマットE)
2行目: 3×3倍 (18mm幅テープ)

- 1 文字を入力します。
- 2 **機能** を押し、指を離してから **5%** を押します。
- 3 **↶** **↷** を押して **印字倍率** を選び、**実行** を押します。
- 4 **↶** **↷** を押して **行単位** を選び、**実行** を押します。
- 5 **↶** **↷** **↶** **↷** を押してフォーマットを選び、**実行** を押し
ます。



次の場合、行単位の文字サイズの設定は解除されます。

- ・行数を変更したとき
- ・文字単位で文字の大きさを指定したとき(29ページ)

微小フォントについて

- 行数(入力した行数または選んだフォーマットの行数)と、テープ幅によって、「微小フォント」となります(17ページ)。
- このとき、画面右下の「**微小フォント**」が点灯します。
- フリーラベルでは、分数でイメージャー表示されます。



- ・イメージャー表示については、「2行以上のラベルを作る」の手順3(17ページ)をご覧ください。
- 微小フォントでは、次のようになります。
 - ・フォントの設定は、無効です(すべて同じフォントで印刷されます)。
 - ・プロポーショナルの設定は、無効です(OFFになります)。
 - ・文字体または文字修飾を設定すると、きれいに印刷できないことがあります。
 - ・絵文字や外字の場合は、きれいに印刷できないことがあります。

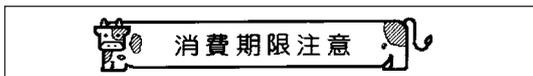
フレームをつける

フリーラベルの文章にいろいろなフレームをつけることができます。
フレームの一覧は106ページをご覧ください。

重要 3.5mm幅テープにフレームをつけることはできません。



【印刷例】



(9mm幅テープ/フレーム番号=59)

- 1 文字を入力します。
- 2 **機能** を押し、指を離してから フレーム印刷 **縦書き印刷** を押します。
- 3 **◀** **▶** **◀** **▶** を押して使うフレームを選び、 **実行** を押し
ます。
ここでは **縦書き印刷** を選びます。
- 4 **◀** **▶** で **印刷** を選び、 **実行** を押します。

- 5 数字キー(または **◀** **▶**) を押して印刷枚数を設定し **実行** を押し
ます。

印刷が開始されます。

印刷枚数は1~100枚まで設定できます。

- **実行** を押す前に **▶** を押すと、テープカットする/しないを **◀** **▶** で設定できます。(40ページ)
- 書式で「斜め **する**」と設定してあっても、フレームつき印刷では標準で印刷されます。
- 「文字修飾」の「枠付」の指定は無効になります。

フレーム印刷できる行数

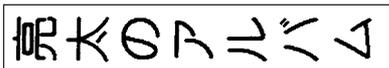
テープ幅によって、フレーム印刷できる行数は異なります。

	24/18mm幅	12mm幅	9mm幅	6mm幅
フレーム印刷できる行数	6行以内	3行以内	2行以内	1行

縦書きのラベルを作る

フリーラベルの入力中、または入力後の確認画面(42ページの最初の画面)表示中に **縦書印刷** を押すだけで、簡単に縦書きのラベルを印刷することができます。

【印刷例】

縦書きのラベル印刷例。9mm幅テープに「根長太郎」が印刷されている。

(9mm幅テープ)

注意

- フリーラベル以外では、**縦書印刷** は無効となります。フリーラベル以外で縦書きのラベルを作成するときは、書式設定画面(19ページ)で「縦書き」を設定してください。

1 文字を入力します。

2 **縦書印刷** を押します。

- ブロック書式(19ページ)で、縦書きと横書きを混在した文章を作成した場合は **縦書印刷** で印刷すると、すべて縦書きになります。

3 数字キー(または **◀ ▶**)を押して印刷枚数を設定し、**実行** を押します。

印刷が開始されます。

印刷枚数は1~100枚まで設定できます。

- 実行** を押す前に **✔** を押すと、テープカットする/しないを **◀ ▶** で設定できます(40ページ)。

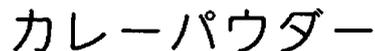


印刷するとき、39ページの注意事項をご覧ください。

整理・収納ラベルを作る

調味料の分類やタンスの収納など、身の回りのものの整理・整頓に便利なラベルが簡単に作れます。

【印刷例】

「カレーパウダー」のラベル印刷例。9mm幅テープに印刷されている。

(9mm幅テープ)

注意

- フリーラベル以外では、**整理・収納** は無効となります。フリーラベルに入ってから、以下の操作をしてください。(16ページ)

1 **整理・収納** を押します。

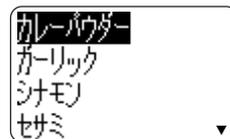
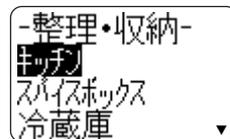
- 画面に入力した文字があるときは「作成中の内容が失われますがよろしいですか?」という画面になります。文章を消して操作を進める場合はそのまま **実行** を押します。消したくない場合は、**取消** を押してから、その文章を登録します。(42ページ)

分類が表示されます。

2 **⊕ ⊖** を押し、分類を選び **実行** を押します。

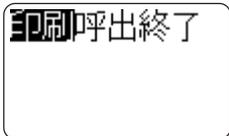
- ここでは「スパイスボックス」を選びます。

項目が表示されます。



3 ⏪ ⏩ を押し、項目を選び **実行** を押します。

ここでは「カレーパウダー」を選びます。



4 ⏪ ⏩ を押しして **印刷** を選び、 **実行** を押します。



5 ⏪ ⏩ を押しして印刷する枚数を設定し、 **実行** を押します。

印刷が開始されます。

印刷枚数は1～100枚まで設定できます。

- **実行** を押す前に ⏩ を押しすと、テープカットする/しないを ⏪ ⏩ で設定できます。(40ページ)

注意

- 項目の選択画面で半角表示になっている文字は、すべて全角で印刷されます。

印刷の書式を設定したい

文字の入力中に、お好みで印刷の書式を設定することができます。

- **機能** フレーム印刷 で縦書きやフレームのついた印刷を設定する
- **機能** ながさ でラベルの長さを設定する
- **機能** を押し、指を離してから **5** 印刷サイズ で印字サイズを設定する
- **機能** を押し、指を離してから **3** フォント でフォントを変更する
- **機能** を押し、指を離してから **6** 装飾 で文字に装飾を施す

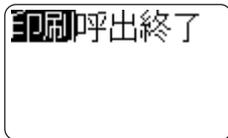
設定した項目は、整理・収納機能を抜けるまで有効です。

文字入力画面に整理・収納の項目を呼び出す

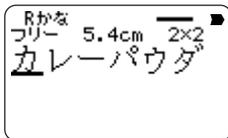
- 1 ^{ガーデニング}
整理・収納 を押します。
- 画面に入力した文字があるときは「作成中の内容が失われますがよろしいですか?」という画面になります。文章を消して操作を進める場合はそのまま **実行** を押します。消したくない場合は、**取消** を押してから、その文章を登録します。(42ページ)

- 2 **↑** **↓** を押し、分類を選び **実行** を押します。

- 3 **↑** **↓** を押し、項目を選び **実行** を押します。



- 4 **←** **→** を押し、呼出を選び **実行** を押します。



注意

項目の選択画面で半角表示になっている文字は、すべて全角で呼び出されます。

ガーデニングラベルを作る

本機には、花や観葉植物やハーブのなまえがいろいろ登録されています。「ガーデニングラベル」は、カタカナ名表記、英名表記、カタカナ名＋英名表記の中から好みのスタイルを選ぶことができます。



- 次のようなところにラベルを貼ると、はがれる場合があります。
 - 雨が当たるところ
 - 植木鉢などで表面がざらざらしているところ
 - 土やほこりなどがついているところ
- 水やりをするときは、ラベルに直接、水がかからないようにしてください。
- 直射日光のあたるところでは、ラベルの色が落ちたり、印刷された文字が薄くなる場合があります。
- 植物のカタカナおよび英名は、一般的に使われている名称の一例を載せています。また、花・観葉植物・ハーブの分類は便宜的に分けたものです。

[印刷例]

シクラメン

(9mm幅テープ)

注意

- フリーラベル以外では、^{ガーデニング}
整理・収納 は無効となります。
フリーラベルに入ってから、以下の操作をしてください。(16ページ)

1 **機能** を押し、指を離してから ガーデニング **整理・印刷** を押します。

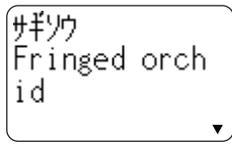
- 画面に入力した文字があるときは「作成中の内容が失われますがよろしいですか?」という画面になります。文章を消して操作を進める場合はそのまま **実行** を押します。消したくない場合は、**取消し** を押してから、その文章を登録します。(42ページ)



植物の分類が表示されます。

2 **戻る** **進む** を押して分類を選び、 **実行** を押します。
ここでは「花(サト)」を選びます。

一行目にカタカナ名が、二行目に英名が表示されます。



3 **戻る** **進む** を押して印刷したい植物を選び、 **実行** を押します。
ここでは「シクラメン」を選びます。



4 **戻る** **進む** を押して、印刷の形態を選び **実行** を押します。



5 **戻る** **進む** を押して印刷を選び、 **実行** を押します。



6 **戻る** **進む** を押して印刷する枚数を設定し、 **実行** を押します。
印刷が開始されます。
印刷枚数は1~100枚まで設定できます。
・ **実行** を押す前に **戻る** を押すと、テープカットする/しないを **戻る** **進む** で設定できます。(40ページ)

注意

- 項目の選択画面で半角表示になっている文字は、すべて全角で印刷されます。

印刷の書式を設定したい

文字の入力中に、お好みで印刷の書式を設定することができます。

- ・ フレーム印刷 **縦書き印刷** で縦書きやフレームのついた印刷を設定する
- ・ **ながさ** でラベルの長さを設定する
- ・ **機能** を押し、指を離してから 印刷サイズ **5** で印字サイズを設定する
- ・ **機能** を押し、指を離してから フォント **3** でフォントを変更する
- ・ **機能** を押し、指を離してから 装飾 **6** で文字に装飾を施す

設定した項目は、ガーデニングを抜けるまで有効です。

文字入力画面にガーデニングの項目を呼び出す

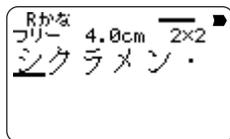
- 1 **機能**を押して、指を離してから^{ガーデニング}**登録・印刷**を押します。
- 画面に入力した文字があるときは「作成中の内容が失われますがよろしいですか?」という画面になります。文章を消して操作を進める場合はそのまま**実行**を押します。消したくない場合は、**取消し**を押してから、その文章を登録します。

- 2 **⤴** **⤵**を押し、分類を選び**実行**を押します。

- 3 **⤴** **⤵**を押し、項目を選び**実行**を押します。

- 4 **⤴** **⤵**を押して、印刷の形態を選び**実行**を押します。

- 5 **⤴** **⤵**を押し、**呼出**を選んで**実行**を押します。



印刷とカットモード

印刷するときには以下の点に注意してください。

- 「入門ガイド」22ページ「ラベルを貼る」、「テープを空送りする」、「テープの余白を「送り無」にしたときは」をご参照の上、操作してください。



- 印刷中に、絶対に電源を切らないでください。
- 印刷中に、カセットカバーを絶対に開けないでください。(カセットカバー→「入門ガイド」5ページ)
- 印刷中に出てきたテープは、「自動的にカットされる」または「印刷が終了する」までさわらないでください。
- 印刷の途中でテープがなくならないように十分残量のあるテープカートリッジをご使用ください。印刷の途中でテープがなくなったときは、**[取消]**を押して印刷を中止してください。
- テープ出口のまわりに、カットされたテープがたまらないようにしてください。カットされたテープがテープ出口をふさいでしまうと、テープがつまったり、故障の原因になります。
- 黒い部分の多い文字を印刷したり、連続して印刷すると、プリンターが熱くなり過ぎるのを防止するため“印刷準備中”と表示されて、印刷を一時停止することがあります。プリンターが正常な温度に戻ると自動的に印刷を再開しますので、そのまましばらくお待ちください。
- “印刷準備中”の表示になり、頻繁に印刷が停止する場合は印刷濃度を低く設定してください。(86ページ)
- 1度に印刷されるラベルの長さが極端に長い場合は、印刷できません。ラベルの長さを短くする、または、印刷枚数を減らして、印刷し直してください。

カットモードについて

複数枚のラベルを印刷するときは、ラベルとラベルの間を自動的に切り離すか切り離さないか選ぶことができます。また、テープによっては、本機のカッターでカットするとカッター部が摩耗し、故障の原因となることがありますので、注意してください。

※下記のテープは特殊なテープです。必ず下表を確認し、「カットしない」に設定して使用してください。

• マグネットテープ • 反射テープ	カットしない
-----------------------	--------

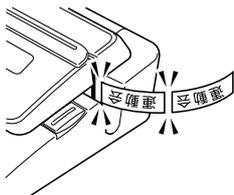
■2つのカットモード

カットモードには2つあります。

- カットモードは、「印刷する」の手順4(「入門ガイド」21ページ)で設定します。
- 余白の設定によって、カットのしかたと余白部分の長さは異なります。詳しくは「カットのしかたと余白について」(41ページ)をご覧ください。
- 書式で「余白 送り無」に設定したときは、「カットする」を選択しても、カットされません。(「入門ガイド」22ページ)
- テープの長さが「余白小のときは、約24mm以下」、「余白中のときは、約31mm以下」の場合は、自動的にカットされないことがあります。印刷終了後、ハサミなどでカットしてください。

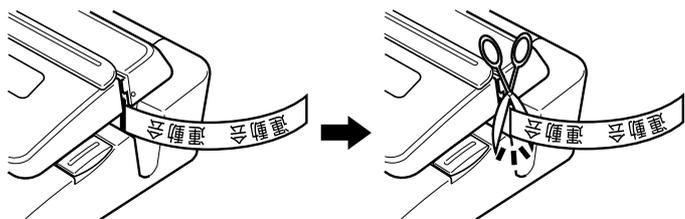
●カットする

- ラベルごとにごカットします。
- ※2枚以上印刷するときは、カットされたラベルがテープ出口をふさがないようにご注意ください。テープ出口をふさいでしまうと、テープづまりや故障の原因となります。
- 各ラベルの先頭には設定に応じた余白がつきます。



●カットしない

- ラベル間はカットしません。
- テープをカットするための余白を入れずに印刷できるので、ラベルが節約できます。
- マグネット・反射テープに印刷するときは、必ず「カットしない」に設定してください。
- 印刷終了後、**機能** を押し、指を離してから ^{テープ送り} **へん** を押してテープ送りをしたあと、ハサミなどでラベルをカットしてください。



反射テープとマグネットテープについて

反射テープとマグネットテープは特殊な処理をしてあるテープです。カットするときは、下記の手順にしたがってハサミなどを使いカットしてください。

なお、本機で反射テープやマグネットテープをカットすると、カッター部分の寿命が短くなりますのでご注意ください。

- 書式の全文書式で、余白を「送り無」にする(21ページ)
またはカットモードで「カットしない」にする
- 印刷する
- 機能** ^{テープ送りの} **へん** と押して、テープ送りをする
- 反射テープまたはマグネットテープを取り出し、ハサミなどを使ってカットする

・ご使用後は、必ず本機から取り出して保管してください。

カットのしかたと余白について

カットモードと余白の設定によって、カットのしかたと余白の長さは異なります。

カットモード		カットする			カットしない		
余白	カットのタイミング	部分の余分な先頭のカット	1枚終了のごと	1枚終了のごと	部分の余分な先頭のカット	1枚終了のごと	1枚終了のごと
	余白小	カット	フルカット	フルカット	フルカット	無し	無し
余白		23.5mm	3mm	3mm	23.5mm	3mm	3mm
余白中	カット	フルカット	フルカット	フルカット	無し	無し	無し
	余白	23.5mm	10mm	10mm	23.5mm	10mm	10mm
余白大	カット	無し	フルカット	フルカット	無し	無し	無し
	余白	—	21.5mm	21.5mm	—	21.5mm	21.5mm
送り無	カット	無し	無し	無し	無し	無し	無し
	余白	—	—	—	—	—	—

作成したデータを登録する・呼び出す

作成したデータをメモリーに記憶させておくことができます。記憶させることを**登録**といいます。

登録しておけば、いつでも呼び出して印刷したり、また内容を修正して違うデータを作ることができます。

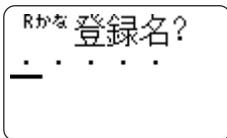
データを登録する

データに名前をつけて登録します。

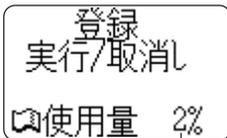
文字の入力が終わるとこの画面になります



1 ◀▶を押して**登録**を選び、**実行**を押します。



2 登録名を入力し、**実行**を押します。
登録名は5文字まで入力できます。



すでに登録されているデータがどのくらいあるかを示します

3 **実行**を押します。
「登録完了」と表示され、最初の画面に戻ります。

登録名

記憶させるときは、データに名前(登録名)をつけます。これは、あとでデータの内容を呼び出すときに、名前です。

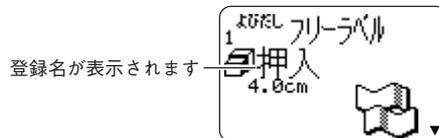
登録したデータを呼び出す

登録したデータは、作成方法画面(12ページの2の画面)から呼び出します。

1 ◀▶を押して「登録データ」を選び、**実行**を押します。



2 ◀▶を押して**呼出し**を選び、**実行**を押します。



3 ▲▼を押して呼び出したいデータの登録名を探し、**実行**を押します。

データが呼び出されます。

必要に応じて、修正・印刷してください。

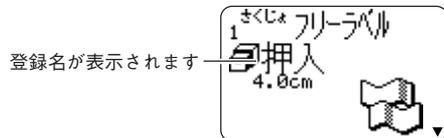
登録したデータを削除する

登録したデータは、作成方法画面(12ページの2の画面)から削除することができます。

- 1 ◀▶を押して「登録データ」を選び、**実行**を押します。



- 2 ◀▶を押して**削除**を選び、**実行**を押します。



- 3 ▲▼を押して削除したいデータの登録名を探し、**実行**を押します。
「よろしいですか?」と表示されます。

- 4 **実行**を押します。

- 他に登録文章があるときは、その登録名が表示されます。引き続き、削除することができます。
- データ削除の操作から抜け出すときは**取消し**を押します。

MEMO

ディスク&ケース編

ディスク印刷データと印刷エリアについて

ディスク印刷データとは？

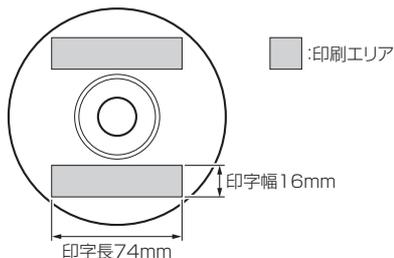
本書では、ディスク印刷の用語について、次のように定義しています。

ディスクに対して、本機を使って印刷を行う面 (ディスクメーカーのロゴ等が印刷されている面)	印刷面
印刷面に印刷する文字やイラスト/画像のすべて	ディスク印刷データ



印刷エリアとは？

本書では、本機で作ったディスク印刷データを印刷できる場所を「印刷エリア」と呼びます。



ディスク印刷データ作成の流れ

KLD-200では、ディスクケース用のラベルを作成したり、ディスクにオリジナルタイトルを印刷したりすることができます。

仕上がりの形を選んだりイラストを入れたりすることで、見栄えの良いディスクを作成することができます。

「ディスクの表面」「ディスクケースのラベル」を印刷するときは、次の手順で行います。

乾電池のセット

「入門ガイド」8ページ

またはACアダプター(別売)の接続

89ページ



インクリボンカセットの「入門ガイド」14ページ 取り付け

ディスクケースラベル印刷の場合は、
テープカートリッジの取り付け 「入門ガイド」12ページ



手軽に作る

おまかせコース

入門ガイド 24ページ

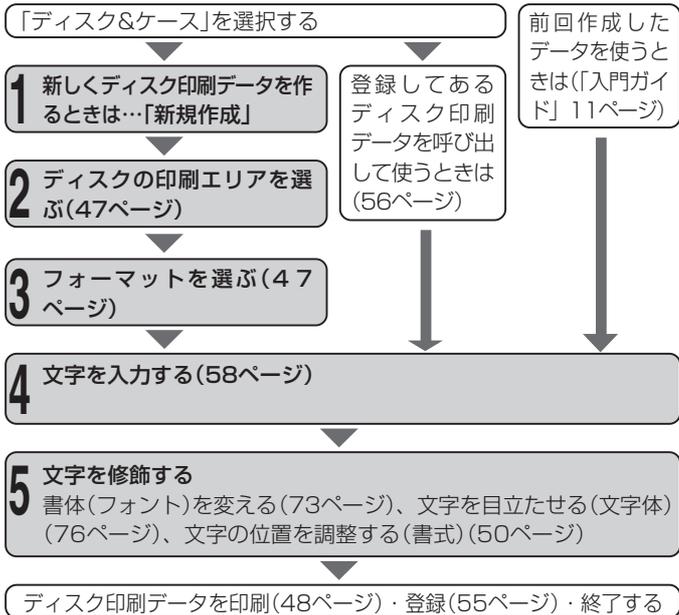


凝ったデザインで作る

こだわりコース

46ページ

「こだわりコース」の操作の流れ



新しくディスク印刷データを作る

印刷エリアやフォーマットを選んで新しくディスク印刷データを作成する方法について説明します。

- 登録済みのディスク印刷データを呼び出して使うときは→56ページ

【印刷例】



1 **ON** を押して、電源を入れます。

- 前回のデータを使いたいときは、**↑** **↓** を押して「前回データ」を選び、**実行** を押して呼び出します。



2 **◀** **▶** を押して「ディスク&ケース」を選び、**実行** を押します。

- 上記の操作の代わりに、**📀** を押しても、同じ画面に進めます。

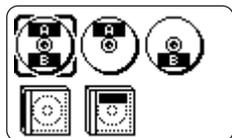


3 ◀▶を押して「新規」を選び、**実行**を押します。



4 ◀▶を押して「こだわり」を選び、**実行**を押します。

ディスク印刷データの印刷エリアが表示されます。



- ・「おまかせコース」については、「入門ガイド」24ページをご参照ください。

ディスク印刷データの印刷エリアを選ぶ

ディスク上でのディスク印刷データの印刷エリアを選びます。

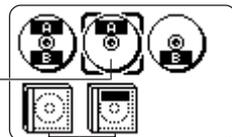
印刷エリアの種類

印刷エリア	<p>エリアA</p> <p>エリアB</p>	<p>エリアA</p> <p>エリアB</p>	<p>エリアA</p> <p>エリアB</p>
	<p>エリアA</p> <p>エリアB</p>	<p>エリアA</p> <p>エリアB</p>	<p>エリアA</p> <p>エリアB</p>
印字例	<p>家計簿</p> <p>1月~6月</p>	<p>家計簿・1月~6月</p>	<p>家計簿・1月~6月</p>

印刷エリアを設定する

5 ◀▶◂▶を押して、印刷エリアを選びます。

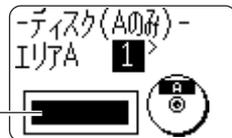
ここでは、この印刷エリアを選びました



ディスクケースの背ラベル/表ラベル作成時に選びます。(54ページ)

6 **実行**を押します。

印刷面のフォーマット候補が表示されます



レイアウト(フォーマット)を選ぶ

レイアウト(フォーマット)の種類を選びます。

フォーマットの種類

フォーマットは、用途や作りかたに応じて次の4種類があります(各フォーマットの形や最大入力文字数については、「ディスク印刷データフォーマット一覧」(107ページ)をご覧ください)。

標準(1~18)…文字のみを入れることができます。

ロゴ付き(1~4)…文字と、内蔵ロゴデータ(25種類)を入れることができます。

- ・ロゴ付きのフォーマットを選んだときは、「ロゴ付きのデータを印刷する」(53ページ)をご覧ください。

フレーム付き(1~5)…文字と、内蔵フレームデータ(20種類)を入れることができます。

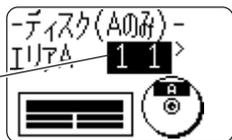
- ・フレーム付きのフォーマットを選んだときは「フレーム付きのデータを印刷する」(52ページ)をご覧ください。

オートフォーマット(1~2)…行数と入力した文字数に応じて、自動的に文字の大きさが変わります(詳しくは50ページをご覧ください)。

■フォーマットを設定する

7 ◀ ▶を押して、フォーマットを選びます。

ここではこのフォーマットを選びました。

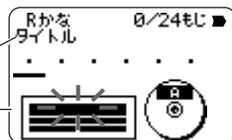


8 [実行]を押します。

文字入力画面が表示されます。

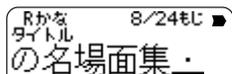
現在入力中の項目名が表示されます

現在入力中の項目が点滅します



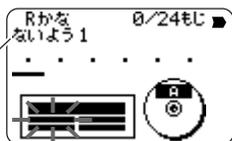
- 2カ所印刷できる印刷エリアを選んだときは、手順 7～8 を再度行ってエリアBのフォーマットを設定します。

9 文字を入力します。



10 [実行]を押します。

次の入力項目名が表示されます



次の入力位置が点滅します

11 手順9～10と同様にして、各項目に文字を入力し、[実行]を押します。

- 46ページの印刷例のようにするには、「タイトル(ゆりかの名場面集)」を中寄せにします。「ないよう1(小学5年生)」と「ないよう3(小学6年生)」を右寄せにし、「ないよう2(運動会・合唱コンクール)」と「ないよう4(修学旅行・卒業式)」の先頭にスペースを入れて左寄せにしてください。

これで、ディスク印刷データが完成しました。

- ディスク印刷データを登録するときは
→55ページ



■印刷する

入力した文字をディスクに印刷してみましょう。ご不要になったディスクなどを印刷のお試し用としてお使いください。

- ディスクへの印刷は、ディスクにデータを記録する前に行われることをおすすめします。すでにデータが記録されているディスクに印刷した場合、データ破損の補償はいたしません。
- 印刷前に同梱の「推奨メディア一覧」をお読みいただき、印刷可能なディスクの種類や印刷時の注意事項についてご確認ください。
- 本体が破損する原因となるため、シングルCD-Rや名刺サイズのCD-Rには印刷できません。印刷できるのは、直径12cmのディスクだけです。
- 印刷する前に、印刷結果を画面で確認することができます。(「入門ガイド」25ページ)

12 印刷になっていることを確認して、**実行**を押します。



13 ◀ ▶ を押して印刷する対象を選び、**実行**を押します。

ここでは**ディスクに印刷**になっていることを確認して、**実行**を押します。

- 印刷する対象として**テープに印刷**を選ぶと、ディスク印刷データをラベルに印刷することができます。
ディスクに印刷する前にラベルに試し印刷するときに便利です。
また、ディスク印刷と同じ内容のラベルが作成できるので、ケース表ラベルとしてもお使いになれます。
※18mm・24mm幅以外のテープカートリッジでは、この機能は使用できません。
- これ以降は「入門ガイド」26ページ、手順3以下の操作をしてください。

最適な大きさの文字で印刷する(オートフォーマット)

入力文字数と印刷サイズ

オートフォーマットを選択すると、印刷サイズは入力文字数に応じて下記のように最適なサイズに設定されます。

入力文字数	オート1 (1行用)		オート2 (2行用)	
	表示(倍率)	印刷サイズ	表示(倍率)	印刷サイズ
0~9	×5	15mm	×2	6mm
10~12	×4	12mm	×2	6mm
13~16	×3	9mm	×2	6mm
17~24	×2	6mm	×2	6mm
25~49	×1	3mm	×1	3mm

オートフォーマットでデータを作る

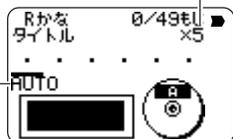
1 フォーマット選択画面(48ページの7の画面)で◀▶を押し、「オート1」または「オート2」のどちらかを選びます。

- 「オート1」：1行用
- 「オート2」：2行用



文字の倍率(サイズ)

2 [実行]を押します。



オートフォーマットが選択されているとき表示されます

3 文字を入力します。



入力文字数に合わせて、倍率が変化します

4 [実行]を押し、標準のディスク印刷データと同じように印刷します。

文字の位置を調整する

文字のバランスを整えたり、英数字を美しく割り付けることができます。

文字のバランスを整える(文字割付)

文字のバランスを整えることができます。

■文字割付の種類

文字のバランスを整えることができます。

中寄せ



右寄せ



左寄せ



均等

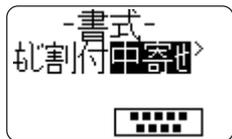


■文字割付を設定する

1 文字を入力します。

2 [機能]を押し、指を離してから^{書式}4/5を押します。

3 (▲) (▼)を押して**文字割付**にし、**実行**を押します。



4 (◀) (▶)を押して、割付の種類を選び、**実行**を押します。

(◀) (▶)を押すたびに、**中寄せ** **右寄せ** **左寄せ** **均等** と割付の種類が変わります。

5 (◀) (▶)を押して設定の範囲を選び、**実行**を押します。

- **全文**：フォーマット単位で設定されます。
- **行**：項目単位で設定されます。

文字入力の画面に戻ります。

英数字を美しく割り付ける(プロポーショナル)

アルファベット・数字を、最適な間隔で割り付けることができます。

プロポーショナルの設定と内容は以下の通りです。

ON：アルファベット・数字に適した文字ピッチに調整する

OFF：アルファベット・数字の文字ピッチが、かな・漢字まじりの文章に適した文字ピッチになる

• 本機では、新規作成時は「ON」に設定されています。

種類	印刷例
ON	cinema01
OFF	c i n e m a 0 1

1 文字を入力します。

2 **機能**を押し、指を離したあと**書式**(4)を押します。

3 (▲) (▼)を押して**プロポーショナル**にし、**実行**を押します。



4 (◀) (▶)を押して**ON**にし、**実行**を押します。

文字入力の画面に戻ります。

フレーム付きのデータを印刷する

フレーム付きのフォーマットを選ぶと、ディスク印刷の文章にいろいろなフレームをつけることができます。フレームの一覧は106ページをご覧ください。

[印刷例]



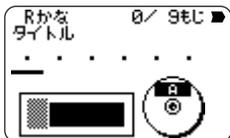
1 フォーマット選択画面(48ページの7の画面)で◀▶を押し、「フレーム1」～「フレーム5」のいずれかを選びます。



2 [実行]を押します。



3 ▲▼◀▶を押して、印刷したいフレームデータを選び、[実行]を押します。



これでフレームデータが設定されました。
この後文字を入力する画面になります。

フレーム付きディスク印刷データの印刷例

フォーマット	印刷例
フレーム1	
フレーム2	
フレーム3	
フレーム4	
フレーム5	

ロゴ付きのデータを印刷する

ロゴ付きのフォーマットを選ぶと、次の内容を印刷することができます。

- 文字
- 内蔵ロゴデータ

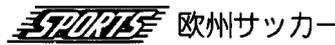
内蔵ロゴの一覧は15ページをご覧ください。

ロゴ付きディスク印刷データの印刷例

フォーマット	印刷例
ロゴ1	
ロゴ2	
ロゴ3	
ロゴ4	

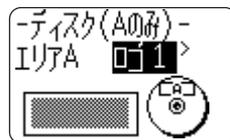
■ロゴデータの印刷倍率について

フォーマットとの組み合わせによって、印刷されるロゴデータは下の倍率で印刷されます。

フォーマット	内蔵のロゴデータを印刷した場合
ロゴ1 (ロゴデータのみ印刷)	等倍の大きさで印刷 
ロゴ2~4 ロゴデータと文字を印刷	1/2の大きさで印刷 

ロゴ付きのディスク印刷データを作る

- 1 フォーマット選択画面(48ページの7の画面)で◀ ▶を押し、「ロゴ1」~「ロゴ4」のどれかを選びます。



- 2 **実行**を押します。

- 3 ◀ ▶を押して、印刷したいロゴデータを選びます。



- 4 **実行**を押します。

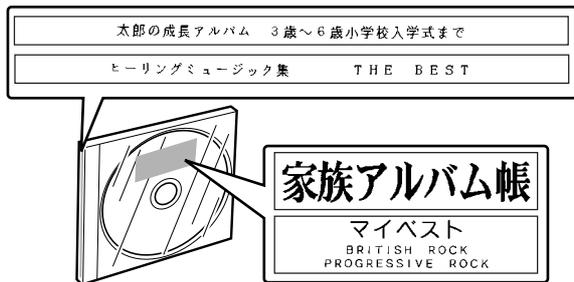
これで、ロゴデータが設定されました。

ロゴ2~4では、この後文字を入力する画面になります。

ディスクケースのラベルを作る

ディスクケースの背の部分や表面に貼るラベルを作ることができます。

- 重要**  ・使用できるテープカートリッジは、次のとおりです。
背ラベル：6mm/3.5mm幅
表面ラベル：24mm/18mm幅
・ケースの厚さによっては、背の部分にラベルを貼ることができないことがあります。



ディスクケースのラベルを作る

ここでは背ラベルの作成方法について説明しますが、表面ラベルの作成方法も、同じ操作です。

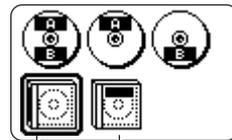
- 1 **ON** を押して、電源を入れます。
- 2 **◀▶** を押して「ディスク&ケース」を選び、**実行** を押します。
・上記の操作の代わりに、 を押しても、同じ画面に進めます。
- 3 **◀▶** を押して「新規」を選び、**実行** を押します。

- 4 **◀▶** を押して「こだわり」を選び、**実行** を押します。

・「おまかせコース」については、「入門ガイド」24ページをご参照ください。

- 5 **⬆⬇⬅▶** を押して、 または  を選びます。

ここでは、 (背ラベル用) を選びます。



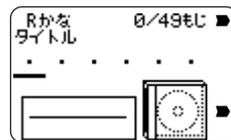
背ラベル用 (ケース背ラベル) — 表面ラベル用 (ケース表ラベル)

- 6 **実行** を押します。



- 7 **◀▶** を押してフォーマットを選び、**実行** を押します。

詳しくは「ディスクケースラベルフォーマット一覧」(108ページ)をご覧ください。



8 文字を入力し、**実行**を押します。

これでラベルデータが完成しました。

- ・ラベルデータを印刷するときは→「入門ガイド」21ページ
- ・ラベルデータを登録するときは→55ページ

印刷登録終了

印刷の書式を設定したい

文字の入力中に、お好みで印刷の書式を設定することができます。

- ・印刷方向の「横書き／縦書き」を設定する
- ・「裏書き」印刷の「する／しない」を設定する

上記の設定をするには、文字入力中に**機能**を押し、指を離してから**4**を押して、書式設定画面を表示させ、設定をします。

作成したデータを登録する・呼び出す

作成したディスク印刷データ・ケースラベルデータをメモリーに記憶させておくことができます。記憶させることを**登録**といいます。登録しておけば、いつでも呼び出して印刷したり、また内容を修正して違うデータを作ることでもあります。

データを登録する

文字の入力が終了した後、データに名前をつけて登録します。

文字の入力が終わるとこの画面になります

印刷登録終了

- 1 **◀ ▶**を押して、**登録**を選び**実行**を押します。

Rかな 登録名?
.....

- 2 登録名を入力し、**実行**を押します。

・登録名は5文字まで入力できます。

登録
実行/取消
◎使用量 1%

- 3 **実行**を押します。

すでに登録されているデータがどのくらいあるかを示します

「登録完了」と表示され、最初の画面に戻ります。

登録名

記憶させるときは、作成したデータに名前(登録名)をつけます。これは、あとでデータの内容を呼び出すときに、名前で探すためです。

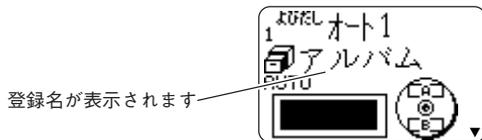
登録したデータを呼び出す

登録したデータは、作成方法画面(46ページの2の画面)から呼び出します。

- 1 ◀▶を押して「登録データ」を選び、**実行**を押します。



- 2 ◀▶を押して**呼出し**を選び、**実行**を押します。



- 3 ▲▼を押して呼び出したいデータの登録名を探し、**実行**を押します。

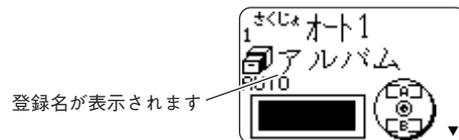
データが呼び出されます。
必要に応じて、修正や印刷をしてください。

登録したデータを削除する

登録したデータは、作成方法画面(46ページの2の画面)から削除することができます。

- 1 ◀▶を押して「登録データ」を選び、**実行**を押します。

- 2 ◀▶を押して**削除**を選び、**実行**を押します。



- 3 ▲▼を押して、削除したいデータの登録名を探し、**実行**を押します。

「よろしいですか?」と表示されます。

- 4 **実行**を押します。

- 他に登録文章があるときは、その登録名が表示されます。引き続き、削除することができます。
- データ削除の操作から抜け出すときは**取消し**を押します。

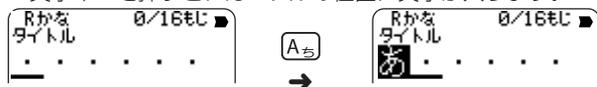
入力・編集編

文字の入力や編集についての基本的な説明をします。また、装飾の指定や外字の作り方についても説明しています。本編では主にディスクモードの画面で入力・編集方法を説明しておりますが、テープモードでも同様に操作してください。

カーソルのはたらきと動かしかた

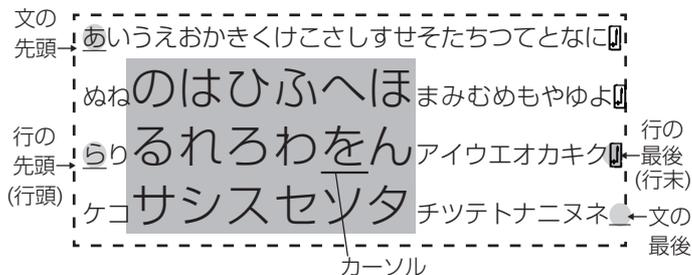
画面上で点滅している **_** をカーソルといいます。カーソルとは、文字を入れる位置を示した目印のことです。

文字キーを押すと、カーソルの位置に文字が入ります。



■カーソルの動かしかた

カーソルは **⬅** **⬆** **⬇** **➡** を押して動かします。



• 3行表示されるのは、フリーラベルだけです。

⬅	左にカーソルが移動する	⬆	上にカーソルが移動する
➡	右にカーソルが移動する	⬇	下にカーソルが移動する
機能 を押し、 指を離してから ⬅ を押す	行の先頭にカーソルが移動する	機能 を押し、 指を離してから ➡ を押す	行の最後にカーソルが移動する

スクロールとは
画面にかくれている文字を見るためには、**⬅** **➡** を押して、かくれている部分にカーソルを動かします。これを**スクロール**といいます。
(**⬅** **➡** を押した方向に文字がないときは、カーソルは動きません。)

ローマ字入力?それともかな入力?

キーを押して文字を画面にあらわすことを、**入力**といいます。
文字を入力する方法には、ローマ字入力とかな入力があります。

・ローマ字入力とは…

アルファベットを使ったローマ字よみでひらがななどを入力する方法です。

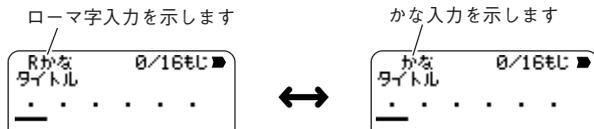
・かな入力とは…

直接ひらがななどを入力する方法です。

購入後はじめて使うときや、メモリーの初期化をした後では、ローマ字入力の状態になっています。

ローマ字入力とかな入力を切り換える

機能 を押し、指を離してから **あア** を押し



ローマ字入力を示します かな入力を示します

・「ab」「AB」が画面左上に表示されているときは、まず **あア** を押し、「Rかな」または「かな」を表示させます。

「設定」で切り換えるには

- 1 **機能** を押し、指を離してから **0** を押します。
- 2 **設定** を押し、指を離してから **0** を押します。
- 3 **設定** を押し、指を離してから **0** を押して「かな」または「ローマ字」を選び、**実行** を押します。

入力する文字の切り替え方法

文字キーは、1つで数種類の文字が入力できるようになっています。
あア や **aA** を押して、ひらがな・カタカナ・アルファベット・記号が入力できるように、切り換えます。

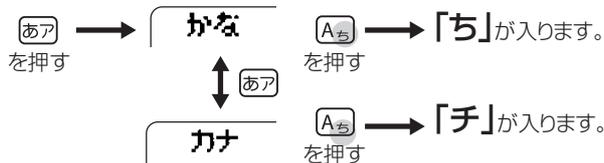
ここでは **Aち** を例にとって、説明します。

ひらがな・カタカナの入力

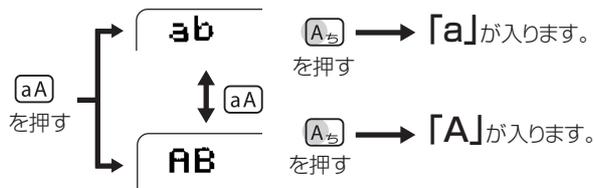
■ローマ字入力の場合



■かな入力の場合



アルファベット(大文字・小文字)の入力



ひらがな・カタカナの入力

ここではローマ字入力で説明します。

ひらがなの入力

【例】 さくら

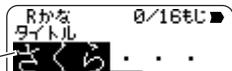
1 **あア**を何回か押して、画面左上に「Rかな」を表示させます。

- かな入力のときは、「かな」を表示させます。(58ページ)



2 **S**と**A**と**K**と**U**と**R**と**A**とを押します。

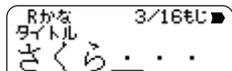
- かな入力のときは、**X**と**H**と**O**とを押します。



ひらがなを入力している最中は、
■が文字に重なっています

3 **無変換**または**実行**を押します。

「さくら」が確定します。



- 「無変換」とは、漢字に変換しないでひらがなのまま確定するという意味です。

カタカナの入力

【例】 サクラ

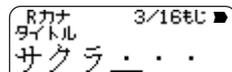
1 **あア**を何回か押して、画面左上に「Rカナ」を表示させます。

- かな入力のときは、「カナ」を表示させます。(58ページ)



2 **S**と**A**と**K**と**U**と**R**と**A**とを押します。

- かな入力のときは、**X**と**H**と**O**とを押します。



カタカナを入力すると、そのまま確定されます。

ひらがなで文字を入力して、カタカナに変換する(カタカナ変換)

例 サクラ

① ひらがなで「さくら」と入力します。

② **さくら**となっているときに、**機能**を押し、指を離してから

無変換を押します。

カタカナ変換

さくらが「サクラ」に確定されます。

いろいろな文字の入力方法

	例	ローマ字入力	かな入力
促音	いった	[I] [っ] [T] [か] [A] [ち]	[E] [い] シフト [Z] [っ] [Q] [た]*
拗音	きょう	[K] [の] [Y] [ん] [O] [さ] [U] [な]	[G] [き] シフト [9] [ょ] [4] [う]*
濁音	ぼく	[B] [ご] [O] [さ] [K] [の] [U] [な]	[=] [ぼ] [@] [H] [く]
半濁音	ぱぱ	[P] [せ] [A] [ち] [P] [せ] [A] [ち]	[F] [は] [[] [ぱ] [F] [は] [[] [ぱ]
句点	。	[.] [。]	シフト [.] [。]
読点	,	[<] [、]	シフト [<] [、]
長音	ー	[¥] [?]	[¥] [?]
中点	・	シフト [/] [め]	シフト [/] [め]
を		[W] [て] [O] [さ]	シフト [O] [を]
ん		[N] [み] [N] [み]	[Y] [ん]
ヴ		「Rカナ」表示のときに [V] [ひ] [U] [な]	「カナ」表示のときに [4] [う] [@] []
カ		[X] [さ] [K] [の] [A] [ち] または [K] [の] シフト [A] [ち]	シフト [T] [か]
ケ		[X] [さ] [K] [の] [E] [い] または [K] [の] シフト [E] [い]	シフト [:] [*] [け]
空白		[空白]	[空白]

* [シフト] を押し、指を離してから文字キーを押すと小文字(促音・拗音)になりますが、「つやゆあいう」など促音・拗音にすることができる文字に限りです。

- ・ローマ字よみの詳細については、「ローマ字入力一覧」(101ページ)をご覧ください。
- ・,(カンマ) .(ピリオド)の入力方法については、67ページをご覧ください。

漢字の入力

漢字を入力するには、まずその漢字の「よみ」をひらがなで入力します(例:「花」→「はな」)。

ひらがなから漢字に変えることを**変換**といいます。使いたい漢字が表示されたら、**[実行]**を押して、ほかの文字に変わらないように**確定**します。

ひらがなから漢字に変換する方法は、次のとおりです。

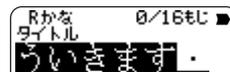
- ・ **文章を入力してから変換する**
- ・ **同音異義語を変換する**(例:公園、後援など)
- ・ **漢字1文字分ずつ変換する**(当て字やむずかしい固有名詞などの変換)

文章を入力してから変換する

文章を入力してから、まとめて漢字に変換します。まとめて変換できる文字数は、32文字までです。

【例】 今日行きます

1 「きょういきます」をひらがなで入力します。



2 **[変換]**を押します。

「きょういき」と「ます」という2つの言葉と認識されたため、「境域」と変換されます。

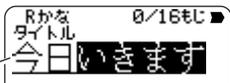


「境域」に下線がついています

3 ⏪ を2回押します。

「きょういき」を「きょう」という言葉に区切るためです。

「今日」に変換されます



4 [実行] を押します。

「今日」が確定されます。

「いき」と「ます」という2つの言葉が残ったと認識されたため、「いき」が「意気」に変換されます

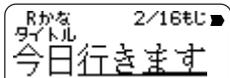
5 ⏩ を2回押します。

「いき・ます」を「いきます」という言葉にするためです。



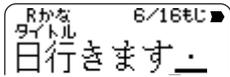
6 [変換] を何回か押して、「行きます」にします。

[変換] を押すたびに、「いきます」に当てはまる言葉が次々と表示されます。



7 「行きます」が表示されたら、[実行] を押します。

「行きます」が確定されます。



カーソルと下線の違い

カーソルは、文字が入る位置を示した目印で、点滅して画面に表示されます。ひらがなを漢字に変えるときにつく下線は、「現在、変換することができる部分」を示した印です。

- 下線がついているときに [取消] を押すと、「よみ」の状態に戻ります。



「よみ」を入れて [変換] を押しても目的の漢字に変換できないときは、単漢字変換を試してみましょう。(62ページ)

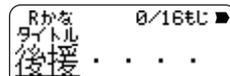
同音異義語を変換する

複数の漢字が当てはまる「よみ」(同音異義語)を変換する方法を説明します。

【例】 公園

1 「こうえん」と入力し、[変換] を押します。

「こうえん」に合った漢字の候補が表示されます。

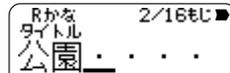


2 [変換] を何回か押して、「公園」にします。

[変換] を押すたびに、「こうえん」に当てはまる言葉が次々と表示されます。

3 「公園」になったら、[実行] を押します。

「公園」が確定されます。



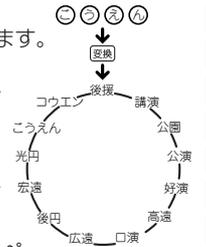
変換のルール

まず [変換] を押して、ひらがなを漢字に変換します。

[変換] または ⏩ を押すと、次の漢字が表示されます。

[機能] を押し、指を離してから [変換] を押す、または ⏪ を押すと、1つ前の漢字が表示されます(前候補)。

※変換候補の順番は、本機の「学習機能」(63ページ)によって変わります。

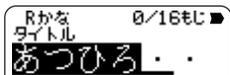


漢字1文字ずつ変換する(単漢字変換)

当て字やむずかしい固有名詞などを変換するときは、1文字ずつ目的の漢字に変換します。

【例】 敦廣(あつひろ)

1 「あつひろ」をひらがなで入力します。



2 **変換**を何回か押します。
何回押しても、「敦廣」に変換されません

3 **単漢字**を押します。

- もう一度**単漢字**を押すと、「あ」に当てはまる漢字が表示されます。もう一度**単漢字**を押すと、「あつ」に当てはまる漢字が表示されます。



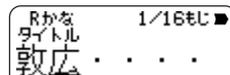
「あつ」に合った漢字がいくつか表示されます

4 **↖** **↘** **↙** **↗**を押して、**敦**にします。



5 **実行**を押します。

「敦」が確定されます。



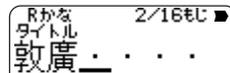
「広」に下線が付きま

6 **変換**を何回か押して、「廣」にします。

- 単漢字**を押して「廣」を探すこともできます。

7 「廣」になっていることを確かめて、**実行**を押します。

「廣」が確定されます。



思いどおりの漢字に変換されないのはなぜ？

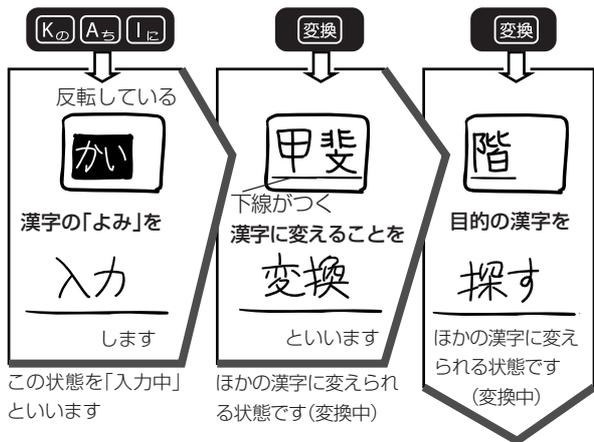
次のようなことが考えられます。

- ・「週(しゅう)」を「しゅう」と入力している
- ・「図(ず)」を「づ」と入力している
- ・「通り(とおり)」を「とうり」と入力している
- ・「社食(しゃしょく)」「道交法(どうこうほう)」など、略語の読みを入力している

次の文字の入力には、特に注意してください。

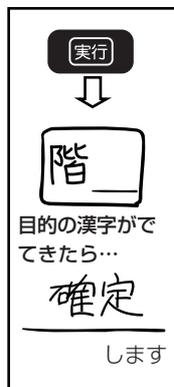
- ・「あ」「い」「う」「え」「お」「や」「ゆ」「よ」の拗音
- ・「っ」の促音
- ・「ず」と「づ」
- ・「じ」と「ぢ」
- ・「お」と「う」

まとめ...



本機は学習しています

「かい」という読みを「階」で確定したとします。次回「かい」という読みで変換すると、「階」が一番はじめに表示されます。これは、前回使った漢字を本機が覚えているためです。このように、前回使った漢字を最初に表示することを**学習機能**といいます。



ここではじめて文字が入ります

漢字辞書を使って文字を入れる (漢字辞書機能)

漢字の読みや、画数などから漢字を呼び出すことができます。漢字の呼び出しかたには、3種類あります。

- ・「読み」 読みから該当する漢字を呼び出します。
- ・「総画数」 総画数から該当する漢字を呼び出します。
- ・「部首」 部首から該当する漢字を呼び出します。

- ・漢字辞書機能はメインメニュー、モード先頭メニュー及びテキスト入力中などでカーソルが点滅している状態のときに使うことができます。ただし、文字が未確定のときや、漢字に変換している途中では漢字辞書機能は使えません。

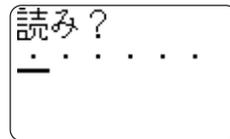
読みから呼び出す

【例】 「拳」という漢字を呼び出す

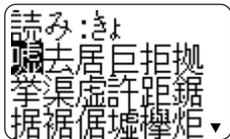
- 1 **漢字辞書** を押します。



- 2 **⌂** **Ⓞ** を押して「読み」を選び、**実行** を押します。



3 「拳」の音読みである「きょ」を入力し、**実行**を押します。



「きょ」と読む漢字の一覧が表示されます。

4 **⤴** **⤵** **⤶** **⤷** を押して「拳」を反転させ、**実行**を押します。



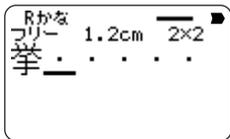
「漢字詳細画面」が表示されます。

5 文字を入力したい場合には**実行**を押します。



重要! 各モードのメニュー画面から漢字辞書機能に入った場合は上の画面は表示されず、漢字辞書機能に入る前のメニュー画面に戻ります。

6 **⤴** **⤵** を押して「する」を選び、**実行**を押します。



漢字は文字入力画面のカーソルの位置に入ります。

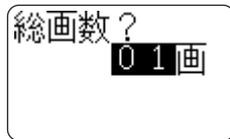
総画数から呼び出す

[例] 「拳」という漢字を呼び出す

1 **漢字辞書** を押します。



2 **⤴** **⤵** を押して「総画数」を選び、**実行**を押します。



3 「拳」の総画数である「10」を入力し、**実行**を押します。



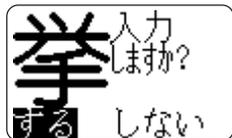
10画の漢字の一覧が表示されます。

4 **⤴** **⤵** **⤶** **⤷** を押して「拳」を反転させ**実行**を押します。



漢字詳細画面が表示されます。

6 文字を入力したい場合には **実行** を押します。



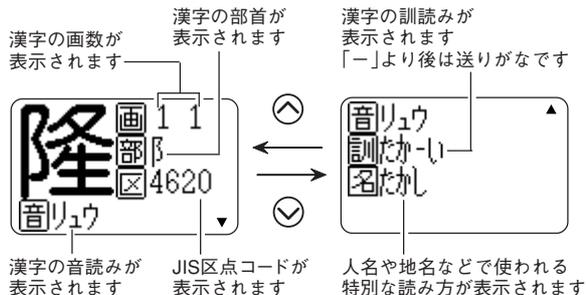
重要 各モードのメニュー画面から漢字辞書機能に入った場合は上の画面は表示されず、漢字辞書機能に入る前のメニュー画面に戻ります。

7 ◀ ▶ を押して「する」を選び、 **実行** を押します。

漢字辞書詳細表示について

漢字辞書詳細表示中に ◀ ▶ を押すと、漢字の読みかたを見ることができます。

画面の見かた



- 読みでの検索は音読み、訓読み、人名や地名などで使われる特別な読みかたのいずれでも検索できます。
- フォントのデザインにより同じ漢字でも字の形が異なることがあります。
- 部首は代表的なものを採用しています。学説によっては別の部首とするものもあります。
- 漢字辞書機能には学習機能はありません。
- 文字が入力されたときは、その時のカーソル位置のサイズや文字体などに合わせて入力されます。
- 単位の名称を漢字で表すもの(米：メートル、弗：ドルなど)は訓読みを含め、ひらがなで表示しています。

アルファベットや数字の入力

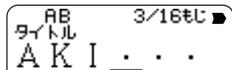
アルファベット、数字の入れかたを説明します。

アルファベット(大文字)の入力

[例] A K I

1 [aA]を何回か押して、画面の左上に「A B」を表示させます。

2 [A] [K] [I] と押します。
アルファベットは、キーを押したと同時に、その文字に確定されます。



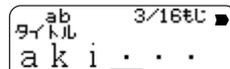
アルファベット(小文字)の入力

[例] a k i

1 [aA]を何回か押して、画面の左上に「a b」を表示させます。

2 [a] [k] [i] と押します。

アルファベットは、キーを押したと同時に、その文字に確定されます。



数字の入力

[例] 1 2 3

■ローマ字入力するとき

1 [1] [2] [3] と押します。

数字は、ひらがな・カタカナ・アルファベットなど、どの入力中でも使えます。

■かな入力するとき

1 [aA]を押して、画面の左上に「a b」または「A B」を表示させます。

2 [1] [2] [3] と押します。

・カンマ(,) ピリオド(.)を入力するには
画面の左上に「A B」または「a b」と表示されているときに、次のキーを押します。

カンマ: [,] ピリオド: [.]

・大文字と小文字が混ざった文章を簡単に入力するには
「A B」表示のとき …… [シフト] を押し、指を離してから文字キーを押すと、その文字だけ小文字になります

例 TAKESHI's

「a b」表示のとき …… [シフト] を押し、指を離してから文字キーを押すと、その文字だけ大文字になります。

例 English

・ひらがなを入力するときは、[あA]を何回か押して、画面の左上に「Rかな」(または「かな」)を表示させます。

記号の入力

ふつうの文字のほかに、いろいろな記号を入れることができます。

キーに印刷されている記号

②キーの右上に印刷された記号



①キーの左に印刷された記号

■ローマ字入力の場合

① を押すと → 「:」が入ります。

② を押し、指を離してから を押すと → 「*」が入ります。

■かな入力の場合

① → または を押すと → 「:」が入ります。

② → または を押し、指を離してから を押すと → 「*」が入ります。

その他の記号



記号は「記述・カッコ」「学術」「単位・略」「一般」「数字」「ギリシア・ロシア」の6つのグループに分かれています。103ページの記号一覧を見ながら、使いたい記号がどのグループに入っているのかを確かめてください。

【例】 (グループ=単位・略)

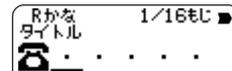
1 を押し、指を離してから を押します。



記号のグループ名

2 を押して にし、 を押します。

3 を押して にし、 を押します。



絵文字の入力

内蔵の絵文字を使うことができます。絵文字は21のグループに分かれています。

103～105ページの絵文字一覧を見ながら、使いたい絵文字がどのグループに入っているのかを確かめてください。

また、文字体の指定は無効です。

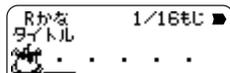
[例]  (グループ=食べ物)

1  を押し、指を離してから  を押します。



2     を押して **食べ物** にし、 を押します。

3     を押して  にし、 を押します。



文字を修正・削除するときは

間違えて入力した文字を修正する方法と、入力してあるすべての文字を削除する方法を説明します。

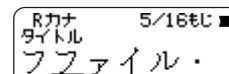
テーブルモードのフリーラベルでは、範囲を指定して削除することもできます。

間違った文字を消す

■文字を1文字ずつ消す(カーソルの上の文字を消す)

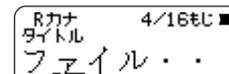
[例] 「フファイル」の「フ」を消して、「ファイル」になおす

1   を何回か押して、「フ」にカーソルを合わせます。



2  を押します。

「ファイル」になります。



■文字を1文字ずつ消す(カーソルの前の文字を消す)

【例】「ファイル」の最後の「ル」を消して、「ファイル」になおす

1 消したい文字の次の文字にカーソルを合わせます。

Rカナ 5/16ページ
タイトル
ファイルル・

2 **後退**を押します。

「ファイル」になります。

Rカナ 4/16ページ
タイトル
ファイル・

確定前に文字を消すには…

ふいあいるなど、文字に■が重なっているとき(確定前)に文字を消すときも、**文字削除**または**後退**を押して消します。また、**取消し**を押すと、■が重なっている文字がぜんぶ消えます。

確定→63ページ

すべての文字を消す(文削除)

入力中の項目の文章をすべて消します。

1 **機能**を押し、指を離してから^{文削除}**文字削除**を押します。

- ・文削除をやめるときは、**取消し**を押します。
- ・フリーラベルでは「全文削除」と「部分削除」の選択画面が表示されますので、ここで「全文削除」を選んで**実行**を押します。

削除しますか?
ファイル・

2 **実行**を押します。

- ・画面にあった文字はすべて消えます

■範囲を決めて消す(フリーラベルのみ)

消したい部分のはじめと終わりを指定して消す方法です。

【例】「あおきおさむ」を「おさむ」にする

1 **機能**を押し、指を離してから^{文削除}**文字削除**を押します。

2 **△****▽**を押して**部分削除**を選び、**実行**を押します。

操作をやめるときは**取消し**を押します。

どこから?
あおきおさむ・

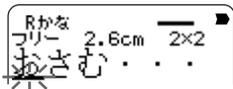
3 **◀****▶**を押して消したい部分の最初の文字にカーソルを合わせ、**実行**を押します。

ここでは「あ」にカーソルを合わせます。

どこまで?
あおきおさむ

4 ◀▶を押して消したい部分の最後の文字を指定し、**実行**を押します。

ここでは**あおき**にします。

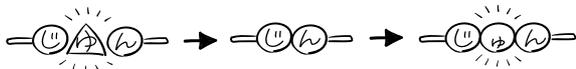


間違った文字をなおす

間違った文字をなおす方法は、文字の入力方法が「挿入」状態になっているか、「上書き」状態になっているかで違ってきます。

挿入

文字と文字の間に新しい文字を追加して入力することができます。



間違った文字を消してから正しい文字を入力します（その逆でも可）。

上書き

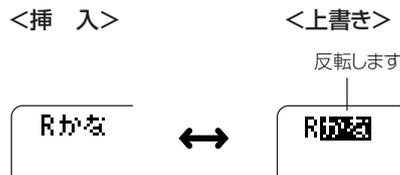
画面に表示されている文字を新しい文字に入れ替えることができます。



間違った文字の上に正しい文字を入力します。

■「上書き」にするとき

シフト を押し、指を離してから **あ** を押します。

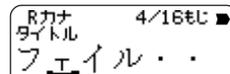


もう一度 **シフト** を押し、指を離してから **あ** を押すと、「挿入」状態に戻ります。

【例】 「フェイル」を「ファイル」になおす

■間違った文字を消して正しい文字を入力する（「挿入」状態）

1 ◀▶を押して「エ」にカーソルを合わせます。

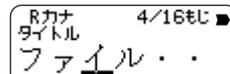


2 **文字削除** を押します。

「エ」が削除され、「イ」が「エ」の位置に移動します。

3 「ア」を入力します。

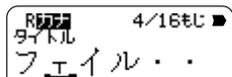
・「ア」は **シフト** を押し、指を離してから **A** を押して入力します。



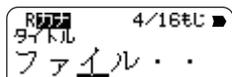
「ア」が「イ」の前に入力されます

■間違った文字の上に正しい文字を入力する(「上書き」状態)

1 ◀▶を押して「エ」にカーソルを合わせます。



2 「ア」を入力します。
「エ」が「ア」になります



「設定」で切り換えるには

- 1 [機能] を押し、指を離してから ^{最長}0 を押します。
- 2 ▲ ▼ を押して「入力設定」を選び、[実行] を押します。
- 3 ◀ ▶ を押して「上書き」または「挿入」を選び、[実行] を押し
ます。

文字を入れるときは

「上書き」のときは、入力済みの文字が消されて新たな文字に入れ替わります。間違っ
て必要な文字を入れ替えることのないよう
に、文字を入力するときは「挿入」にすることをおすすめします。

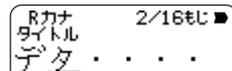
文字が抜けていたら…

「挿入」状態のときには、文字を追加することができます。(71ページ)

【例】 「デタ」を「データ」にする

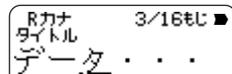
1 ◀▶を押して、「タ」にカーソルを合わせます。

「タ」の前に文字を入力するためです。



2 「ー」(長音)を入力します。

「タ」の前に「ー」が入り、「データ」になり
ます



- ・「ー」(長音)と「-」(負記号)に注意してください。長音を入力するときは、[?] を押します。負記号を入力するときは、[-] を押します。

確定前に文字をなおしたり追加するには…

ふえているなど、文字に が重なっているとき(確定前)に文字をなおしたり追加するときも上と同じ操作でなおします。

確定→63ページ

「上書き」で文字をなおすときは

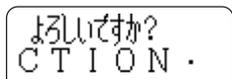
なおす文字数に注意してください。なおす文字数よりも多く入力してしまうと、必要な文字まで新しい文字に入れ替わってしま
います。

5 を押して設定の範囲を選び、**実行** を押します。

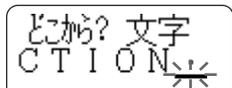
- **全文**：フォーマット単位で設定されます。
- **ブロック**：ブロック単位で設定されます。
- **行**：項目単位で設定されます。
- **文字**：文字単位で設定されます。

※フリーラベル以外では、「ブロック」「文字」は選べません。

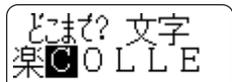
フリーラベルで「全文」の範囲指定を選択したときは、**実行** を押します。設定後、文字入力の画面に戻ります。



フリーラベルで「全文」以外の範囲指定を選択したときは、右のような範囲指定の画面が表示されます。手順6、7で範囲を指定します。

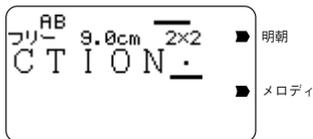


6 を押して書体を変える最初の文字にカーソルを合わせ、**実行** を押します。



7 を押して、書体を変える最後の文字にカーソルを合わせ、**実行** を押します。

設定後、文字入力の画面に戻ります。



電源を入れたときの書体を決める

1 **機能** を押し、指を離してから を押します。

2 を押して**初期フォント**にし、**実行** を押します。

3 を押して**和文フォント**を選び、**実行** を押します。

4 を押して**かな英数フォント**を選び、**実行** を押します。

5 **OFF** を押して一度電源を切り、再び **ON** を押して電源を入れます。

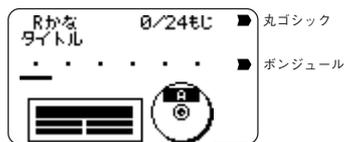
6 文字入力の画面を表示させます。

文字を入力すると、指定したフォントで入ります。

●「登録データ」や「前回データ」を選択し呼び出したデータを使う場合は、現在の書体ではなくそのデータの作成時の書体が優先されます。

画面表示について

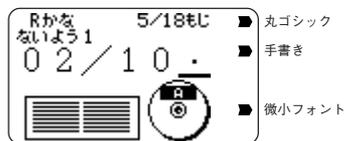
- 入力中の文字の書体を■で示します。



- かな英数書体は書体ごとに大きさ、バランスが設定されていますので、混在させるとバランスが不釣り合いになることがあります。

微小フォントについて

ディスクに印刷するときは、サイズが2mmの文字は、フォントの指定に関わらず微小フォントで印刷されます。テープに印刷するときは行数(入力した行数または選んだフォーマットの行数)とテープ幅によって微小フォントで印刷されます。このとき、画面右下に「微小フォント」の■が点灯します。



- 微小フォントには、次のような特徴があります。
- ・フォントの設定は無効です。(すべて同じフォントで印刷されます)
- ・プロポーショナルの設定は無効です(OFFになります)。
- ・文字体または文字修飾を設定すると、きれいに印刷できないことがあります。
- ・絵文字や外字の場合は、きれいに印刷できないことがあります。

文字を上付・下付にする

文字を1/4の大きさにして、上に寄せたり(上付)下に寄せたり(下付)することができます。

上付 住所録*1

下付 167センチ

重要 ひらがな、カタカナ、アルファベット、数字、記号の一部が対象になります。

[例] 167センチ (下付)

1 文字を入力します。

2 機能 を押し、指を離してから 5% を押します。
フリーラベル以外では手順4に進みます。

3 ↑ ↓ を押し、1/4角 を選び、実行 を押します。

4 ↑ ↓ ← → を押し、下付 を選び、実行 を押します。
フリーラベル以外では手順6に進みます。

- 5 を押して**文字**を選び、**実行**を押します。
- ・**全文**：すべての文字を上付・下付にするとき
 - ・**ブロック**：ブロック単位で上付・下付にするとき
 - ・**行**：行単位で上付・下付にするとき
 - ・**文字**：文字単位で上付・下付にするとき

どこから? 文字
6 7 センチ

- 6 を押して、下付にする最初の文字にカーソルを合わせ、**実行**を押します。

どこまで? 文字
6 7 **セ**ンチ

- 7 を押して、下付にする最後の文字にカーソルを合わせ、**実行**を押します。

指定した文字が1/4の大きさになり、下に寄せられます。

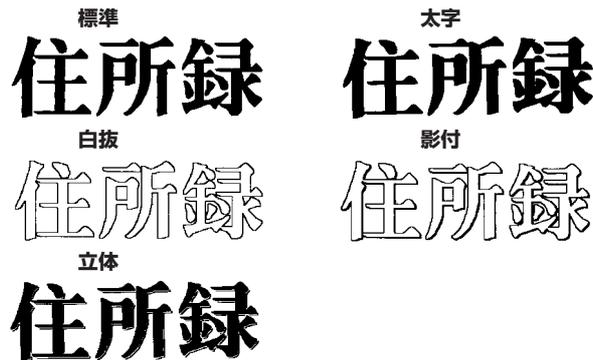
Rかな
フリー 3.4cm 2x2
1 6 7 センチ

- ・文字を元に戻すときは、手順4で「**□全角**」を選びます。

文字を目立たせる

文字を「太字」「白抜」「影付」「立体」にして目立たせることができます(文字体)。

※絵文字・外字は、文字体の指定はできません。



- 1 文字を入力します。

- 2 **機能** を押し、指を離してから を押します。

・「文字修飾」が指定できない機能やフォーマットの場合には、手順4に進みます。

- 3 を押して**文字体**を選び、**実行**を押します。



4     を押して文字体の種類を選び、**実行** を押し
ます。

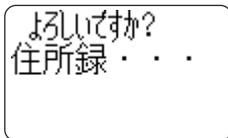
- **A標準** を選ぶと、指定済みの文字体を通常の文字に戻すことができます。

5     を押して設定の範囲を選び、**実行** を押し
ます。

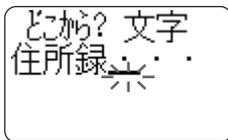
- **全文**：フォーマット単位で設定されます。
- **ブロック**：ブロック単位で設定されます。
- **行**：項目単位で設定されます。
- **文字**：文字単位で設定されます。

※フリーラベル以外では、「ブロック」「文字」は選べません。

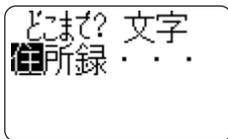
フリーラベルで「全文」の範囲指定を選択したときは、**実行** を押し
ます。設定後、文字入力の画面に戻ります。



フリーラベルで「全文」以外の範囲指定を選択したときは、右のような範囲指定の画面が表示されます。手順6、7で範囲を指定します。

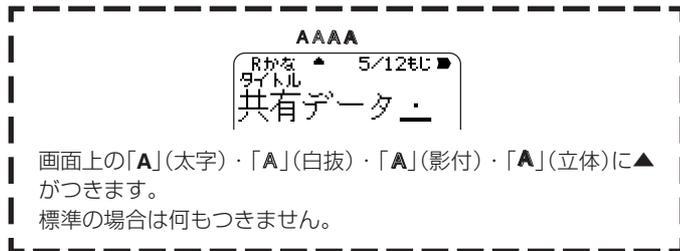


6   を押して、文字体を変える最初の文字にカーソルを合
わせ、**実行** を押し
ます。



7   を押して、文字体を変える最後の文字にカーソルを合
わせ、**実行** を押し
ます。

- 設定後、文字入力の画面に戻ります。



画面上の「A」(太字)・「A」(白抜)・「A」(影付)・「A」(立体)に▲がつきます。
標準の場合は何もつきません。

文字に飾りをつける

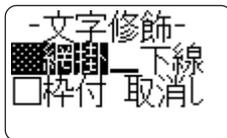
テーブルモードのフリーラベルでは、文字に網を重ねたり、下線をつけたり、枠をつけたりすることができます。

また、用途別ラベルでは、フォーマットにより枠をつけることができます。

網 掛	下 線	枠付(文字)	枠付(詳細)
修飾	修飾	修飾	修飾

文字修飾を指定する

- 1 文字を入力します。
- 2 **機能** を押し、指を離してから **6** を押します。
- 3 **Ⓐ** **Ⓟ** を押して **文字修飾** を選び、**実行** を押します。
- 4 **Ⓐ** **Ⓟ** **Ⓜ** **Ⓝ** を押して文字修飾の種類を選び、**実行** を押します。
 - ・ **取消** を選ぶと、指定済みの文字修飾を取り消すことができます。



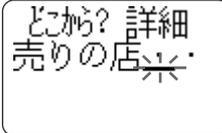
- 5 **Ⓐ** **Ⓟ** **Ⓜ** **Ⓝ** を押して文字修飾する部分を指定し、**実行** を押します。

- ・ **詳細**：文字のかたまりに指定するとき

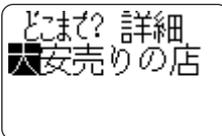
例 **大安売りの店**

- ・ **ブロック**：ブロック単位で指定するとき
- ・ **行**：行単位で指定するとき
- ・ **文字**：1文字ずつ指定するとき

例 **大安売りの店**

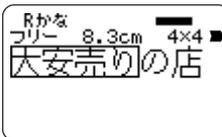


- 6 **Ⓜ** **Ⓝ** を押して、文字修飾する最初の文字にカーソルを合わせ、**実行** を押します。



- 7 **Ⓜ** **Ⓝ** を押して、文字修飾を指定する最後の文字にカーソルを合わせ、**実行** を押します。

- ・ 設定後、文字入力の画面に戻ります。



こんな文字修飾もできます

網掛、下線、枠付の飾りを重ねてつけることもできます。1つの飾りをつけたあとに、別の飾りを重ねてつけます。

特売

網掛+枠付(詳細)

特売

網掛+下線

特売

網掛+下線+枠付(文字)

※文字の大きさによっては、枠付と下線を重ねると、枠と下線が重なって印刷されることがあります。

文字修飾を取り消す

- 1 **機能** を押し、指を離してから **6** （**お**） を押します。
- 2 **Ⓐ** **Ⓜ** を押しして **文字修飾** を選び、 **実行** を押します。
- 3 **Ⓐ** **Ⓜ** **Ⓚ** **Ⓛ** を押しして **取消し** にし、 **実行** を押します。
一部の文字修飾を取り消したいときは、 **Ⓐ** **Ⓜ** **Ⓚ** **Ⓛ** を押しして取り消したい文字修飾を選び、 **実行** を押します。
- 4 **Ⓐ** **Ⓜ** **Ⓚ** **Ⓛ** を押しして **文字** にし、 **実行** を押します。
- 5 **Ⓚ** **Ⓛ** を押しして、文字修飾を取り消したい最初の文字にカーソルを合わせ、 **実行** を押します。
- 6 **Ⓚ** **Ⓛ** を押しして、文字修飾を取り消したい最後の文字にカーソルを合わせ、 **実行** を押します。
一部の文字修飾を取り消したいときは、ここで **実行** の代わりに **文字削除** を押します。

ファミリー機能を使う

自分や家族の名前、住所などのデータを登録しておき、文字の入力中に呼び出して挿入することができます。

- 最大49文字の語句を9種類まで登録できます。
- お買い上げの状態では、以下の8種類の語句が登録されています（1種類は未登録）。修正や書き換えが可能です。
 1. (自分のなまえ)
 2. (家族のなまえ)
 3. (家族のなまえ)
 4. (家族のなまえ)
 5. (住所)
 6. (電話番号)
 7. http://
 8. E-mail:
 9. 未登録

ファミリー機能呼び出す

文字を入力中に、ファミリー機能呼び出して挿入します。

- 1 **機能** を押し、指を離してから **ファミリー** **文字修飾** を押します。
登録されているデータが表示されます。



- 2 **Ⓐ** **Ⓜ** を押しして、挿入したい語句を選び、 **実行** を押します。

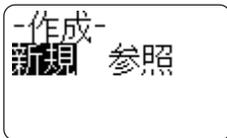
- 「1」～「9」の数字キーでも呼び出すことができます。
- 項目に入力できる最大文字数を超えると、超過した文字は呼び出せません。このとき、「文字数オーバー 呼出しできなかった文字があります」と表示されます。

家族のデータを登録する

文字を入力して家族のデータを登録します。

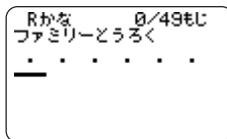
- 1 **機能** を押し、指を離してから ^{ファミリー} **漢字辞書** を押します。
- 2 **⤴** **⤵** を押して **内容編集** を選び、 **実行** を押します。
- 3 **⏪** **⏩** を押して **作成** を選び、 **実行** を押します。

文字入力エリアに文字が無いときは、手順4の画面が表示されます。



- 4 **⏪** **⏩** を押して語句の作りかたを選び、 **実行** を押します。
新規 と **参照** から選びます。

- 新規作成…最初から文字を入力して作ります。
- 参照作成…入力中の文字をベースに作ります。



- 5 文字を入力し、 **実行** を押します。
参照 を選んだときは、入力中の文字が表示されます。必要に応じて修正して **実行** を押ししてください。
 - 記号、絵文字、外字も使うことができます。
 - 書体、文字体、書式を指定することはできません。

- 6 **⤴** **⤵** を押して登録する場所を選びます。

「未登録」と表示されている場所は、データが登録されていません。



- 7 **実行** を押すと、「よろしいですか?」と表示されるので、よければ **実行** を押します。

- 別の場所に登録したいときは、 **取消し** を押します。
これで登録は完了です。

参照作成のときには

- 参照した内容に、倍率マーク、改行マーク、ブロックマークが含まれる場合、空白に置き換わります。
- 1/4角の文字は全角に置き換わります。
- 入力中の文字が49文字以上ある場合には、先頭から49文字分が参照できます。このとき、「文字数オーバー 参照できなかった文字があります」と表示されます。

家族のデータを修正する

登録した家族のデータを、呼び出して修正します。

- 1 **機能** を押し、指を離してから ^{ファミリー} **漢字辞書** を押します。
- 2 **⤴** **⤵** を押して **内容編集** を選び、 **実行** を押します。
- 3 **⏪** **⏩** を押して **修正** を選び、 **実行** を押します。
- 4 **⤴** **⤵** を押して修正するデータを選び、 **実行** を押します。
- 5 データを修正し、 **実行** を押します。

6 を押して登録する場所を選び、**実行** を押します。
「よろしいですか？」と表示されます。

- 別の場所に登録したいときは、**取消し** を押します。

7 **実行** を押します。
これで修正は完了です。

家族のデータを削除する

登録した家族のデータを削除します。

1 **機能** を押し、指を離してから ^{ファミリー}**漢字辞書** を押します。

2 を押して **内容編集** を選び、**実行** を押します。

3 を押して **削除** を選び、**実行** を押します。

4 を押して削除するデータを選び、**実行** を押します。
「よろしいですか？」と表示されます。
• 別の語句を削除したいときは、**取消し** を押します。

5 **実行** を押します。
削除されたデータの欄は「未登録」になります。

入力した文字をコピーする・貼りつける (コピー・ペースト)

ディスク印刷データやケースの背ラベル・表面ラベル作成時に入力した文字をコピーし、ラベル作成時に呼び出して挿入することができます。またその反対に、ラベル作成時に入力した文字をコピーし、ディスク印刷データやケースの背ラベル・表面ラベル作成時に呼び出して挿入することもできます。

文字をコピーする

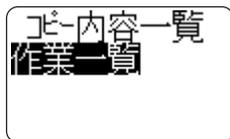
1 文字を入力します。

2 **機能** を押し、指を離してから ^{コピー}**1** を押します。
「コピー完了」と表示された後、文字入力画面に戻ります。

- コピーできる文字数は、49文字までです。それ以上のときは、先頭から49文字までコピーし、残りの文字はコピーされません。このとき、「文字数オーバー コピーできなかった文字があります」と表示されます。
- コピーは9個まで取り込むことができます。10個目をコピーしたときは、古い順にコピーした内容がなくなります。
- コピーした内容に、倍率マーク、改行マーク、ブロックマークが含まれる場合、空白に置き換わります。
- 1/4角の文字は全角に置き換わります。

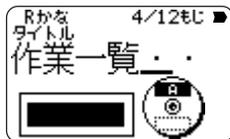
コピーした文字を貼りつける(ペースト)

- 1 文字入力画面で **機能** を押し、指を離してから **2** を押します。



- 2 **△** **▽** を押して貼りつける内容を選び、**実行** を押します。

指定した文字が貼り付けられます。



- 項目に入力できる最大文字数を超えるときは、超過した文字は貼り付けられず、「文字数オーバー ペーストできなかった文字があります」と表示されます。

オリジナルの文字(外字)を作る

△や**▽**などのように、本機にない文字や記号を自分で作ることができます(外字)。4つまで本機の中に登録(記憶)しておくことができます。外字では、文字体の指定は無効です。

外字を作る方法には、次の2つがあります。

- はじめから自分で作る(新規作成)
…まったくオリジナルな外字を作るとき
- 本機の中にある文字を利用して作る(参照作成)
…**△**や**高**のように、既存の文字が利用できるとき

はじめから自分で作る(新規作成)

[例]

- 1 **機能** を押し、指を離してから **9** を押します。

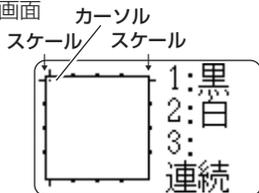
- 2 **△** **▽** **◀** **▶** を押して**作成**を選び、**実行**を押します。

- 3 **△** **▽** を押して**新規作成**を選び、**実行**を押します。

- 1の手順で画面に何も文字がなかったり、カーソルの位置に文字がなかった場合は、**外字作成画面**(手順4の画面)になります。そのまま手順4からはじめてください。

4 外字作成画面で外字を作成します。

- 外字作成画面



カーソルを移動させるときは	⬆️⬇️⬅️➡️を押してカーソルを移動します。
点を1つ塗りつぶすときは	カーソルを目的の位置まで移動し、 1 (黒) を押します。
点を1つ消すときは	塗りつぶされている点までカーソルを移動し、 2 (白) を押します。
線を描くときは	1 (黒) を押し、指を離してから 3 (連続) と押し、黒 連続にして、カーソルを移動します。カーソルの移動に合わせて、線が描かれます。
線を消すときは	2 (白) を押し、指を離してから 3 (連続) と押し、白 連続にして、カーソルを移動します。カーソルの移動に合わせて、線が消されます。

- 斜め方向に連続して塗りつぶしたり消したりすることはできません。斜め方向に塗りつぶしたり消したりするときは、1つの点ごとに行ってください。
- 外字作成画面で[1](黒)または[2](白)のどちらかが指定されているときは、[3](連続)を押すたびに連続入力を「する/しない」が切り替えられます。

連続になっていない場合は、機能 ⬅️、機能 ➡️ でカーソルを画面の左右の端へ、機能 ⬆️、機能 ⬇️ でカーソルを上下端へ、それぞれ移動することができます。

5 外字が完成したら、**実行**を押します。

登録番号

どこへ登録?

6 ⬆️⬇️⬅️➡️を押して登録する場所を番号で選び、**実行**を押します。

「よろしいですか?」と表示されます。

- すでに外字が登録されている番号を選ぶと、新しく作った外字が表示されます。登録されている外字を消していいい場合はそのまま**実行**を押します。消したくない場合は、**取消し**を押して、登録番号を選び直します。

7 **実行**を押します。

本機にある文字を利用して作る(参照作成)

文字の他に、記号や絵文字も利用することができます(記号→103ページ、絵文字→103ページ)。

【例】高 → 高

1 「高」を入力します。

2 ⬅️➡️を押して、「高」にカーソルを合わせます。

3 **機能** を押し、指を離してから ^{外字} **9** _よ を押します。

4 ⬆️⬇️⬅️➡️を押して**作成**を選び、**実行**を押します。

5 (↑)(↓)を押して**参照作成**を選び、**実行**を押します。

外字作成画面に「高」が表示されます。



6 83ページ左コラムの手順4からの操作を行ない、外字を作成し、登録します。

すでに作ってある外字を修正する

1 **機能**を押し、指を離してから(9)を押します。

2 (↑)(↓)(←)(→)を押して**修正**を選び、**実行**を押します。

3 (↑)(↓)(←)(→)を押して修正する外字を選び、**実行**を押します。

外字作成画面に、選んだ外字が表示されます。

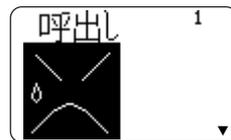
4 83ページ左コラムの手順4からの操作を行ない、外字を修正し、登録します。

外字を使う

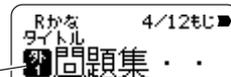
1 外字を入れたい位置にカーソルを合わせます。

2 **機能**を押し、指を離してから(9)を押します。

3 (↑)(↓)(←)(→)を押して**呼出し**を選び、**実行**を押します。



4 (↑)(↓)(←)(→)を押して呼び出す外字を選び、**実行**を押します。



外字が入力されていることを示します

- ・呼び出した外字を削除するときは、通常の文字と同じ方法で消します。

登録した外字を削除する

1 **機能**を押し、指を離してから(9)を押します。

2 (↑)(↓)(←)(→)を押して**削除**を選び、**実行**を押します。

3 (↑)(↓)(←)(→)を押して削除する外字を選び、**実行**を押します。
「よろしいですか?」と表示されます。

4 **実行**を押します。
選んだ外字が削除されます。

外字を文章中で使っていたときに、登録元の外字を削除すると、文章中の外字が入っていた位置は空白で印刷されます。

設定編

文字の入力方法や画面の明るさなど、本機を操作するための設定方法について説明します。

設定を変える

文字の入力方法や画面の明るさなどの設定を使いやすいように変更することができます。

設定できる項目

電源を入れて最初に**機能**を押し、指を離してから**0**を押すと、右の画面が表示されます。

⤴ ⤵ で設定したい項目を選んで画面を切り替え、設定を変更します。



・電源を入れた直後以外の画面では、一部の項目が画面に表示されないことがあります。

設定項目	内容	ページ	
入力設定	挿入/上書き	文字の入力方法を定める	71
	ローマ字入力/かな入力	日本語の入力方法を定める	58
	ブザー音 ON/OFF	ブザー音を鳴らす/鳴らさないを決める	85
輝度調整	画面の濃淡を調整する	85	
印刷濃度	印刷の濃さを調整する	86	
初期フォント	入力文字の最初の書体を定める	74	
デモ印刷	どんなディスク印刷やラベルが作れるのかを見る	86	

ブザー音を消したい

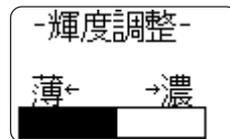
電源を入れたときやキー操作を間違ったときに鳴る「ピッ」というブザー音を消すことができます。

- 1 **機能** を押し、指を離してから **0** を押します。
- 2 ⤴ ⤵ を押して **入力設定** を選び、**実行** を押します。
- 3 ⤴ ⤵ ⤴ ⤵ を押して **ブザーOFF** を選び、**実行** を押します。
 - ・ブザー音を鳴らしたいときは、**ブザーON** にします。

画面の明るさを変えたい

画面の表示が見えにくいときは、画面の明るさ(コントラスト)を調整することができます。

- 1 **機能** を押し、指を離してから **0** を押します。
- 2 ⤴ ⤵ を押して **輝度調整** を選び **実行** を押します。
- 3 ⤴ ⤵ を押して明るさを調整し、**実行** を押します。
 - ⤴ を押すごとに薄く、⤵ を押すごとに濃くなります。

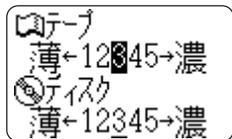


印刷の濃さを変えたい

印刷された文字が薄かったり、濃かったりしたときは、お好きな濃さに変えることができます。

- 1 **機能** を押し、指を離してから **0** を押しします。
- 2 **▲** **▼** を押して **印刷濃度** を選び、**実行** を押しします。
- 3 **▲** **▼** を押して、「テープ」「ディスク」のどちらの印刷濃度を設定するか選択します。
- 4 **◀** **▶** を押して濃さを設定し、**実行** を押しします。

1 にすると1番薄く印刷され、**5** にすると1番濃く印刷されます。



- 印刷の濃さの設定を変更しても、使用環境や使用状況が変わらない場合は、実際に印刷される濃度が変わらないことがあります。

サンプルデータを印刷する(デモ印刷)

内蔵のサンプルデータを印刷して、本機でどんなディスク印刷やラベルが作れるかを見ることができます。



重要 デモ印刷を行うと、前回作成したデータは消えてしまいます。大切なデータの場合には、登録してから印刷をしてください(データの登録→42、55ページ)

■ラベル印刷

- 1 テープカートリッジがセットされていることを確認します。
 - テープカートリッジについて→「入門ガイド」12ページ
- 2 電源が入っているときは **OFF** を押して電源を切ります。
- 3 **ON** を押して電源を入れます。
- 4 **機能** を押し、指を離してから **0** を押しします。
- 5 **▲** **▼** を押して **デモ印刷** を選び、**実行** を押しします。
- 6 **◀** **▶** を押して **テープ用** を選び、**実行** を押しします。
- 7 **◀** **▶** を押して **印刷** を選び、**実行** を押しします。
- 8 「枚数 1枚」「カットする」になっていることを確認します。
 - 印刷枚数やカットモードを変更することもできます。39ページ「印刷とカットモード」をご覧ください。
 - 特殊なテープで印刷するときは、テープカートリッジに合わせて、カットモードを変更してください。(39ページ)

- 9 **実行**を押します。
- 印刷が始まります。
 - デモ印刷中に、途中で印刷が数秒止まる場合がありますが、故障ではありません。
 - セットしているテープカートリッジの幅によって、印刷される内容は異なります。

- 10 印刷が終了したら \leftarrow \rightarrow を押して**終了**を選び、**実行**を押します。
「終了しますか?」と表示されます。

- 11 **実行**を押します。

■ディスク印刷

- 1 インクリボンカセットがセットされていることを確認します。
• インクリボンカセットについて→「入門ガイド」14ページ

- 2 電源が入っているときは**OFF**を押して電源を切ります。

- 3 **ON**を押して電源を入れます。

- 4 **機能**を押し、指を離してから \leftarrow \rightarrow を押します。

- 5 \wedge \vee を押して**デモ印刷**を選び、**実行**を押します。

- 6 \leftarrow \rightarrow を押して**ディスク用**を選び、**実行**を押します。

- 7 \leftarrow \rightarrow を押してデモ印刷するデータを選び、**実行**を押します。

- 8 \leftarrow \rightarrow を押して**印刷**を選び、**実行**を2回押します。



- 9 **実行**を押します。

- 10 印刷するディスクをセットします。
• ディスクのセットについて→「入門ガイド」26ページ

- 11 **実行**を押します。
印刷が始まります。

- 内蔵のサンプルデータはデータ1、データ2ともディスクの上下2カ所の印刷エリアに印刷されます。印刷の仕方については「入門ガイド」28ページを参照してください。

- 12 印刷が終了したら \leftarrow \rightarrow を押して**終了**を選び、**実行**を押します。
「終了しますか?」と表示されます。

- 13 **実行**を押します。

MEMO

付 録

電源について

本機を使うときは、電源として同梱のアルカリ乾電池または別売のACアダプターを使います。

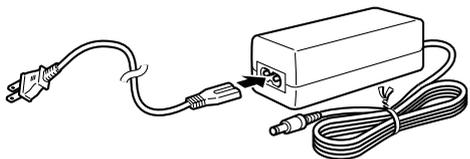
ACアダプターで使う

別売のACアダプター(AD-2105S)を使用すると、乾電池をセットしなくても本機を使うことができます。

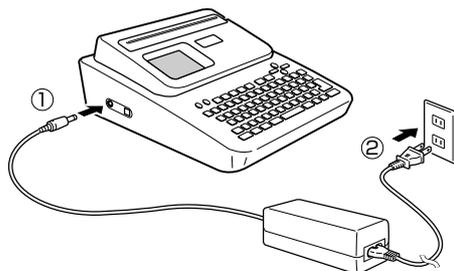
■取り付ける

重要  ・別売のACアダプター(AD-2105S)以外は使用しないでください。

1 ACアダプターに電源コードを接続します。



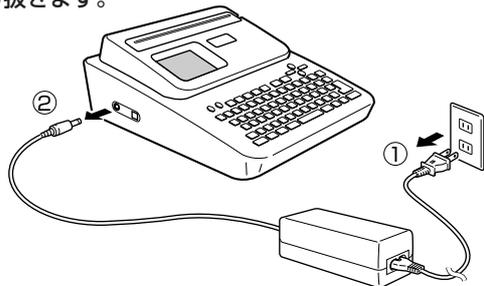
- 2 ACアダプターのプラグを本機のACアダプター接続用端子に(①)差し込みます。
- 3 電源コードをご家庭のコンセント<AC100V>に(②)差し込みます。



■取り外す

重要  ・印刷中にACアダプターを取り外さないでください。故障の原因となります。
・USBケーブルを接続している場合は、ACアダプターを取り外す前にパソコンと本機からUSBケーブルを抜き取ってください。

- 1 電源コードのプラグをコンセントから(①)抜きます。
- 2 ACアダプターのプラグを本機のACアダプター接続用端子から(②)抜きます。



⚠ 警告

電源コード/ACアダプター/USBケーブルについて

電源コード/ACアダプター/USBケーブルは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。

次のことは必ずお守りください。

- ❗ 必ず専用品を使用する
- 電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用する
- ⊘ 1つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしてはいけない

電源コード/ACアダプター/USBケーブルについて

電源コード/ACアダプター/USBケーブルは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。

次のことは必ずお守りください。

- ⊘ 重いものを乗せたり、加熱しない
- 加工したり、無理に曲げない
- ねじったり、引っ張ったりしない
- ❗ 電源コード/ACアダプター/USBケーブルのプラグが傷んだらお買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する

電源コード/ACアダプター/USBケーブルについて

- ⊘ 濡れた手で電源コード/ACアダプター/USBケーブルやプラグに触れないでください。

感電の原因となります。

● 電源コード/ACアダプター/USBケーブルは水のかからない状態で使用してください。水がかかると火災や感電の原因となることがあります。

● 電源コード/ACアダプター/USBケーブルの上に花瓶など液体の入ったものを置かないでください。水がかかると火災や感電の原因となることがあります。

⚠ 注意

電源コード/ACアダプター/USBケーブルについて

電源コード/ACアダプター/USBケーブルは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- ⊘ ストープ等の熱器具に近づけない
- ⊘ 電源コード/USBケーブルのプラグを抜くときは、電源コード/USBケーブルを引っ張らない(必ず電源コード/USBケーブルのプラグを持って抜く)
- ❗ 電源コードのプラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
- USBケーブルのプラグはコネクターの奥まで確実に差し込む
- 旅行などで長期間使用しないときは電源コード/USBケーブルのプラグをコンセントから抜く
- 電源コードのプラグは年1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように清掃する

お手入れの方法

プリンターヘッドやゴムローラーがよごれていると、ディスクやラベルにきれいに印刷されません。次の手順にしたがって、プリンターヘッドやゴムローラーをきれいにしてください。

綿棒できれいにする

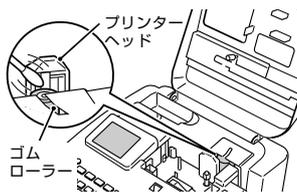
重要  ・プリンターヘッドやゴムローラーのお手入れは、綿棒などのやわらかいもので行ってください。また、綿棒は極細タイプをお使いになることをおすすめします。

1 カセットカバーオープンボタンを押して、カセットカバーを開けます。

- ・テープカートリッジやインクリボンカセット専用アダプターが装着されているときは、テープカートリッジまたはインクリボンカセット専用アダプターを取り出します。

2 アルコールを浸した綿棒でプリンターヘッド、ゴムローラーの表面をふきます。

ローラーとヘッドが接触する部分を重点的にふいてください。



- ・ゴムローラーは、**機能**を押し、指を離してから^{テープ送りの}**へ**を押すと回転します。
- ・市販のカセットテープレコーダー用のヘッドクリーニングキットもご使用になれます。

クリーニングテープを使う

別売のクリーニングテープ(XR-24CLE)を使うこともできます。

1 カセットカバーオープンボタンを押して、カセットカバーを開けます。

- ・テープカートリッジやインクリボンカセット専用アダプターが装着されているときは、テープカートリッジまたはインクリボンカセット専用アダプターを取り出します。

2 クリーニングテープを本機に装着します。

3 **ON** を押して電源を入れます。

4 **機能**を押し、指を離してから^{テープ送りの}**へ**を押して、「テープ送り」を1~2回行います。

詳しくはクリーニングテープに付属の取扱説明書をご参照ください。

本体もお手入れしましょう

やわらかい布を水に浸してから固くしぼって、本体を拭いてください。

本体を傷つけるので、ベンジン、アルコールやシンナーなどの揮発性のものは使わないでください。

パソコンと接続する

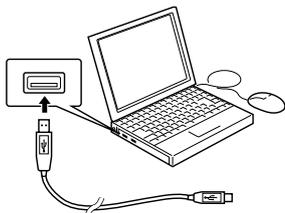
パソコンに別売の専用ソフトをインストールすると、データをパソコンで作成し印刷することができます。

重要 以下の操作は、必ずソフトをパソコンにインストールした後にしてください。

KLD-200を取り付ける

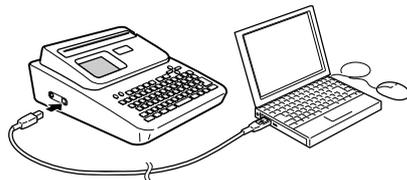
1 パソコンのUSBポートに、USBケーブル*を接続します。

*市販のUSBケーブル(A-Bタイプ)をご用意ください。



- 重要**
- 必ずパソコン本体のUSBポートに接続してください。パソコン本体以外のUSBポートでは正常に動作しない場合があります。
 - はじめてお使いになるときは本機のUSBコネクタを覆っているシールをはがしてから接続してください。

2 本機のUSBコネクタにUSBケーブルを接続します。



USBドライバーのインストール

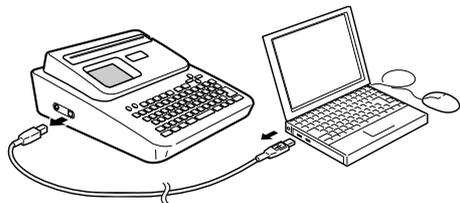
別売の専用ソフト(FA-D2000)をインストールした後、パソコンと本機を接続します。電源を入れて **機能** を押し、指を離してから **USBリンク** を押し、USBドライバーをインストールするウィザードが表示されます。画面の指示にしたがって、インストールしてください。



- Windows XPをご使用の場合には、途中で上の警告メッセージが表示されます。[続行(C)]をクリックし、そのままインストールを続けてください。
- Windows 2000をお使いの場合には、上の画面と同様に「デジタル署名が見つかりませんでした」という警告メッセージが表示される場合があります。この場合は、[はい(Y)]をクリックし、そのままインストールを続けてください。
- Windows Me/98SE/98をお使いの場合には、警告メッセージは表示されません。そのまま本機をお使いになれます。

KLD-200を取り外す

- 1 USBケーブルをパソコンのUSBポートと本機から抜きます。



印刷中にACアダプター、電源コード、USBケーブルを取り外さないでください。故障の原因となります。

こんなときは (トラブルシューティング)

本機がうまく動かないときには、次の対処方法にしたがってトラブルを解決してください。次の対処方法で解決できないトラブルは、故障している可能性もありますので、お買い上げ店、もよりの本機取扱店、もしくはカシオテクノ・サービスステーションにご相談ください。

症状	考えられる原因	ご確認ください
● ON を押しても何も表示されない	画面の明るさが適切でない	画面の明るさの設定を調整してください。(85ページ)
	乾電池が正しくセットされていない	正しくセットしなおしてください。(「入門ガイド」8ページ)
	乾電池が消耗している、または指定以外の乾電池を使用している	別売のACアダプターをご使用になるか、新しい単3形アルカリ乾電池(別売)と交換してください。
● 正しく終了するが何も印刷されない	ACアダプターがきちんと接続されていない	ACアダプターを正しく接続してください。(89ページ)
	「空白」だけが入力されている	印刷したい文章を入力してください。
● 印刷が不鮮明になった	プリンターヘッドやゴムローラーが汚れている	クリーニングを行ってください。(91ページ)
● 印刷がきれいにできない	乾電池が消耗している	別売のACアダプターをご使用になるか、新しい乾電池(別売)をセットしてください。
● 印刷が薄い	印刷濃度が適切でない	印刷濃度を調節してください。(85ページ)

症状	考えられる原因	ご確認ください
● 印刷されない	乾電池が消耗している、または指定以外の乾電池を使用している	別売のACアダプターをご使用になるか、新しい単3形アルカリ乾電池(別売)をセットしてください。
● 文字が入力できない	機能 を押した状態になっている	取消 を押して、文字が入力できる画面にします。
● 目的の漢字に正しく変換されない	正しい「読み」が入力されていない	正しい「読み」を入力してください。特に、拗音(「しょう」の「よ」など)や促音(「がっき」の「っ」など)の入力には注意しましょう。
	入力できる文字の種類が自分の思っている種類と違っている	あア (aA) を押して変更してください。(58ページ)
● パソコンとつながらない	USBでリンクする操作をしていない	機能 を押して指を離してから USBリンク メニュー を押し、パソコンと接続できる状態にしてください。
	USBケーブルが正しく接続されていない	正しく接続し直してください。
	電源を入れていない	ON を押して、電源を入れてください。
	接続用ソフト(ドライバ)がパソコンにインストールされていない	パソコンに接続用ソフトをインストールしてください。
● 印刷 などの機能キーを押しても画面が変わらない	プリンタードライバが正常にインストールされた状態でも、通信ができない	パソコンのUSBポートを別のポートに差し替える。USBケーブルを別のケーブルに交換する。
	ひらがなに ■ が重なっている 例 あか 漢字に下線がついている 例 赤	ひらがなや漢字は必ず確定してください。 ■ が重なっていたり下線がついていたりすると(確定前)、他の機能が使えません。

テープ編

症状	考えられる原因	ご確認ください
● 正しく終了するが何も印刷されない	テープが終了している	新しいテープカートリッジと交換してください。
● 印刷が不鮮明になった	テープカートリッジが正しくセットされていない	正しくセットし直してください。
● 印刷がきれいにできない	印刷濃度の設定が薄い	印刷濃度を濃く設定してください
● 印刷が薄い		
● (印刷) を押してもテープが出てこない	カセットカバーがしっかりと閉まっていない	カバーをしっかりと閉めてください。(「入門ガイド」5ページ)
	テープが終了している	新しいテープカートリッジ(別売)に交換してください。(「入門ガイド」12ページ)
	テープがつまっている	テープカートリッジを取り出して、つまったテープを指で引き出します。引き出したテープはハサミなどでカットしてください。そのあと、正しくセットしなおします。(「入門ガイド」12ページ) 重要  印刷中に、次のようなことはいけません。 <ul style="list-style-type: none"> ・ テープ出口をふさぐ ・ 出てくるテープにさわる ・ カセットカバーをあげる ・ 電源を切る
	乾電池が消耗している	別売のACアダプターをご使用になるか、新しい乾電池(別売)と交換してください。(「入門ガイド」8ページ)

症状	考えられる原因	ご確認ください
● インクリボンがテープといっしょにテープ出口からでてきた	インクリボンがたるんで いるままで、テープカートリッジをセットした	テープカートリッジを取り出します。インクリボンが切れていないことを確かめてから、テープを巻きとってください。そのあと正しくセットしなおしてください。(「入門ガイド」12ページ) 重要  ・ テープカートリッジをセットするときは、必ずインクリボンのたるみをとってください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ インクリボンが切れているときは、新しいテープカートリッジ(別売)に交換してください。
● テープが切れない	テープカッターが摩耗している	カシオテクノ・サービスステーションに連絡して交換してください。(129ページ)
	テープ出口にテープがつまっている	電源を切って、テープカートリッジを取り出し、つまったラベルを取り除いてください。
	書式の余白が、「送り無」に設定されている	「余白小」、「余白中」または「余白大」に設定しなおしてください。(22ページ)
	カットモードを「カットしない」に設定している	「カットする」に設定してください。(40ページ)
	ラベルの長さが短い (余白小で約24mm以下) (余白中で約31mm以下)	印刷終了後、ハサミなどでカットしてください。
● ラベルが貼れない	裏紙をはがしていない	裏紙をはがしてから貼ってください。(「入門ガイド」22ページ)
	貼る場所やものが適していない	表面がザラザラしているもの、水や油がついているもの、汚れているものなどには貼れません。(「入門ガイド」22ページ)

ディスク&ケース編

症状	考えられる原因	ご確認ください
● 正しく終了するが何も印刷されない	インクリボンが終了している	新しいインクリボンカセット(別売)と交換してください。(「入門ガイド」14ページ)
● 印刷が不鮮明になった ● 印刷がきれいにできない ● 印刷が薄い	下記のようなディスクにはきれいに印刷できないことがあります。 ・ディスク印刷面が平滑でないもの ・ディスク印刷面にデザインが施されていたり野線が印刷されているもの ・インクジェット専用のもの インクリボンカセットが正しくセットされていない	同梱の「推奨メディア一覧」または下記URLをご参照の上、推奨メディア(ディスク)をご使用ください。 http://www.casio.co.jp/EZ-USB/cd_r/media/ または、印刷濃度を濃く設定してください。(85ページ)
● インクリボンと異なった色で印刷されてしまう	印刷するディスクの色とインクリボンの色の組み合わせによっては、インクリボンと異なった色味で印刷されることがあります	より色の薄いディスク、またはより色の濃いインクリボンで印刷してください。
● ディスクの印刷位置がずれる	ディスクのセット方法が適切でない	位置合わせ用定規を使用し、ディスクを確実にセットしてください。(「入門ガイド」27ページ)

症状	考えられる原因	ご確認ください
● 印刷途中でディスクが止まった	乾電池が消耗している、または、指定以外の乾電池を使用している 電源コードまたはACアダプター 接続用端子のジャックが奥までしっかり差し込まれていない 故障など	別売のACアダプターを使用するか、新しい単3形乾電池(別売)と交換して下さい。 電源コードまたはACアダプター 接続用端子のジャックを正しく接続してください。(89ページ)
● ディスクがセットできない	テープカートリッジが装着されている	ディスクが、ヘッドとローラーの間にはさまれて取り出せない場合は、無理に取り出そうとしないで、強制ヘッドリリースボタン(「入門ガイド」4ページ)より、細い棒などを差し込んでヘッドをリリースしてから、取り出して下さい。ディスクを取り出した後は、印刷を再開する前にカセットケース内のリリースレバー(「入門ガイド」4ページ)を押して、元の位置に戻してください。それでもディスクを取り出すことがきでないときは、カシオテクノ・サービスステーションに連絡してください。(129ページ)
● 印刷が始まらない	ディスクが正しくセットされていない	テープカートリッジが装着されていると、ディスクはセットできません。テープカートリッジを取り出し、インクリボンカセットと交換してください。(「入門ガイド」14ページ)
		ディスクを一度取り出し、スリットに沿ってまっすぐ左奥まで挿入してください。(「入門ガイド」26ページ)

エラーメッセージ一覧

メッセージ	原因と対処	参照ページ
インクリボンが終了しました 交換してください	<ul style="list-style-type: none"> インクリボンが今回の印刷分しか残っていなかった場合 →印刷が終わった後、次の印刷の前にインクリボンカセットを交換してください。 	「入門ガイド」14
印刷準備中 (印刷中に表示され、印刷が止まっている)	<ul style="list-style-type: none"> くりかえして印刷したときなど、プリンター部分に熱がこもった場合 →そのままの状態、しばらくお待ちください。 プリンター部分が通常の温度に戻ると、印刷が始まります。 	—
	※上記の対処を行っても「印刷準備中」のまま、まったく印刷できないような場合は、お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションにお問い合わせください。	129
同じ登録名があります	<ul style="list-style-type: none"> 入力した登録名がすでに登録されているものと重複している場合 →登録名を入力し直してください。 	42、55

メッセージ	原因と対処	参照ページ
行数オーバー 印刷できません	<ul style="list-style-type: none"> 印刷できる行数を超えて印刷しようとした場合 →行数を減らすか、テープ幅を変えてください。 	115
行数オーバー フレーム付きで印刷できません	<ul style="list-style-type: none"> フレーム印刷できる行数を超えて印刷しようとした場合 →行数を減らすか、テープ幅を変えてください。 	33
候補なし	<ul style="list-style-type: none"> 単漢字変換で候補の漢字がない場合 →取消を押して違う読みを入力してください。 	62
作成中の内容が失われますがよろしいですか？ 実行/取消し	<ul style="list-style-type: none"> 文章を消して操作を進める場合 →実行を押してください。 文章を消したくない場合 →取消を押してからその文章を登録してください。 	42、55
指定したテープ長より長くなります 実行/取消し	<ul style="list-style-type: none"> 印刷する場合 →実行を押してください。 印刷しない場合 →取消を押して、「文字数を減らす」、「テープ長を指定し直す」、または書式内で「テープ長を自動にする」などを行ってください。 	23
パソコンとの接続を確認してください	<ul style="list-style-type: none"> USBケーブルのコネクタがしっかりと接続されていない場合 →USBケーブルをコネクタにしっかりと差し込んでください。 パソコンの電源が切れている場合 →パソコンの電源を入れてから操作してください。 	92

メッセージ	原因と対処	参照ページ
プリントエラー インクリボンが終了して います 交換してください	<ul style="list-style-type: none"> インクリボン切れの場合 →インクリボンカセットを交換してください。 	「入門ガイド」 14
プリントエラー インクリボンカセットを装 着してください	<ul style="list-style-type: none"> インクリボンカセットが装着されて いない、または装着のしかたが 誤っている場合 →インクリボンカセットの状態を確認 してください。 	「入門 ガイド」 14
プリントエラー ディスクを正しくセットし てください	<ul style="list-style-type: none"> ディスクがセットされていない状 態で、印刷しようとした場合 ディスクが正しい位置にセットされ ていない状態で、印刷しようとした 場合 →スリットにディスクを正しくセッ トしてください。 	「入門 ガイド」 26
データ異常 初期化してく ださい	<ul style="list-style-type: none"> メモリー初期化をしなくて本機を 操作した場合 →メモリーリセットをしてください。 	「入門 ガイド」 10
データ未登録	<ul style="list-style-type: none"> 登録されていないファミリー機能 を呼出し・修正・削除しようとした 場合 →別のファミリー機能を選択してく ださい。 登録データの呼出しや削除で、 データが1つも登録されていない 場合 →データを登録してください。 	42、 55、 79

メッセージ	原因と対処	参照ページ
テープエラー テープカートリッジが不適 当です	<ul style="list-style-type: none"> カセットカバーがしっかりと閉 まっていない場合 →カバーをしっかりと閉めてくださ い。 印刷または呼び出ししようとして いるものに対して、テープカート リッジが不適当な場合 →電源をOFFしてテープカートリッ ジを交換してください。 	「入門 ガイド」 12
	<ul style="list-style-type: none"> テープモード内でテープカート リッジを交換した場合 →電源をOFFしてテープカートリッ ジを交換してください。 	「入門 ガイド」 13
	<ul style="list-style-type: none"> インクリボンカセットが装着され ている場合 →電源をOFFして適切なテープカー トリッジに交換してください。 	「入門 ガイド」 13
テープエラー テープカートリッジを装着 してください	<ul style="list-style-type: none"> テープカートリッジが装着されて いない、または、装着のしかたが 誤っている場合 →テープカートリッジの状態を確認 してください。 	「入門 ガイド」 12

メッセージ	原因と対処	参照ページ
プリントエラー テープカートリッジを確認してください	<ul style="list-style-type: none"> 印刷中に、テープがつまってしまった場合 →電源をOFFして、テープカートリッジを取り出し、つまったテープを取り除いてください。 オートテープカッターに異物がはさまった場合 →電源をOFFして、テープカートリッジを取り出し、オートテープカッターにはさまった異物を取り除いてください。 	「入門ガイド」 13
	<ul style="list-style-type: none"> ゴムローラーに「ゴミ」や「テープの切れかす」などの異物がついた場合 →ゴムローラーについた異物を取り除き、ゴムローラーをクリーニングしてください。 	91
	<ul style="list-style-type: none"> 本機を直射日光などの強い光が当たる場所で使用し、本機内部にある光センサーが誤作動を起こした場合 →電源をOFFした後、強い光が当たらない場所でお使いください。 	
	※上記の対処をしても、メッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションにお問い合わせください。	129

メッセージ	原因と対処	参照ページ
電池残り少 続行しますか？ 実行/取消し	<ul style="list-style-type: none"> 乾電池が消耗している場合 →新しい乾電池に交換してください、または別売のACアダプターを使用してください。 	「入門ガイド」 8
電池残り少 交換してください	<ul style="list-style-type: none"> 乾電池が消耗している場合 →新しい乾電池に交換してください、または別売のACアダプターを使用してください。 	「入門ガイド」 8
長さオーバー 印刷できません	<ul style="list-style-type: none"> 印刷できるテープの長さを超えて印刷しようとした場合 →テープの長さを短くする、または印刷枚数を減らしてください。 	23
ブロック数オーバー	<ul style="list-style-type: none"> 16個目のブロックマークを入力しようとした場合 →文章のブロック数を減らしてください(不要なブロックマークを削除してください)。 	18

メッセージ	原因と対処	参照ページ
メモリーオーバー 登録できません	<ul style="list-style-type: none"> メモリーの容量が足りず登録できない場合 →登録してあるデータをどれか消してから再登録してください。 	42.43 55.56
メモリーオーバー 編集終了時に登録できません 実行/取消し	<ul style="list-style-type: none"> 登録のためのメモリー容量がいっぱいになった状態で、作成しようとした場合 →登録しない(作成と印刷のみ行う)場合は、実行を押して操作を続けてください。登録をする場合は、不要な登録文章を削除してから行ってください。 	42.43 55.56
文字が入力されていません	<ul style="list-style-type: none"> 文字を入れないで印刷または印刷プレビューしようとした場合 →文字を入力してから印刷または印刷プレビューの操作をしてください。 	「入門ガイド」 20.21 25.26
文字数オーバー コピーできなかった文字があります	<ul style="list-style-type: none"> 49文字を超えてコピーしようとした場合 →文字数を減らしてください。 	81
文字数オーバー 参照できなかった文字があります	<ul style="list-style-type: none"> ファミリー機能のデータを49文字を超えて参照作成しようとした場合 →先頭から49文字だけ参照されますので、必要に応じて修正してください。 	80
文字数オーバー ペーストできなかった文字があります	<ul style="list-style-type: none"> 選択し、コピーした文字を貼り付けると、総文字数が項目の最大文字数を超えてしまう場合 →貼り付ける文字を含めた総文字数が、項目の最大文字数を超えないように入力し直してください。 	82

メッセージ	原因と対処	参照ページ
文字数オーバー 呼出しできなかった文字があります	<ul style="list-style-type: none"> 選択したファミリー機能のデータを呼び出すと、総文字数が項目の最大文字数を超えてしまう場合 →ファミリー機能のデータを含めた総文字数が、項目の最大文字数を超えないように入力し直してください。 	79
該当データなし! 検索をやり直してください	<ul style="list-style-type: none"> 漢字辞書の「読み」「総画数」「部首」検索において該当データが見つからなかった場合 →取消しを押した後、検索語などを確認し、再度検索しなおしてください。 	63

ローマ字入力一覧

ローマ字入力するときの、つづりかたの一覧表です。

あ行	あ	ア	い	イ	う	ウ	え	エ	お	オ
	A		I		U		E		O	
か行	か	カ	き	キ	く	ク	け	ケ	こ	コ
	KA		KI		KU		KE		KO	
	CA				CU				CO	
が行	が	ガ	ぎ	ギ	ぐ	グ	げ	ゲ	ご	ゴ
	GA		GI		GU		GE		GO	
さ行	さ	サ	し	シ	す	ス	せ	セ	そ	ソ
	SA		SI		SU		SE		SO	
ざ行	ざ	ザ	じ	ジ	ず	ズ	ぜ	ゼ	ぞ	ゾ
	ZA		ZI		ZU		ZE		ZO	
た行	た	タ	ち	チ	つ	ツ	て	テ	と	ト
	TA		TI		TU		TE		TO	
だ行	だ	ダ	ぢ	ヂ	づ	ヅ	で	デ	ど	ド
	DA		DI		DU		DE		DO	
な行	な	ナ	に	ニ	ぬ	ヌ	ね	ネ	の	ノ
	NA		NI		NU		NE		NO	
は行	は	ハ	ひ	ヒ	ふ	フ	へ	ヘ	ほ	ホ
	HA		HI		HU		HE		HO	
ば行	ば	バ	び	ビ	ぶ	ブ	べ	ベ	ぼ	ボ
	BA		BI		BU		BE		BO	
ぱ行	ぱ	パ	ぴ	ピ	ぷ	プ	ぺ	ペ	ぽ	ポ
	PA		PI		PU		PE		PO	

ま行	ま	マ	み	ミ	む	ム	め	メ	も	モ
	MA		MI		MU		ME		MO	
や行	や	ヤ			ゆ	ユ	い	イ	え	エ
	YA				YU		YE		YO	
ら行	ら	ラ	り	リ	る	ル	れ	レ	ろ	ロ
	RA		RI		RU		RE		RO	
わ行	わ	ワ	ゐ	ヰ	う	ウ	ゑ	ヱ	を	ヲ
	WA		WI		WU		WE		WO	
ん行	ん	ン								
	NN, N+子音									
きゃ行	きゃ	キャ	き	キ	きゅ	キュ	きえ	キエ	きよ	キョ
	KYA		KYI		KYU		KYE		KYO	
ぎゃ行	ぎゃ	ギャ	ぎ	ギ	ぎゅ	ギユ	ぎえ	ギエ	ぎよ	ギョ
	GYA		GYI		GYU		GYE		GYO	
くぁ行	くぁ	クァ	く	ク			くえ	クエ	くお	クオ
	QA		QI				QE		QO	
くわ行	くわ	クワ	く	ク	く	ク	くえ	クエ	くお	クオ
	KWA		KWI		KWU		KWE		KWO	
ぐわ行	ぐわ	グワ	ぐ	グ	ぐ	グ	ぐえ	グエ	ぐお	グオ
	GWA		GWI		GWU		GWE		GWO	
しゃ行	しゃ	シャ			しゅ	シュ	しえ	シエ	しよ	ショ
	SYA				SYU		SYE		SYO	
じゃ行	じゃ	ジャ	じ	ジ	じゅ	ジュ	じえ	ジエ	じよ	ジョ
	ZYA		ZYI		ZYU		ZYE		ZYO	
	JA				JU		JE		JO	
ちゃ行	ちゃ	チャ	ち	チ	ちゅ	チュ	ちえ	チエ	ちよ	チョ
	TYA		TYI		TYU		TYE		TYO	
	CYA		CYI		CYU		CYE		CYO	
CHA				CHU		CHE		CHO		

ぢゃ行	ぢゃ	ヂャ	ぢい	ヂイ	ぢゅ	ヂュ	ぢえ	ヂエ	ぢよ	ヂョ
	DYA		DYI		DYU		DYE		DYO	
つぁ行	つぁ	ツァ	つい	ツイ			つえ	ツエ	つお	ツォ
	TSA		TSI				TSE		TSO	
てゃ行	てゃ	テャ	てい	テイ	てゅ	テュ	てえ	テエ	てよ	テョ
	THA		THI		THU		THE		THO	
でゃ行	でゃ	ヂャ	でい	デイ	でゅ	デュ	でえ	デエ	でよ	デュョ
	DHA		DHI		DHU		DHE		DHO	
とう					とう	トゥ				
					TWU					
どう					どう	ドゥ				
					DWU					
にゃ行	にゃ	ニャ	にい	ニイ	にゅ	ニュ	にえ	ニエ	によ	ニョ
	NYA		NYI		NYU		NYE		NYO	
ひゃ行	ひゃ	ヒャ	ひい	ヒイ	ひゅ	ヒュ	ひえ	ヒエ	ひよ	ヒョ
	HYA		HYI		HYU		HYE		HYO	
びゃ行	びゃ	ビャ	びい	ビイ	びゅ	ビュ	びえ	ビエ	びよ	ビョ
	BYA		BYI		BYU		BYE		BYO	
ぴゃ行	ぴゃ	ピャ	ぴい	ピイ	ぴゅ	ピュ	ぴえ	ピエ	ぴよ	ピョ
	PYA		PYI		PYU		PYE		PYO	
ふぁ行	ふぁ	ファ	ふい	フィ			ふえ	フェ	ふお	フォ
	FA		FI				FE		FO	
ふゃ行	ふゃ	フャ	ふい	フィ	ふゅ	フュ	ふえ	フェ	ふよ	フョ
	FYA		FYI		FYU		FYE		FYO	
ぶぁ行	ぶぁ	ブァ	ぶい	ブイ	ぶゅ	ブュ	ぶえ	ブエ	ぶよ	ブョ
	VYA		VYI		VYU		VYE		VYO	
みゃ行	みゃ	ミャ	みい	ミイ	みゅ	ミュ	みえ	ミエ	みよ	ミョ
	MYA		MYI		MYU		MYE		MYO	
りゃ行	りゃ	リャ	りい	リイ	りゅ	リュ	りえ	リエ	りよ	リョ
	RYA		RYI		RYU		RYE		RYO	
	LYA		LYI		LYU		LYE		LYO	
ヴァ行	ぶぁ	ヴァ	ぶい	ヴィ	ぶ	ヴ	ぶえ	ヴェ	ぶお	ヴォ
ぶぁ行	VA		VI		VU		VE		VO	

小文字(拗音・促音)

あ	ア	い	イ	う	ウ	え	エ	お	オ	っ	ッ
XA		XI		XU		XE		XO		XTU, XTSU, LTU	
シフト+A		シフト+I		シフト+U		シフト+E		シフト+O		TシフトU TSシフトU	
や	ヤ	ゆ	ユ	よ	ヨ	わ	ワ	カ		ケ	
XYA		XYU		XYO		XWA		XKA		XKE	
YシフトA	YシフトU		YシフトO		WシフトA		KシフトA		KシフトE		

※N以外の子音を2度入力しても「っ」や「ッ」になります。

絵文字

●注意



●案内



●店



●食べ物



絵文字

●暮らし



●乗り物



●季節



●ピデオ



●オーディオ



絵文字

●おもしろ



●趣味



●スポーツ



●人物



●生き物



●干支



●星座



絵文字

●学校

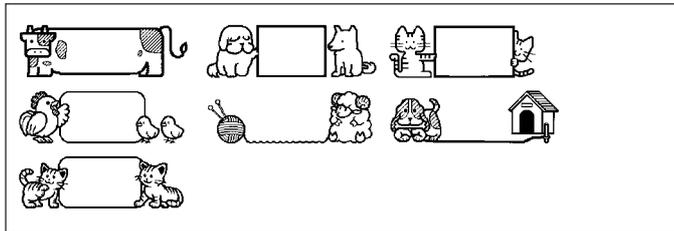
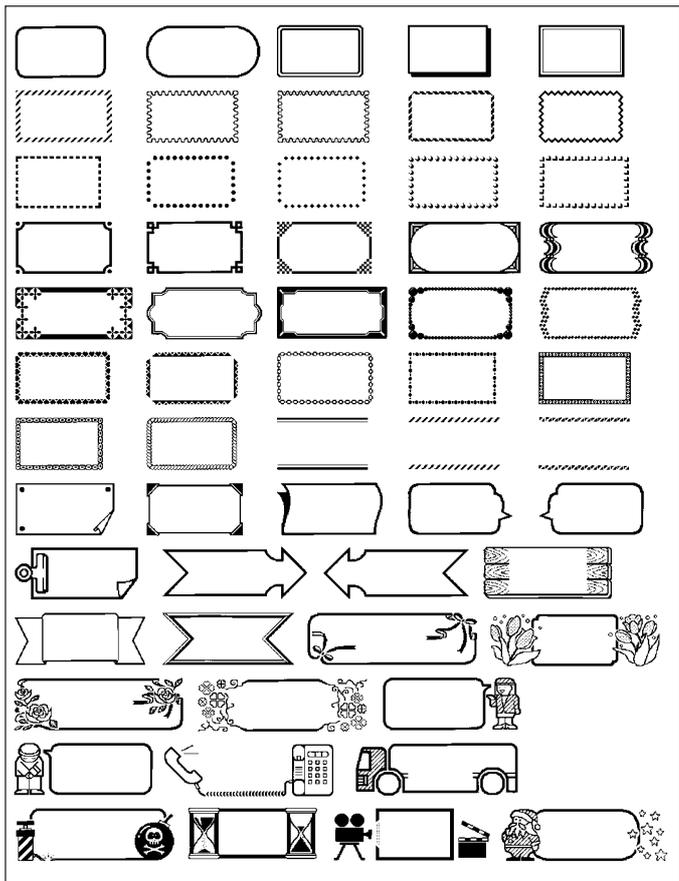


●全部

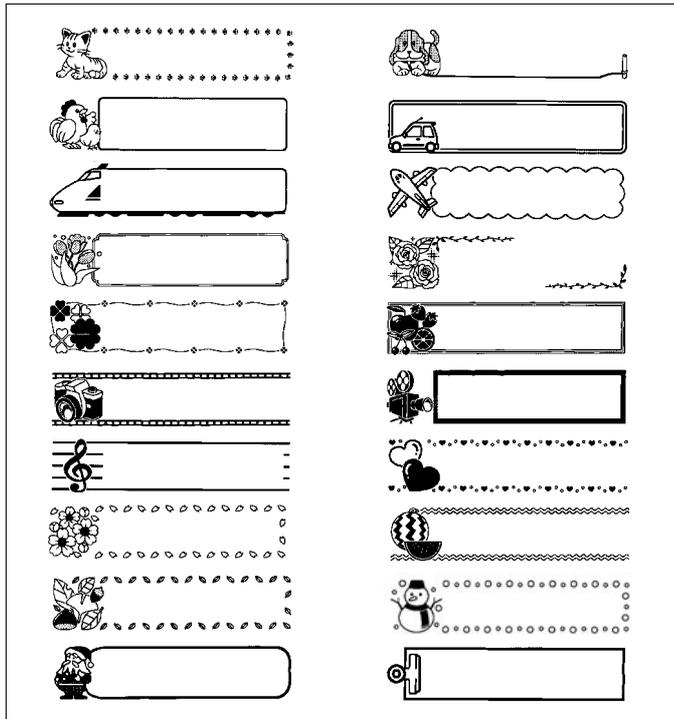
「文房具」から「学校」までの絵文字すべてが入ります。表示される順番は多少変わります。

フレーム一覧

テープモード用



ディスクモード用



ディスク印刷データフォーマット一覧

種類	番号	フォーマット	入力項目	縦サイズ(mm)	最大入力文字数
標準	1		タイトル	12	12
	2		タイトル	9	16
	3		タイトル1	6	24
			タイトル2	6	24
	4		タイトル	9	16
			コメント	3	49
	5		コメント	3	49
			タイトル	9	16
	6		タイトル	6	24
			コメント	3	49
7		コメント	3	49	
		タイトル	6	24	
8		タイトル1	3	49	
		タイトル2	3	49	
		タイトル3	3	49	
9		タイトル	6	24	
		コメント1	3	49	
		コメント2	3	49	
10		コメント1	3	49	
		コメント2	3	49	
		タイトル	6	24	

種類	番号	フォーマット	入力項目	縦サイズ(mm)	最大入力文字数
標準	11		タイトル	6	24
			ないうよう1~4	3	24 x 4
	12		タイトル1~4	3	49 x 4
	13		ないうよう1~8	3	24 x 8
			タイトル	6	24
	14		コメント	3	49
			ないうよう1~4	2	18 x 4
	15		タイトル	6	24
ないうよう1~4			2	37 x 4	
16		タイトル	6	24	
		ないうよう1~8	2	18 x 8	
17		ないうよう1~8	2	37 x 8	
18		ないうよう1~16	2	18 x 16	
ロゴ	1		ロゴ	—	—
			タイトル	6	12
	2		ロゴ	—	—
			タイトル	6	12
3		ロゴ	—	—	
		タイトル1~2	3	24 x 2	
4		ロゴ	—	—	
		タイトル1~3	3	24 x 3	

ディスクケースラベルフォーマット一覧

規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅
ディスク ケース背 (117mm 長)	横	1		タイトル	3.5mm幅、 6mm幅
	横	2		タイトル、 コメント	
ディスク ケース表 (80mm長)	横	1		タイトル	18mm幅、 24mm幅
	横	2		タイトル1、 タイトル2	
	横	3		タイトル、コメント1、 コメント2	
	横	4		タイトル1、タイトル2、 タイトル3、タイトル4	

種類	番号	フォーマット	入力項目	縦サイズ(mm)	最大入力文字数
フレーム	1		タイトル	12	9
	2		タイトル1	3	36
			タイトル2	3	36
	3		タイトル1	6	18
			タイトル2	3	36
	4		タイトル1	3	36
			タイトル2	6	18
	5		タイトル1	3	36
タイトル2			3	36	
タイトル3			3	36	
オート	1		タイトル	15~3	49
	2		タイトル1	6~3	49
			タイトル2	6~3	49

用途別ラベルフォーマット一覧

お使いになるテープカートリッジの幅によって、フォーマットの表示が異なることがあります(入力項目が異なることはありません)。

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
ビデオ (17種類)	VHS (148mm長)	縦	1		タイトル						
			2		タイトル1~2						
			3		ぶんるい、タイトル、コメント1~3	○	○	○	○	-	-
			4		タイトル1~3						
			5		タイトル1~3、タイトル4~6						
	ミニDV (65mm長)	縦	1		タイトル						
			2		タイトル1~2						
			3		ぶんるい、タイトル、コメント1~2	○	○	○	○	-	-
			4		タイトル1~3						
	8mm (94mm長)	縦	1		タイトル	○	○	○	○	-	-
			2		タイトル1~2						
			3		ぶんるい、タイトル、コメント1~2						
4				タイトル1~3							

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
ビデオ (17種類)	VHS-C (89mm長)	縦	1		タイトル						
			2		タイトル1~2						
			3		ぶんるい、タイトル、コメント1~3	○	○	○	○	-	-
			4		タイトル1~3						
オーディオ (9種類)	MD (71mm長)	横	1		タイトル						
			2		タイトル、コメント	○	○	○	○	-	-
			3		タイトル、コメント1~2						
			4		タイトル1~3						
	MD背 (57mm長) カセット (99mm長)	横	1		タイトル	-	-	-	-	○	○
			1		タイトル						
		横	2		タイトル、コメント	○	○	○	○	-	-
			3		タイトル、コメント1~2						
		横	4		タイトル1~3						

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
名前 (18種類)	一般 (65mm長)	横	大1		こうもく、なまえ						
			大2		なまえ、こうもく	○	○	○	○	-	-
			大3		なまえ、 こうもく1～2						
	一般 (45mm長)	横	小1		こうもく、なまえ						
			小2		なまえ、こうもく	○	○	○	○	-	-
			小3		なまえ、 こうもく1～2						
	子供 (80mm長)	横	大1		ねん・くみ、なまえ						
			大2		ねん・くみ、なまえ	○	○	○	○	-	-
			大3		がっこう、ねん・ くみ、なまえ						
			大4		がっこう、ねん・ くみ、なまえ						
	子供 (50mm長)	横	小1		ねん・くみ、なまえ						
			小2		ねん・くみ、なまえ	○	○	○	○	-	-
小3				がっこう、ねん・ くみ、なまえ							
小4				がっこう、ねん・ くみ、なまえ							
ふりがな付 (80mm長)	横	大1		ふりがな、なまえ	○	○	○	○	-	-	
		大2		ねん・くみ、 ふりがな、なまえ							
ふりがな付 (50mm長)	横	小1		ふりがな、なまえ	○	○	○	○	-	-	
		小2		ねん・くみ、 ふりがな、なまえ							

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
送付 (19種類)	封筒 (210mm長)	縦	大1		なまえ						
			大2		じゅうしよ、 なまえ	○	○	○	○	-	-
			大3		じゅうしよ、 なまえ						
	封筒 (140mm長)	縦	小1		なまえ						
			小2		じゅうしよ、 なまえ	○	○	○	○	-	-
			小3		じゅうしよ、 なまえ						
	はかき (90mm長)	縦	1		なまえ						
			2		じゅうしよ、 なまえ	○	○	○	○	-	-
			3		じゅうしよ1、じゅうしよ2、 なまえ						
	差出人 (65mm長)	縦	大1		じゅうしよ、 なまえ	○	○	○	○	-	-
			大2		じゅうしよ1、じゅうしよ2、 なまえ						
	差出人 (45mm長)	縦	小1		じゅうしよ、 なまえ	○	○	○	○	-	-
小2				じゅうしよ1、じゅうしよ2、 なまえ							
のし紙 (95mm長)	縦	大1		こうもく							
		大2		こうもく1～2	○	○	○	○	-	-	
		大3		こうもく1、 こうもく2							

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
送付 (19種類)	のし紙 (65mm長)	縦	小1	■■■■■	こうもく						
		縦	小2	■■■■■	こうもく1~2	○	○	○	○	-	-
		縦	小3	■■■■■	こうもく1、 こうもく2						
ファイル (11種類)	ファイル背 (180mm長)	縦	大1	■■■■■	タイトル						
		縦	大2	■■■■■	タイトル1~2	○	○	○	○	-	-
		縦	大3	■ ■■■■ ■■■	ぶんるい、タイトル、 コメント1~3						
	ファイル背 (140mm長)	縦	小1	■■■■■	タイトル						
		縦	小2	■■■■■	タイトル1~2	○	○	○	○	-	-
		縦	小3	■ ■■■■ ■■■	ぶんるい、タイトル、 コメント1~3						
	FD/MO (71mm長)	横	1	■■■■■	タイトル						
		横	2	■■■■■	タイトル1~2	○	○	○	○	-	-
		横	3	■■■■■	タイトル、 コメント1~2						
備品管理 (70mm長)	横	1	■■■■■	こうもく1~3、 ないよう1~3	○	○	○	○	-	-	
	横	2	■■■■■	こうもく1~2、 ないよう1~2							

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
値札 (10種類)	総額のみ (70mm長)	横	大1	■ ■■■■	コメント、 ねだん						
		横	大2	■■■■■	ひんもく、 ねだん	○	○	○	○	-	-
		横	大3	■■■■■	ひんもく1~2、 ねだん						
	総額のみ (50mm長)	横	小1	■ ■■■■	コメント、 ねだん						
		横	小2	■■■■■	ひんもく、 ねだん	○	○	○	○	-	-
		横	小3	■■■■■	ひんもく1~2、 ねだん						
	本体併記 (70mm長)	横	大1	■■■■■	ぜいごみ、 ほんたい	○	○	○	○	-	-
		横	大2	■■■■■	ひんもく、ぜいごみ、 ほんたい						
	本体併記 (50mm長)	横	小1	■■■■■	ぜいごみ、 ほんたい	○	○	○	○	-	-
		横	小2	■■■■■	ひんもく、ぜいごみ、 ほんたい						

整理・収納項目一覧

分類	項目	分類	項目
キッチン (24種類)	酒	スパイス ボックス (12種類)	カレーパウダー
	さとう		ガーリック
	しお		シナモン
	しょうゆ		セサミ
	酢		チリパウダー
	ソース		ナツメグ
	片栗粉		バジル
	小麦粉		パプリカ
	パン粉		ブラックペッパー
	かつお節		ホワイトペッパー
	昆布		レッドペッパー
	だし		ローリエ
	煮干し	冷蔵庫 (16種類)	からし
	みそ		しょうが
	海苔		にんにく
	パスタ		わさび
	お茶		ケチャップ
	麦茶		マヨネーズ
	紅茶		めんつゆ
	コーヒー豆		ドレッシング
スパイス	調味料		
ふりかけ	開封日		
ベビーフード	調理日		
お弁当小物	冷蔵日		

分類	項目	分類	項目
冷蔵庫	冷凍日	クローゼット・タンス	礼服
	賞味期限		きもの・ゆかた
	消費期限		コート・ジャケット
押入・物入 (15種類)	春夏衣類		スポーツウェア
	秋冬衣類		スカーフ
	シーツ・カバー		手袋
	タオルケット		ネクタイ
	タオル類		ハンカチ
	毛布		ベルト
	赤ちゃんグッズ		帽子
	工具	マフラー	
	子どもの作品	着られない物	
	バッグ類	古着	
	ビデオテープ	シューズ ボックス (20種類)	ブラック
	マタニティグッズ		ネイビー
	アイロン		ホワイト
	レジャーグッズ		ブラウン
	掃除用具		ベージュ
クローゼット・タンス (23種類)	靴下		サンダル
	肌着		スニーカー
	ストッキング		パンプス
	Yシャツ		ブーツ
	Tシャツ		ブラックフォーマル
	セーター	ミュール	
	トレーナー	レインシューズ	
	フリース	ローファー	
	体操着	テニスシューズ	
	水着	サッカーシューズ	

分類	項目	分類	項目	
シューズボックス	ランニングシューズ	スイッチ 換気 キッチン グルニエ 玄関 子供部屋 寝室 洗面室 ダイニング トイレ ポーチ 浴室 リビング 廊下	階段	
	げた		換気	
ぞうり	キッチン			
かさ	グルニエ			
シューズケアグッズ	玄関			
洗面室(10種類)	化粧品		子供部屋	
	シャンプー		寝室	
	石鹸		洗面室	
	掃除用具		ダイニング	
	詰替パック		トイレ	
	ティッシュ		ポーチ	
	トイレトペーパー		浴室	
	ハブラシ		リビング	
	ヘアケア用品		廊下	
	リンス			
子供部屋(13種類)	絵本	コンセント・配線(16種類)	トースター	
	おもちゃ		電子レンジ	
	車		炊飯器	
	ゲームソフト		ポット	
	小物		食洗機	
	積み木		テレビ	
	電車		ビデオデッキ	
	人形		DVDプレーヤー	
	ぬいぐるみ		BSチューナー	
	パズル		ゲーム機	
	ビデオ		PC本体	
	ブロック		モニター	
	洋服		プリンター	
	スキャナー			

分類	項目	分類	項目
	Left	書類	銀行関係
	Right		クーポン
アルバム(23種類)	入園式	文具(17種類)	支払明細
	入学式		スクラップ
	春の遠足		ダイレクトメール
	ピクニック		電話帳住所録
	海水浴		取扱説明書
	旅行		年賀状
	キャンプ		保険証券証書
	夏祭り		保証書
	花火大会		領収書
	秋の遠足		レシピ
	運動会		レシート
	学芸会		処理済
	文化祭		未処理
	音楽会		鉛筆
	お祭り		カッター
	クリスマス		画鋏・ピン
	お正月		切手
スキー	クリップ		
卒園式	消しゴム		
卒業式	シール		
お誕生日	修正液		
発表会	定規		
パーティー	テープ		
書類(19種類)	医療関係	のり	
	園便り	はがき	
	カタログ	はさみ	
	学校書類	筆記具	

ガーデニング項目一覧

分類	項目	分類	項目
文具	便せん封筒	小物	ひも
	文具 輪ゴム		フィルム ボタン ボンド ヤスリ リボン
小物(17種類)	ガムテープ	困ったとき(8種類)	いらぬ
	クスリ		いる
	工具		永久保存
	ゴミ袋		思い出の品
	ソーイングセット		ゴミ
	詰替パック		引き出物
	電池		未使用品
	ドライパー		リサイクル
	ビデオテープ		
	ビニール袋		
	ビニールテープ		

分類名	カタカナ	英名	分類名	カタカナ	英名
花(ア〜コ)(24種類)	アイリス	Iris	花(サ〜ト)(24種類)	サフラン	Saffron crocus
	アサガオ	Morning glory		サルビア	Sage
	アジサイ	Hydrangea		シクラメン	Cyclamen
	アネモネ	Anemone		シャクヤク	Chinese peony
	アマリリス	Amaryllis		シャコバサボテン	Christmas cactus
	インパチェンス	Busy lizzy		ジンチョウゲ	Winter daphne
	エリカ	Heath		シンビジウム	Cymbidium
	オシロイバナ	Four o'clock		スイートピー	Sweet pea
	カーネーション	Carnation		スイセン	Narcissus
	ガーベラ	African daisy		スズラン	Lily of the valley
	カスミンソウ	Baby's breath		スターチス	Sea lavender
	キキョウ	Balloon flower		ストック	Stock
	キク	Florist's chrysanthemum		ストロベリーキャンドル	Crimson clover
	キンギョソウ	Snapdragon		ゼラニウム	Geranium
	キンセンカ	Pot marigold		セントポーリア	African violet
	キンモクセイ	Fragrant olive		ダリア	Dahlia
	キンレンカ	Nasturtium		チューリップ	Tulip
	グラジオラス	Sword lily		ツツジ	Azalea
	クリスマスローズ	Lenten rose		ツバキ	Camellia
	クレマチス	Vase vine		デージー	Daisy
	クロッカス	Crocus		トルコギキョウ	Prairie gentian
	ケイトウ	Cockscomb		花(チ〜ウ)(22種類)	ニチニチソウ
コスモス	Cosmos	ハイビスカス	Hibiscus		
コデマリ	Reeves spirea	ハナショウブ	Japanese iris		
		ハナミズキ	Flowering dogwood		
花(サ〜ト)	サギソウ	Fringed orchid	バラ	Rose	
	サクラソウ	Primula	パンジー	Pansy	
	サザンカ	Sasanqua camellia			

テープ幅と行数・倍率一覧

印刷可能行数や最大“縦”倍率は、ご使用になるテープの幅やフォーマットによって異なります。

		3.5mm	6mm	9mm	12mm	18mm/ 24mm	取扱説明書 参照ページ
最大印刷 可能行数	標準フォント	—	1行	1行	2行	4行	21ページ 35ページ
	微小フォント	1行	2行	3行	5行	8行	75ページ
最大“縦” 倍率	標準フォント	—	1倍	2倍	3倍	5倍	32ページ 35ページ
	微小フォント	1倍	1倍	2倍	3倍	4倍	75ページ
“縦”倍率 の合計	標準フォント	—	1	2まで	2まで*	4まで*	21ページ 32ページ
	微小フォント	1	2まで*	3まで*	5まで*	8まで*	35ページ 75ページ

*複数行のときの合計です。

分類名	カタカナ	英名	分類名	カタカナ	英名	
花 (ナ ツウ)	ヒアシンス	Hyacinth	観葉植物	ベンジャミン	Benjamin	
	ヒマワリ	Sunflower		ポトス	Golden pothos	
	ブーゲンビレア	Bougainvillea		ユッカエレファンティス	Yucca elephantipes	
	フクジュソウ	Amur adonis	ハーブ (20種類)	オレガノ	Oregano	
	フリージア	Freesia		カモミール	Chamomile	
	ベゴニア	Begonia		キャットミント	Catmint	
	ペチュニア	Petunia		クレソン	Watercress	
	ポインセチア	Christmas flower		シソ	Perilla	
	ポタン	Tree peony		スイートマジョラム	Sweet Marjoram	
	ポピー	Poppy		セージ	Sage	
	マーガレット	Marguerite		タイム	Thyme	
	マリーゴールド	African marigold		チコリ	Chicory	
	ユリ	Lily		チャイブ	Chives	
	ラベンダー	Lavender		ディル	Dill	
	リンドウ	Gentian		バジル	Basil	
	ワスレナグサ	Forget-me-not		パセリ	Parsley	
	観葉植物 (15種類)	アイビー		English ivy	フェンネル	Fennel
		アジアンタム		Maidenhair	ベルガモット	Bergamot
		アロエ		Aloe	ポットマリーゴールド	Pot marigold
		オリーブ		Olive	ミント	Mints
オリヅルラン		Ribbon plant	ラベンダー	Lavender		
ゴールドクレスト		Goldcrest	レモンバーム	Lemon balm		
ゴムノキ		Indian rubber fig	ローズマリー	Rosemary		
サンセベリア		Snake plant				
シュロチク		Reed rhaps				
ドラセナ マッサンゲアナ		Massangeana dracaena				
パキラ		Guiana chestnut				
ペペロミア		Peperomia				

各機能における使用可能テープ幅一覧

■ディスク&ケース(おまかせコース)

	3.5mm	6mm	9mm	12mm	18mm	24mm
おまかせコース	○	○	×	×	○	○

■ディスク&ケース(こだわりコース)

	3.5mm	6mm	9mm	12mm	18mm	24mm
ケース背ラベル	○	○	×	×	×	×
ケース表ラベル	×	×	×	×	○	○

■テープ

	3.5mm	6mm	9mm	12mm	18mm	24mm
フリーラベル	○	○	○	○	○	○
フレーム	×	○	○	○	○	○
用途別ラベル	○	○	○	○	○	○
ロゴコレクション	×	×	×	×	○	○

㊦

筒諷須醉囹厨逗吹垂帥推水吹睡粹翠衰遂醉錘隨瑞隨崇高數枢趨雞据杉樞管頗
雀裾澄摺寸

㊧

世瀨欽是凄刺勢姓征性成政整星晴棲栖正清牲生盛精聖声製西誠誓請逝醒青靜齋
稅脆隻席惜戚斥首析石積籍續脊責赤跡蹟碩切拙接撰折設笏節說雪絕舌蟬仙先千
占宣專尖川戟扇撰栓栢泉浅洗染潛煎煽旋穿箭線織羨腺舛船薦詮賤踐選選錢銃閃
鮮前善漸然全禪繕膳釋

㊨

嚼塑咀措曾曾楚狙疏疏礎礎祖租租素組蘇訴阻遡鼠僧創双叢倉喪壯奏爽宋層匠惣想
搜掃掃插操早曹巢槍槽漕燥争瘦相窓槽綜綜駘草苴葬蒼藻裝走送遭鎗霜騷像增增
臙藏贈造促側則即息捉束測速俗屬賊族統卒袖其揣存孫尊損村遜

㊩

他多太汰記睡墮妥惰打柁舵精陀馱驂体堆对耐岱帶待怠態戴替泰滯胎腿苔袋貸退
遠隊隸鯛代台大第醒題鷹滝瀧卓啄宅扞拮拓濯瑤託鐸濁諾茸胤蛸只叩但達辰奪
脫葉豎迪棚谷狸鱉樽誰丹單嘆坦担探且歎淡湛炭短端筭綻耽耽蛋誕鍛团壇彈断暖
檀段男談

㊪

值知地馳恥池池痴稚置致蚰遲馳築畜竹筑蓄逐秩窰茶矯着中仲宙忠抽昼柱注虫衷
註耐鑄駐樗滌猪苧著貯丁北凋喋寵帖帳屏甲張彫徵徵挑暢朝潮牒町眺聽脈腸蝶調
課超跳跳長頂鳥勒劫直沃沈珍寶鎖陳

㊫

津墜椎槌追錘痛通塚桐樞楓佃漬柘辻薦綴鈔椿潰坪壺媯絢爪吊鈞鶴

㊬

亭低停傾刺貞呈堤定帝底庭廷弟悌抵挺提槌汀錠禎綉綺艇訂諦蹄通邸鄧釘鼎泥滴
擢敵滴的笛適滴弱徹撤轍迭鉄典填展店添纏甜貼帖軫顛屯伝殿澗田電

㊭

兔吐塗塗妬屠徒斗杜渡登莞賭途都鍍砥砺努度土奴怒倒党冬凍刀唐塔塘套宕島嶋
悼投搭東桃棟棗盜淘湯湯灯燈当痘袴等答筒糖統到蕩蕩藤討膳豆踏逃透鏗陶頭騰
闢働動同堂導撞撞洞腫董胴萄道銅峙錫匿得德流特督雋篤毒独詭詭橡凸突極厓窩
茗寅酉游噸屯惇敦沌豚遁頓吞曇鈍

㊮

奈那內乍凧難謎灘灘捺鍋嶺馴繩噸南楠軟難汝

㊯

二尼忒迹勾賑肉虹廿日乳入如尿管任妊忍認

㊱

濡

㊲

襦祢寧葱猫熱年念捻燃燃粘

㊳

乃迺之萘糞惱濃納能腦膿農視蚤

㊴

巴把播霸杷波派琶破婆罵芭馬俳庖捍排敗杯盃牌背肺輩配倍培媒梅煤煤猥買賈賸
陪這蠅秤矧菽伯剥博柏泊白箔粕舶薄迫曝漠爆縛莫駁麥函箱裕鎔鎔管樞樞肌烟
晶八鉢滌甃醜髮伐罰拔筏閱鳩嗚鳩蛤隼伴判半反叛帆搬斑板汜汎版犯班畔繁般潘
販販采煩煩飯挽晚番盤盤蕃蠻

㊵

匪卑否妃庇彼悲扉批披斐比泌疲皮碑秘緋罷肥被諱費避非飛樋簸備尾微毗毘琵琶
美鼻枵稗疋疋彛彛膝麥肘竅必畢畢暹衿姬媛紐百謬佞彪標水漂飄票表評豹廟描病
秒苗貓鈔蒜蛭鱸品彬斌浜瀕貧資穎敬瓶

㊶

不付埤夫婦富富布府佈扶敷斧普浮父符腐膚芙譜員賦赴阜阜俯侮撫武舞葡蕪部封楓
風風葦伏伏復幅服福復覆淵弗拂拂佛物鮑分吻吻墳墳憤憤拏拏奮粉糞粉雲文聞

㊷

丙併兵塤幣平弊柄並蔽閉陞米頁僻壁癖碧別瞥蔑篋篋偏奕片篇編辺返遍便勉勉弁鞭

㊸

保舖鋪圃圃步甫補輔穗募墓慕戊暮母簿簿倣倣包呆報奉宝峰峯崩崩抱捧放方册法
泡皂砲縫胞芳萌蓬蜂喪訪豐邦鋒鉤鳳鵬乏亡倍剖坊妨帽忘忙房暴望某棒冒妨肪
謀貌貿鉞鈐吠吠類北僕卜墨撲朴牧睦睦鈞鈞勃沒沒坳慨奔本翻凡盆

㊹

摩磨魔麻埋妹沫枚每埋禎幕膜枕鋪鉅鱗樹亦俟又抹沫沫迄促爾爾方萬慢滿漫蔓



來動叭啾啾嘴囓國屎岫岫恨懣斟暖杞柺梳柺柺柺柺柺柺淋澳燻癩輝眩跟碎筭箴箴
繪荼莢苜蕨藏藥蚯蝱蛛踉踵鈎勒頸頰誠黎麟



儉刮劍劍勁卷啞嚴奎奸嶮巖慧惠愷快拮棍檣檣檣檣檣檣檣檣檣檣檣檣檣檣檣檣
縣懸脛脛艱艾蒨藝虔蝱蜎蜎蜎蜎蜎蜎蜎蜎蜎蜎蜎蜎蜎蜎蜎蜎蜎蜎蜎蜎蜎蜎蜎蜎



亢傲兒風鳳剋叶叭咬吹哄啼哭囡國毀壹壺壽夾媚寇寇尚崑廣徨怙恆怙恆慄慄慄慄
拱拊提握敲囃杞框柅棍柅柅柅柅柅柅柅柅柅柅柅柅柅柅柅柅柅柅柅柅柅柅柅柅
瘤皓盒盡宰磔稟笏筭箏箏箏箏箏籊籊粃粃緻縷羹聲肝胛胛膠葯莖蕘蘇蝱蝱蛟蜈蠅蠅
蟀蟀蟀蟀蟀蟀蟀蟀蟀蟀蟀蟀蟀蟀蟀蟀蟀蟀蟀蟀蟀蟀蟀蟀蟀蟀蟀蟀蟀蟀蟀蟀蟀蟀蟀蟀



倅凜刹唵喙啞噪囁轉甍壯巽娑寞寥崑崑崑崑崑崑崑崑崑崑崑崑崑崑崑崑崑崑崑
櫻殷鷹沛洒洩滌滄滄滄滄滄滄滄滄滄滄滄滄滄滄滄滄滄滄滄滄滄滄滄滄滄滄滄滄滄
蔗蔗蔗蔗蔗蔗蔗蔗蔗蔗蔗蔗蔗蔗蔗蔗蔗蔗蔗蔗蔗蔗蔗蔗蔗蔗蔗蔗蔗蔗蔗蔗蔗蔗蔗



乘侈佻倅借兒廁呵呻咀咄咄啾啾啾啾啾啾啾啾啾啾啾啾啾啾啾啾啾啾啾啾啾啾啾
嶼嶼嶼嶼嶼嶼嶼嶼嶼嶼嶼嶼嶼嶼嶼嶼嶼嶼嶼嶼嶼嶼嶼嶼嶼嶼嶼嶼嶼嶼嶼嶼嶼嶼嶼嶼
檢檢檢檢檢檢檢檢檢檢檢檢檢檢檢檢檢檢檢檢檢檢檢檢檢檢檢檢檢檢檢檢檢檢
祀祠齋稠穰笏笏筍筍箏箏箏箏箏箏箏箏箏箏箏箏箏箏箏箏箏箏箏箏箏箏箏箏箏
茹茹茹茹茹茹茹茹茹茹茹茹茹茹茹茹茹茹茹茹茹茹茹茹茹茹茹茹茹茹茹茹茹茹
誦誦誦誦誦誦誦誦誦誦誦誦誦誦誦誦誦誦誦誦誦誦誦誦誦誦誦誦誦誦誦誦誦誦誦誦誦誦
鬮鬮鬮鬮鬮鬮鬮鬮鬮鬮鬮鬮鬮鬮鬮鬮鬮鬮鬮鬮鬮鬮鬮鬮鬮鬮鬮鬮鬮鬮鬮鬮鬮鬮



侑圖壽已慧悴拌捐捐搯數昂梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳
藥蠟螟裔裔二迪醉銛間隧類題題題題題題題



倅倅倅倅倅倅倅倅倅倅倅倅倅倅倅倅倅倅倅倅倅倅倅倅倅倅倅倅倅倅倅倅倅倅倅
佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻
佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻



仄俅倅倅倅雙咀噪囉壯嫂吃時兩付忽槍拊揸杻梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳
笙笙笙笙笙笙笙笙笙笙笙笙笙笙笙笙笙笙笙笙笙笙笙笙笙笙笙笙笙笙笙笙笙笙笙



井亢佇佻倅倅佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻
梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳
梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳
梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳
梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳梳



佇伉儷青嘲埃忒掉擲呢晁晝杼楫楫楫楫楫楫楫楫楫楫楫楫楫楫楫楫楫楫楫楫楫
豹超踴踴踴踴踴踴踴踴踴踴踴踴踴踴踴踴踴踴踴踴踴踴踴踴踴踴踴踴踴踴踴踴踴踴踴



亞傳儂兢几劍劍勁啞啞啞啞啞啞啞啞啞啞啞啞啞啞啞啞啞啞啞啞啞啞啞啞啞啞
虔虔虔虔虔虔虔虔虔虔虔虔虔虔虔虔虔虔虔虔虔虔虔虔虔虔虔虔虔虔虔虔虔虔



伏傳儂刹唵啼囁囁囁囁捏捏捏捏捏捏捏捏捏捏捏捏捏捏捏捏捏捏捏捏捏捏捏
轉迥迥迥迥迥迥迥迥迥迥迥迥迥迥迥迥迥迥迥迥迥迥迥迥迥迥迥迥迥迥迥迥迥迥



井佇倅儂佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻
沿獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨
貪獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨



儂雙哭啼啞啞啞啞啞啞啞啞啞啞啞啞啞啞啞啞啞啞啞啞啞啞啞啞啞啞啞啞啞
邊邊邊邊邊邊邊邊邊邊邊邊邊邊邊邊邊邊邊邊邊邊邊邊邊邊邊邊邊邊邊邊邊



兒忽孺棣榆渾渾渾渾渾渾渾渾渾渾渾渾渾渾渾渾渾渾渾渾渾渾渾渾渾渾渾渾渾渾渾渾渾渾渾渾渾



儂佻攬攬攬攬攬攬攬攬攬攬攬攬攬攬攬攬攬攬攬攬攬攬攬攬攬攬攬攬攬攬攬攬



峙倅倅倅倅倅倅倅倅倅倅倅倅倅倅倅倅倅倅倅倅倅倅倅倅倅倅倅倅倅倅倅倅



乘亢伏嘯宸幟敘曰烽熨瑤禮篋脩芒詛罍鑿頌堯韶

仕様

形式 : KLD-200

入力

- キー配列 : JIS配列準拠
入力方法 : ローマ字入力、JISかな入力
変換方式 : 熟語変換・単漢字変換

辞書

- 内蔵辞書数 : 熟語変換 約142,000語(派生語を含む)
単漢字変換 約13,000語

文字種

- 6,287文字(+外字4文字)
- 漢字 : 4,166文字
JIS第1水準 2,965文字
JIS第2水準 1,201文字
- ひらがな : 249文字
全角 83文字
上付、下付 166文字
- カタカナ : 258文字
全角 86文字
上付、下付 172文字
- 数字 : 30文字
全角 10文字
上付、下付 20文字
- アルファベット : 156文字
全角 52文字
上付、下付 104文字
- ギリシア文字 : 48文字
全角 48文字
- ロシア文字 : 66文字
全角 66文字
- 記号 : 685文字
全角 385文字
上付、下付 300文字
- 絵文字 : 629文字
全角 629文字

• 外字は4文字まで登録できます。

表示

- 液晶表示 : 96×64ドット+シンボル(6桁×4行)
入力部分 : 6桁×1行(フリーラベル以外での入力時)
6桁×3行(フリーラベル入力時のみ)
表示文字構成 : 16×16ドット(全角)
8×16ドット(半角…メニュー・メッセージ専用)
8×8ドット(1/4角)

印刷

- 印字密度 : 200dpi
印刷方式 : 熟転写方式
- ラベル印刷時
- 印字速度 : 約6.0mm/秒
印字幅 : 約16mm
a) 2mm(テープ幅 3.5mm)
b) 4mm(テープ幅 6mm)
c) 7mm(テープ幅 9mm)
d) 10mm(テープ幅 12mm)
e) 16mm(テープ幅 18mm/24mm)

●ディスク印刷時

- 印字速度 : 約8.3mm/秒
印字幅 : 約16mm
印字長 : 約74mm
- 印字速度は印字環境、条件等により異なります。

文字構成 : ビットマップフォント
書体 : 和文書体(丸ゴシック体、明朝体*)
かな英数書体(丸ゴシック体、明朝体*、てがき、ボンジュール、メロディ、パレット、プロデュース)
※この書体は、(財)日本規格協会と使用許諾契約を締結して使用しているものです。なお、フォントの一部には、弊社でデザインした外字を含みません。
フォントとして無断複製することは禁止されています。

平成明朝体™WB

印刷方向 : 横書き・縦書き・裏書き

印刷文字体 : 標準・太字・白抜・影付・立体

印刷行数 : テープ印刷時

3.5mm幅テープ使用時 1行印刷可能
6mm幅テープ使用時 1~2行印刷可能
9mm幅テープ使用時 1~3行印刷可能
12mm幅テープ使用時 1~5行印刷可能
18mm/24mm幅テープ使用時
1~8行印刷可能

ディスク印刷時 最大8行

内部記憶

文字登録用の記憶 : 約1,000文字(テープモード)
約2,000文字(ディスク&ケースモード)
熟語変換学習 : 約125語
単漢字変換学習 : 約20語
ファミリー機能 : 最大で49文字、9語まで登録可能
コピー/ペースト : 最大で49文字、9語まで登録可能

登録・呼出し

登録 : 文字編集用記憶エリア一括登録+自動ソーティング
呼び出し : 順次呼び出し

電源・その他

動作用電源 : 単3形アルカリ乾電池(8本)
ACアダプター(AD-2105S・別売)
・動作用電池の寿命については、「電源について」(「入門ガイド」8ページ)をご覧ください。

メモリー保護用電池 : 本体内蔵

内蔵メモリー保護用電池寿命 :

本体底面ラベルに表示されている交換時期まで(周囲温度20℃)
交換時期までにお買い上げ販売店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにご依頼ください。(有料交換)

消費電力 : 15W

オートパワーオフ : 約6分

・ACアダプターを使用してパソコンに接続したときには、オートパワーオフは、はたらきません。

大きさ : 幅215mm×奥行246mm×高さ88mm(足含む)

重さ : 約1300g(乾電池含まず)

使用温度 : 10℃~35℃

別売品一覧

●テープカートリッジ

テープとディスクケースラベルの印刷をするときに必要です。

	テープ幅	24ミリ	18ミリ	12ミリ	9ミリ	6ミリ	3.5ミリ
	テープ色/紙	旧形番号(KR-24)	旧形番号(IR-18)	旧形番号(KR-12)	旧形番号(IR-9)	旧形番号(KR-6)	
スタンダード テープ (8m)	白に黒文字	XR-24WE	XR-18WE	XR-12WE	XR-9WE	XR-6WE	XR-3WE
	黄に黒文字	XR-24YW	XR-18YW	XR-12YW	XR-9YW	XR-6YW	
	緑に黒文字	XR-24GN	XR-18GN	XR-12GN	XR-9GN	XR-6GN	
	赤に黒文字	XR-24RD	XR-18RD	XR-12RD	XR-9RD	XR-6RD	
	青に黒文字	XR-24BU	XR-18BU	XR-12BU	XR-9BU	XR-6BU	
	白に赤文字		XR-18WER	XR-12WER	XR-9WER		
	白に青文字		XR-18WEB	XR-12WEB	XR-9WEB		
	金に黒文字		XR-18GD	XR-12GD	XR-9GD		
	銀に黒文字		XR-18SR	XR-12SR	XR-9SR		
	黒に金文字		XR-18BKG		XR-9BKG		
	黒に銀文字		XR-18BKS		XR-9BKS		
	透明に黒文字	XR-24X	XR-18X	XR-12X	XR-9X	XR-6X	XR-3X
	透明に金文字		XR-18XG		XR-9XG		
透明に銀文字		XR-18XS		XR-9XS			
透明に赤文字		XR-18XRD		XR-9XRD			
白文字 テープ (8m)	緑に白文字	XR-24AGN	XR-18AGN	XR-12AGN	XR-9AGN		
	赤に白文字	XR-24ARD	XR-18ARD	XR-12ARD	XR-9ARD		
	青に白文字	XR-24ABU	XR-18ABU	XR-12ABU	XR-9ABU		
	黒に白文字	XR-24ABK	XR-18ABK	XR-12ABK	XR-9ABK		
	透明に白文字	XR-24AX	XR-18AX	XR-12AX	XR-9AX		

	テープ幅	24ミリ	18ミリ	12ミリ	9ミリ	6ミリ
	テープ色/紙		旧形番号(IR-18F)			
蛍光色 テープ (5.5m)	蛍光ピンクに黒文字		XR-18FPK	XR-12FPK	XR-9FPK	
	蛍光赤に黒文字		XR-18FRD	XR-12FRD	XR-9FRD	
	蛍光オレンジに黒文字		XR-18FOE	XR-12FOE	XR-9FOE	
	蛍光黄に黒文字		XR-18FYW	XR-12FYW	XR-9FYW	
	蛍光緑に黒文字		XR-18FGN	XR-12FGN	XR-9FGN	
デュアル カラー (8m)	黒文字		XR-18MBK		XR-9MBK	
	黒文字で布地に転写		XR-118BK			
	赤文字で布地に転写		XR-118RD			
布転写 テープ (5m)	青文字で布地に転写		XR-118BU			
	黒文字		XR-18LBK			
	反射黄に黒文字		XR-18RYW			
反射 テープ (1.5m)	ハローキティ		XR-18S1			
	けろけろけろっぴ		XR-18S2			
	ポチャッコ		XR-18S3			
	パッドばつ丸		XR-18S4			
	パッドばつ丸とその仲間		XR-18S5			
強縮 テープ (5.5m)	白に黒文字		XR-18GWE	XR-12GWE	XR-9GWE	
	透明に黒文字		XR-18GX	XR-12GX	XR-9GX	
	黄に黒文字		XR-18GYW	XR-12GYW	XR-9GYW	
抗 擦 テープ (5.5m)	白に黒文字		XR-18BWE	XR-12BWE	XR-9BWE	
	透明に黒文字		XR-18BX	XR-12BX	XR-9BX	
	青に黒文字		XR-18BBU	XR-12BBU	XR-9BBU	

	テープ幅 テープ色	24ミリ	18ミリ	12ミリ	9ミリ	6ミリ
白に黒文字	XR-24JWE					
	XR-24JYW					
赤に黒文字			XR-18TRD	XR-12TRD		
	青に黒文字		XR-18TBU	XR-12TBU		
黄に黒文字			XR-18TYW	XR-12TYW		
	緑に黒文字		XR-18TGN	XR-12TGN		
黒/黄に赤文字	XR-24W1					

● ACアダプター
AD-2105S

● クリーニングテープ
XR-24CLE

● ネームランド用ハサミ
CU-10

9ミリ幅～24ミリ幅テープのカドを丸くしたり、カット部を波型に仕上げることが出来ます。

● インクリボンカセット

ディスク印刷をするときに必要です。

TR-18BK	リボン色	ブラック
TR-18SR	リボン色	シルバー
TR-18RD	リボン色	レッド
TR-18BU	リボン色	ブルー
TR-18GN	リボン色	グリーン
TR-18BK-3P(3本セット)	リボン色	ブラック
TR-18SR-3P(3本セット)	リボン色	シルバー
TR-18RD-3P(3本セット)	リボン色	レッド
TR-18BU-3P(3本セット)	リボン色	ブルー
TR-18GN-3P(3本セット)	リボン色	グリーン

● 専用パソコンリンクソフト
FA-D2000

※品切れの際はご容赦ください。

※別売品については一部予告なしに変更となる可能性があります。

索引

キー	
↑ ↓ ← →	57
aA	58
ON OFF	「入門ガイド」4
あ	58
印刷プレビュー	
印刷	「入門ガイド」20,25
機能	「入門ガイド」17
空白	60
後退	70
実行	「入門ガイド」16
シフト	60,67
ガーデニング	
紙幣収納	34,36
スーム印刷	
縦書き印刷	33,34
単漢字	62
USB	46
USBリンク	
テープ	12,15,16,92
取消し	「入門ガイド」17
ぬがき	23
ファミリー	
漢字辞書	63,79
変換	60
無変換	59
文字削除	69

記号・アルファベット・数字	
ACアダプター	89
CD-R背ラベル	54
MD背ラベル	109
MD用ラベル	109
USBケーブル	92
USBコネクタ	「入門ガイド」4
VHS用ラベル	109
あ行	
アフターサービス	128
網掛	78
アルファベットの入れかた	67
イメージャー表示	24
インクリボン	「入門ガイド」14
インクリボンカセット専用アダプター	
	「入門ガイド」14
印刷	「入門ガイド」21,26
印刷エリア	45,47
印刷濃度	85
印刷プレビュー	「入門ガイド」20,25
印刷方向	19
印刷面	45
印字サイズ	29
上付(印字サイズ)	75
裏書き	20
上書き	71
絵文字	69
絵文字一覧	103
エラーメッセージ	97
オートパワーオフ	「入門ガイド」10
オートフォーマット	49
大文字の入れかた(アルファベット)	58
送り無	22
おまかせコース	「入門ガイド」24
オリジナル文字(外字)	82

か行	
カーソル	57
ガーデニングラベル	36
改行	17
外字	82
学習機能	63
確定	63
各部の名前	「入門ガイド」4
影付	76
カセットカバー	「入門ガイド」4
カセットカバーオープンボタン	
	「入門ガイド」4
下線(修飾)	78
下線(変換)	61
カタカナの入れかた	59
カタカナ変換	59
カットモード	39
かな漢字まじり文の入れかた	60
かな入力	58
画面の見かた	「入門ガイド」18
漢字辞書	63
漢字の入れかた	60
乾電池	「入門ガイド」8
乾電池カバー	「入門ガイド」8
キー	「入門ガイド」16
キーボード	「入門ガイド」16
キーのはたらき	「入門ガイド」16
記号一覧	103
記号の入れかた	68
輝度(画面)	85
行頭	57
行末	57
均等	27,28,50
均等割付(ブロック)	28
均等割付(文字)	27,50
クリーニング	91
ケース表ラベル	54
ケース背ラベル	54
後退	70
故障かな?と思ったら	94
こだわりコース	46

コピー	81
ゴムローラー	91
小文字の入れかた(アルファベット)	67
小文字(促音、拗音)の入れかた	
(ひらがな・カタカナ)	60

ざ行	
削除(外字)	84
削除(部分)	70
削除(文削除)	70
削除(文字削除)	69
参照作成(外字)	83
下付(印字サイズ)	75
ジャストフィット印刷	29
ジャストフィットマーク	30
修正(外字)	84
熟語変換	60
仕様	122
初期化	「入門ガイド」10
初期設定	「入門ガイド」10
初期フォント	74
書式	19
全文単位	20
ブロック	19
書体	73
白抜	76
新規作成(外字)	82
数字の入れかた	67
スクロール	57
スムージング	21
スリット	「入門ガイド」4
整理・収納ラベル	34
設定	
印刷濃度	86
輝度調整	85
初期フォント	74
挿入/上書き	71
ブザーON/OFF	85
ローマ字/かな入力	58
デモ印刷	86
前候補	61
全文削除	70

全文書式	20
全文頭	57
全文末	57
総画面数	64
挿入	71

た行

縦書き印刷	34
単漢字変換	62
ディスク	「入門ガイド」24
セット	「入門ガイド」26
取り出し	「入門ガイド」27
ディスク印刷データ	45
データの削除	43,56
データの登録	42,55
データの保持	「入門ガイド」9
データの呼出し	42,56
テーブル	「入門ガイド」12
テーブル送り	「入門ガイド」22
テーブルカートリッジ	「入門ガイド」12
テーブルカートリッジのセット	「入門ガイド」12
テーブルカートリッジの取り出し	「入門ガイド」13
テーブルガイド	「入門ガイド」12
テーブルカット	39
テーブル長固定	23
テーブル出口	「入門ガイド」4
テーブルの長さ	23
テーブル幅と行数・倍率一覧	115
デモ印刷	86
電源	「入門ガイド」8
電源を入れる	「入門ガイド」10
電源を切る	「入門ガイド」10
電池をセットする	「入門ガイド」8
登録	42,55
同音異義語変換	61
取消し(文字修飾)	79

な行

内蔵漢字一覧	117
内蔵ロゴ	15
中寄せ	27,28,50
中寄せ(ブロック)	28

中寄せ(文字)	27,50
入力	
絵文字	69
外字	82
記号	68
文字	58

は行

倍率マーク	30
パソコンとの接続	92
パレット	73
微小フォント	32,75
左寄せ	27,28,50
表示画面	「入門ガイド」18
ひらがなの入れかた	59
ファミリー機能	79
フォーマット	12,47
フォント(書体)	73
ブザー音	85
部首	65
付属品	「入門ガイド」表紙裏
太字	76
部分削除	70
フリーラベル	16
フリーラベルの削除	43
フリーラベルの登録	42
フリーラベルの呼出し	42
プリンターヘッド	「入門ガイド」13,14
フレーム	33,52
フレーム一覧	106
プレビュー画面	「入門ガイド」20,25
ブロック	18
ブロック間隔	21
ブロック書式	19
ブロック長	25
ブロック長固定	25
ブロックの割付	27
プロデュース	73
プロポーショナル	20,51
文削除	80
ペースト	72
別売品一覧	124

変換

カタカナ	59
熟語	60
単漢字	62
同音異義語	61
方向(印刷方向)	19
ボンジュール	73
保証	128

ま行

丸ゴシック体	73
右寄せ	27,28,50
明朝体	73
メモリー(登録)	42,55
メモリーの初期化(リセット)	「入門ガイド」10
メロディ	73
文字間隔	19
文字キー	「入門ガイド」17
文字サイズ	29,49
文字サイズ(行単位)	31
文字サイズ(文字単位)	29
文字削除	69
文字修飾	78
文字体	76
文字の入れかた	58
文字の訂正	69
文字倍率	29,49
文字割付	27,50

や行

用途別ラベル	12
用途別ラベルフォーマット一覧	109
余白	22

ら行

リセット(初期化)	「入門ガイド」10
立体	76
ロゴコレクション	15
ロゴ付きデータ	53
ローマ字入力	58
ローマ字入力一覧	101

わ行

枠付	78
割付	27,50

保証・アフターサービスについて

■保証書はよくお読みください

保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

■保証期間は保証書に記載されています。

■修理を依頼されるときは

まず、もう一度、取扱説明書にしたがって正しく操作していただき、直らないときには次の処置をしてください。

●保証期間中は

保証書の規定にしたがってお買上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ・サービスステーションが修理をさせていただきます。

- 保証書に「持込修理」と記載されているものは、製品に保証書を添えてご持参またはご送付ください。
- 保証書に「出張修理」と記載されているものは、お買上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ・サービスステーションまでご連絡ください。

●保証期間が過ぎているときは

お買上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ・サービスステーションまでご連絡ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

■あらかじめご了承ください

- 「修理のとき一部代替部品を使わせていただくこと」や「修理が困難な場合には、修理せず同等品と交換させていただくこと」があります。また、特別注文された製品の修理では、ケースなどをカシオ純正品と交換させていただくことがあります。
- 仕様が日本国内向けの製品は海外での修理受付ができません。修理品は日本まで移動の上、日本国内のカシオテクノ・サービスステーションにご依頼ください。
- アフターサービスなどについておわかりにならないときはお買上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ・サービスステーションにお問い合わせください。

カシオお客様ご相談窓口

カシオお客様ご相談窓口

■製品の機能、操作等に関するご質問に、お電話でお答えいたします。



0570-088901

市内通話料金のみでご利用いただけます。

受付時間 月曜日～土曜日

AM9:00～PM5:30

(日・祝日・年末年始・夏期休暇等は除く)

携帯電話・PHS等をご利用の場合は、03-5334-4828(東京)・06-6243-6180(大阪)へお掛けください。

カシオテクノ・サービスステーション

■アフターサービスについては、お買い上げの販売店または下記のカシオテクノ・サービスステーションにお問い合わせください。

■カシオ製品のアフターサービス業務は、カシオテクノ株式会社が担当いたします。

北海道	東海
札幌 ☎011-281-1231 〒060-0063 札幌市中央区南3条西10-1001-5	静岡 ☎054-281-8085 〒422-8056 静岡市津島町16-23
東北	名古屋 ☎052-324-2151 〒460-0024 名古屋市中区正木3-9-27
仙台 ☎022-256-8822 〒983-0862 仙台市宮城野区鶴岡5-1-35	近畿
盛岡 ☎019-646-3395 〒020-0122 盛岡市みたび6-15-5	京都 ☎075-351-1161 〒600-8107 京都市下京区五条通新町東入心家数屋町186
関東	大阪 ☎06-6243-6211 〒541-0066 大阪市中央区久太郎町3-6-8
宇都宮 ☎028-623-5588 〒320-0053 宇都宮市戸祭町3009-8	神戸 ☎078-392-2145 〒650-0033 神戸市中央区江戸町85-1
高崎 ☎027-322-9555 〒370-0831 高崎市新町67-1	中国
埼玉 ☎048-250-2660 〒332-8521 川口市栄町3-1-8	岡山 ☎086-244-3404 〒700-0826 岡山市西古松西町9-1
千葉 ☎043-243-1087 〒280-0022 千葉市中央区神明町13-4	広島 ☎082-230-5900 〒733-0001 広島市西区大芝2-14-10
秋葉原 ☎03-5820-9871 〒101-0025 千代田区神田佐久間町2-23	四国
横浜 ☎045-441-2177 〒221-0062 横浜市神奈川区栄町3-12	高松 ☎087-837-7641 〒760-0078 高松市今里町2-21
信越	九州
新潟 ☎025-287-1151 〒950-0925 新潟市井天橋通り3-9-12	福岡 ☎092-411-2939 〒812-0007 福岡市博多区東比恵2-16-23
長野 ☎026-222-3250 〒380-0912 長野市大字稲葉字日詰1592-1	熊本 ☎096-367-0614 〒862-0911 熊本市健康1-38-7
北陸	鹿児島 ☎099-256-3573 〒890-0065 鹿児島市都元1-1-3
金沢 ☎076-224-0061 〒920-0027 金沢市駅西新町2-1-35	

※住所・電話番号などは変更になることがあります。あらかじめご了承ください。

CASIO®

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2